
KDDI Smart Mobile Safety Manager

Android Enterprise

アプリケーション配信 手順書

最終更新日 2024 年 1 月 14 日
Document ver.1.9
(Web サイト ver.9.18.0)

変更履歴

日付	ver	変更箇所	変更内容
2020/3/17	1.0		新規作成
2021/2/21	1.1	2.3 オリジナルアプリをインストールする	Google Play Console ヘルプ参照先変更
		2.6.1 アプリケーション配信設定を作成する	アプリ構成適用の説明を追加
		2.7.3 アプリケーション配信設定を作成する	
2021/7/25	1.2	2.2 アプリを強制インストールする	G Suite を Google Workspace (旧 G Suite) に変更
		全体	Windows 10 Mobile を削除
2022/2/20	1.3	2.2.4 組織 (ユーザー) にアプリケーション配信設定を割り当てる	赤枠位置を修正
		2.3.4 組織 (ユーザー) にアプリケーション配信設定を割り当てる	
		2.4.4 組織 (ユーザー) にアプリケーション配信設定を割り当てる	
		2.5.4 組織 (ユーザー) にアプリケーション配信設定を割り当てる	
		2.6.2 組織 (ユーザー) にアプリケーション配信設定を割り当てる	
		2.7.4 組織 (ユーザー) にアプリケーション配信設定を割り当てる	
		4.2 インストール/アップデートできないときは	管理サイトと端末の見出しを追加 参考を追加
		3.1 インストール済みアプリを自動アップデートする	見出し文追加
2022/6/12	1.4	4.2 インストール/アップデートできないときは	参考を追加
2022/7/24	1.5	2.2.1 企業許可アプリを追加する	セクション追加
		2.5.1 企業許可アプリを追加する	
		2.7.1 企業許可アプリを追加する	
		2.7.2 アプリ個別設定を作成する	
		2.2.2 アプリ個別設定を作成する	手順変更に伴い、全体的に修正
		2.2.3 アプリケーション配信設定を作成する	
		2.3.1 アプリ個別設定を作成する	
		2.3.3 アプリケーション配信設定を作成する	
		2.4.1 アプリ個別設定を作成する	
		2.4.3 アプリケーション配信設定を作成する	
		2.5.2 アプリ個別設定を作成する	
		2.5.3 アプリケーション配信設定を作成する	

日付	ver	変更箇所	変更内容
		2.6.1 アプリケーション配信設定を作成する	
		2.7 管理者が登録したアプリのみインストールを許可する	
		2.7.3 アプリケーション配信設定を作成する	
		全体	
			Google Play を Google Play ストアに統一
2022/11/20	1.6	はじめに	全改修
		2.2.2 アプリ個別設定を作成する	アプリケーションへの権限移譲が表示されている画面に差し替え
		2.4.1 アプリ個別設定を作成する	
		2.5.2 アプリ個別設定を作成する	
		2.7.2 アプリ個別設定を作成する	
		2.2.3 アプリケーション配信設定を作成する	自動アップデート設定の手順追加、画像差し替え
		2.3.3 アプリケーション配信設定を作成する	
		2.4.3 アプリケーション配信設定を作成する	
		2.5.3 アプリケーション配信設定を作成する	
		3.4 企業許可アプリを自動アップデートする	セクション追加
		4.2 インストール／アップデートできないときは	自動アップデート設定の条件の条件追加
2023/3/26	1.7	2.3.2 企業許可アプリを追加する	セクション追加
		3.1 インストール済みアプリを自動アップデートする	説明変更、条件追加
2023/8/6	1.8	全体	旧 G Suite の記載を削除
		1 アプリケーション配信を利用するには	組織 ID が表示されている画像に差し替え
		はじめに	名称・呼称、用語集を追加 商標登録修正
2024/1/14	1.9	全体	規約に従い、表記揺れなど統一
		2.4.2 企業許可アプリを追加する	セクション追加
		1 アプリケーション配信を利用するには	メニュー名変更のため画像差し替え

はじめに

本マニュアルでは、KDDI Smart Mobile Safety Manager（以下、本製品と呼ぶ）の操作ほか、各機能の概要、画面の説明、設定操作について説明しています。

また、要点となる各種の内容を以下に記載しています。これらの内容をご理解のうえ、マニュアルをお読みください。



名称・呼称

本マニュアルに登場する特定の企業、人について、以下の定義で記載しています。

名称	説明
サービス企業	本製品を提供する企業。
管理者	本製品の管理サイト（機器の管理・運用を行う Web サイト）を運用する者。
端末使用者	本製品で管理している端末を使用する者。
システム管理者	企業の社内システム（サーバー・インフラなど）を管理する者。

注意・ポイントマーク

操作を行う場合に注意する点や、操作のポイントとなる点を示す場合は、以下のマークで記載しています。

マーク	説明
	データの破損や消失など、特に注意していただきたい内容を記載しています。
	操作のポイントや知っておくと便利な内容を記載しています。




記号

画面に表示されるボタンやメニュー、キーボードのキーなどを示す場合は、以下の記号で記載しています。

マーク	説明
[]	ボタン、メニュー、タブ、リンク、チェックボックス、ラジオボタンなどの名称を示しています。
	画面名、機能名、項目名、マニュアル内の参照先などを示しています。
『 』	マニュアルや資料などの名称を示しています。
< >	キーボードなどのハードキー名称（スペースキーは〈スペース〉と表記）を示しています。


参照マーク

他のマニュアルや他のページへなどの参照を示す場合は、以下のマークで記載しています。

マーク	説明
	他のページや Web サイトへの参照を示しています。クリックすると該当箇所にジャンプします。
	セクション内の画面への参照を示しています。クリックすると該当の画面にジャンプします。
	他のマニュアルや資料への参照を示しています。

用語集

不明な用語については、『よくあるご質問（FAQ）』を参照してください。

 <https://smsmfaq.smartmanager.jp/kddiproduct/ausl/web/knowledgeList.html?keyword=%E7%94%A8%E8%AA%9E%E9%9B%86%E4%B8%80%E8%A6%A7&searchMethod=0&searchCondition=0&searchCategory=1&searchItem=1&searchTag=1>

オプション機能

オプション機能は、オプション契約をした場合に使用できる機能です。

本マニュアルでは、オプション機能の説明の見出しに **オプション** (オプションマーク) を表示しています。



免責事項

- 本マニュアルは、ユーザー種別が [管理者] のユーザーを対象としています。[管理者] 以外のユーザー種別でログインした場合は、操作が制限されます。
- iPad OS の操作は iOS と同様です。差異がある場合は iPad OS 用の記載をしています。
- 画面上的のバージョン表記は、実際の表示と異なる場合があります。
- 本マニュアルに記載されている Web サイトの URL は、予告なく変更される場合があります。
- OS のバージョンやブラウザにより、一部の画面や操作が異なる場合があります。本マニュアルでは、Google Chrome を例に説明しています。

商標登録

- Apple、iPad、iPadOS、iPhone、Mac、macOS は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc.の商標です。
- iOS は、Apple Inc.の OS 名称です。
IOS は、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- App Store は、Apple Inc.のサービスマークです。
- Android、Google Chrome、Google Cloud、Google マップ、Google Play、Google Workspace は、Google LLC の商標です。
- Microsoft、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他記載の会社名、製品名は、各社の登録商標および商標です。

目次

[1 アプリケーション配信を利用するには](#)

[2 アプリをインストールする](#)

[3 アプリをアップデートする](#)

[4 その他](#)

1 アプリケーション配信を利用するには	8
2 アプリをインストールする	9
2.1 アプリケーション配信の流れ	10
2.1.1 ユーザーを組織に紐づける	11
2.2 アプリを強制インストールする	13
2.2.1 企業許可アプリを追加する	13
2.2.2 アプリ個別設定を作成する	16
2.2.3 アプリケーション配信設定を作成する	19
2.2.4 組織（ユーザー）にアプリケーション配信設定を割り当てる	23
2.2.5 端末にユーザーを割り当てる	25
2.3 オリジナルアプリをインストールする	28
2.3.1 アプリ個別設定を作成する	29
2.3.2 企業許可アプリを追加する	34
2.3.3 アプリケーション配信設定を作成する	37
2.3.4 組織（ユーザー）にアプリケーション配信設定を割り当てる	41
2.3.5 端末にユーザーを割り当てる	43
2.4 ウェブアプリ（ショートカット）をインストールする	46
2.4.1 アプリ個別設定を作成する	46
2.4.2 企業許可アプリを追加する	52
2.4.3 アプリケーション配信設定を作成する	54
2.4.4 組織（ユーザー）にアプリケーション配信設定を割り当てる	58
2.4.5 端末にユーザーを割り当てる	60
2.5 アプリ構成を利用してアプリをインストールする	63
2.5.1 企業許可アプリを追加する	63
2.5.2 アプリ個別設定を作成する	66
2.5.3 アプリケーション配信設定を作成する	71
2.5.4 組織（ユーザー）にアプリケーション配信設定を割り当てる	75
2.5.5 端末にユーザーを割り当てる	77
2.6 すべてのアプリのインストールを許可する	80
2.6.1 アプリケーション配信設定を作成する	80
2.6.2 組織（ユーザー）にアプリケーション配信設定を割り当てる	82
2.6.3 端末にユーザーを割り当てる	84
2.7 管理者が登録したアプリのみインストールを許可する	87
2.7.1 企業許可アプリを追加する	87
2.7.2 アプリ個別設定を作成する	90
2.7.3 アプリケーション配信設定を作成する	95
2.7.4 組織（ユーザー）にアプリケーション配信設定を割り当てる	97
2.7.5 端末にユーザーを割り当てる	99

3 アプリをアップデートする	102
3.1 インストール済みアプリを自動アップデートする	103
3.2 インストール済みアプリを自動アップデートする (アプリケーション配信の利用以前にインストールしたアプリの場合)	103
3.3 プリインストールアプリを自動アップデートする	104
3.4 企業許可アプリを自動アップデートする	104
4 その他	105
4.1 注意事項	106
4.2 インストール／アップデートできないときは	107

1 アプリケーション配信を利用するには

Android Enterprise の「アプリケーション配信」を利用するには、あらかじめ本製品と Google の連携設定を行う必要があります。連携設定が完了しているかどうかは、以下の画面で確認できます。

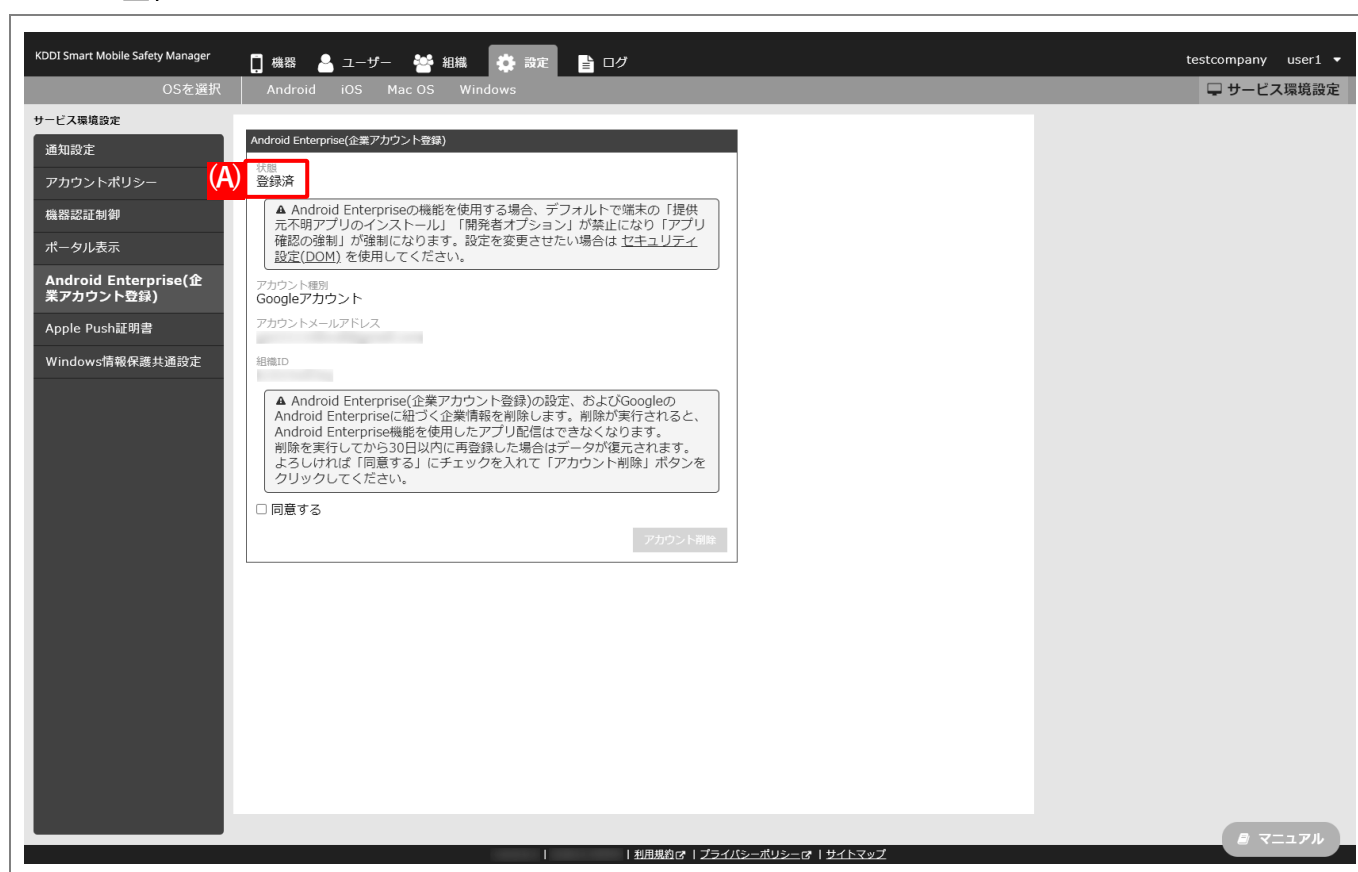
表示操作 [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise (企業アカウント登録)]

Google との連携設定が完了している場合は、(A)「状態」が「登録済」と表示されています。

🔗 (A)「状態」が「未登録」と表示されている場合は、連携設定を行ってください。

🔗 管理サイトと Google 間の連携方式によって、設定方法が異なります。事前に連携方式を確認のうえ、連携設定をしてください。詳細については、以下を参照してください。

🔍 『Android キットニングマニュアル』 - 「キットニング方法を選択する」



2 アプリをインストールする





注意

- Android Enterprise では、有料アプリのインストールはできません。
 - Android Enterprise では、「アプリ内課金あり」のアプリをインストールしても、追加機能の購入などはできません。
-


2.1 アプリケーション配信の流れ

Android Enterprise の「アプリケーション配信」では、大まかに以下の流れでアプリのインストールを行います。


 組織に対してアプリケーション配信設定を割り当てる場合は、あらかじめユーザーを対象組織に紐づける必要があります。詳細については、以下を参照してください。

 「ユーザーを組織に紐づける」

1. managed Google Play ストアに公開されているアプリのうち、Android Enterprise で配信することを企業で許可するアプリを「企業許可アプリ」に追加する。

 すべてのアプリのインストールを許可する場合は、この操作は不要です。

2. 「個別アプリケーション」から、インストール対象のアプリを登録した設定セット（アプリ個別設定）を作成する。


 すべてのアプリのインストールを許可する、または企業許可アプリのみインストールを許可する場合は、この操作は不要です。

3. 「アプリケーション配信」から、アプリ個別設定を組み合わせた設定セット（アプリケーション配信設定）を作成する。

4. 組織（ユーザー）にアプリケーション配信設定を割り当てる。


5. アプリのインストール先となる端末にユーザーを割り当て、同期を行う。

6. 端末の Play ストアからアプリのインストール操作を行う。

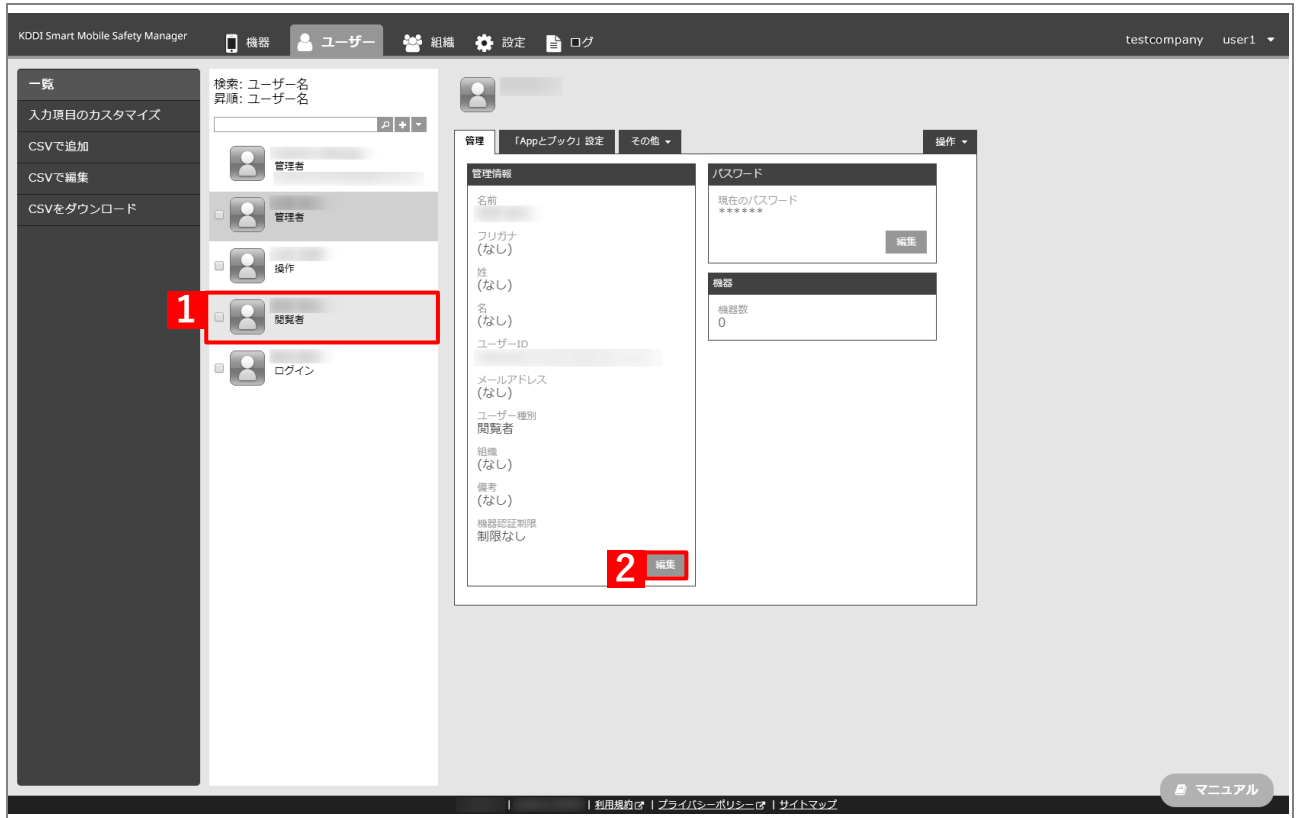
 端末にアプリを強制インストールする場合は、この操作は不要です。

2.1.1 ユーザーを組織に紐づける

組織に対してアプリケーション配信設定を割り当てる場合は、以下の手順であらかじめユーザーを対象組織に紐づける必要があります。

 ユーザーに対してアプリケーション配信設定を割り当てる場合は、本操作は不要です。

- 【1】** [ユーザー] → [一覧] → 一覧から対象ユーザーを選択します。
- 【2】** [編集] をクリックします。



The screenshot displays the KDDI Smart Mobile Safety Manager interface. The top navigation bar includes '機器' (Devices), 'ユーザー' (Users), '組織' (Organizations), '設定' (Settings), and 'ログ' (Logs). The user 'testcompany user1' is logged in. The left sidebar contains options like '一覧' (List), '入力項目のカスタマイズ' (Customize input items), 'CSVで追加' (Add via CSV), 'CSVで編集' (Edit via CSV), and 'CSVをダウンロード' (Download CSV). The main area shows a list of users with search filters for 'ユーザー名' (Username) and '所属' (Affiliation). The '閲覧者' (Viewer) user is highlighted with a red box and a red '1'. The right panel shows the user's profile, including fields for '名前' (Name), 'フリガナ' (Furigana), '性別' (Gender), '年齢' (Age), 'メールアドレス' (Email address), 'ユーザー種別' (User type), '組織' (Organization), '備考' (Remarks), and '機器認証制限' (Device authentication restrictions). The '編集' (Edit) button is highlighted with a red box and a red '2'.

【3】 「組織」のプルダウンメニューから、ユーザーに紐づける組織を指定します。

【4】 「保存」をクリックします。

⇒ユーザーに組織が紐づけられます。

The screenshot shows a user management interface with the following elements:

- Navigation tabs: 管理, 「Appとブック」設定, その他, 操作
- Section: 管理情報 - 編集
- Fields: 名前, フリガナ, 姓, 名, ユーザーID, メールアドレス
- User Type Selection:
 - 管理者 (全ての操作ができます)
 - 操作
 - 閲覧者 (変更操作ができません)
 - ロック・ワイプ
 - ログイン (個別に権限を設定)
 - 一般 (ログインできません)
- Organization Selection: 組織 (全社 > 営業部) - This dropdown is highlighted with a red box and the number 3.
- 備考: Text input field
- Machine Authentication Limit:
 - 制限なし
 - 制限あり ()台
 - 認証禁止
- Buttons: 取消, 保存 - The 保存 button is highlighted with a red box and the number 4.
- Other sections: パスワード (現在のパスワード: *****) with 編集 button; 機器 (機器数: 0)

2.2 アプリを強制インストールする

「アプリケーション配信」でアプリを端末に強制インストール（サイレントインストール）するには、以下の一連の操作を行います。

🔗 本製品と Google との連携設定で登録されているアカウントが Google Workspace アカウントの場合は、強制（サイレント）インストールが実行できない場合があります。

その場合は、managed Google Play ストアの利用規約の同意が必要です。以下の URL に Google Workspace の特権管理者で Google にログインして、承諾してください。

🔗 <https://play.google.com/work/termservice>

🔗 Google 側の画面は、予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

2.2.1 企業許可アプリを追加する

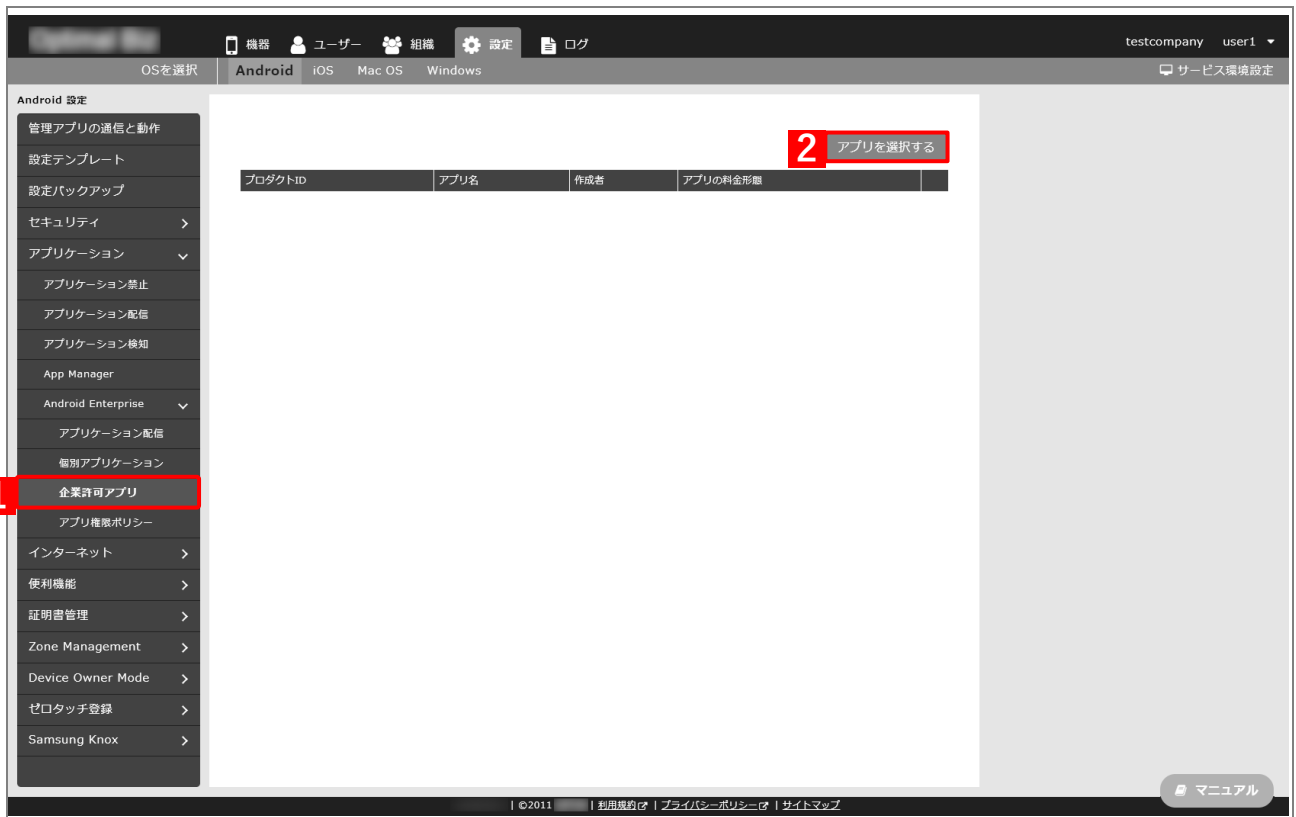
以下の手順で managed Google Play ストアに公開されているアプリのうち、Android Enterprise で配信することを企業で許可するアプリを追加します。

🔗 「企業許可アプリ」は、1,000 件まで登録できます。

[1] [設定] → [Android] → [アプリケーション] → [Android Enterprise] → [企業許可アプリ] をクリックします。

[2] [アプリを選択] をクリックします。

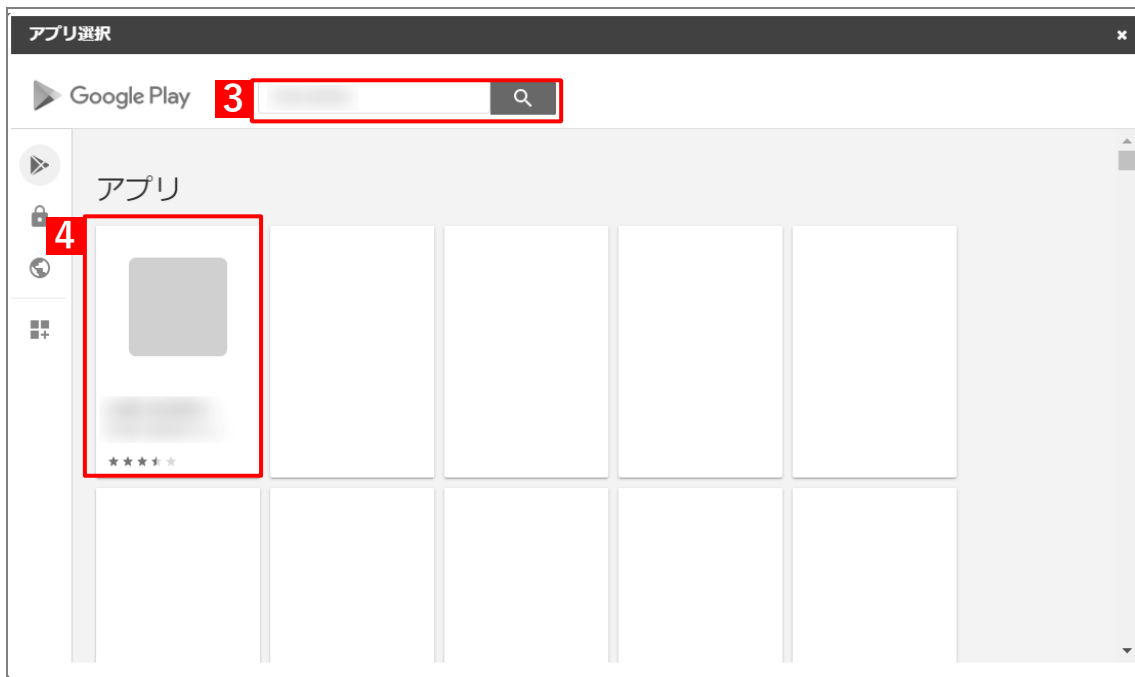
⇒ managed Google Play ストアの「アプリ選択」画面が表示されます。



【3】 企業で配信を許可するアプリを検索します。

⇒ 検索結果が表示されます。

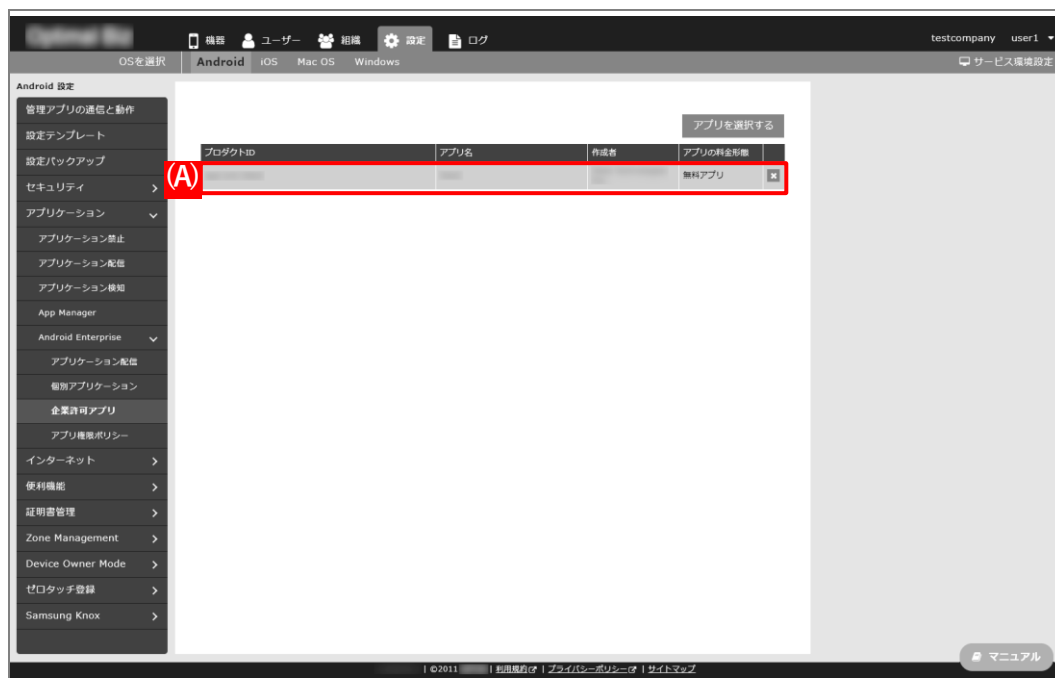
【4】 該当のアプリをクリックします。



【5】 [選択] をクリックします。



⇒ managed Google Play ストアの「アプリ選択」画面が閉じて、「企業許可アプリ」に (A) 選択したアプリが登録されます。

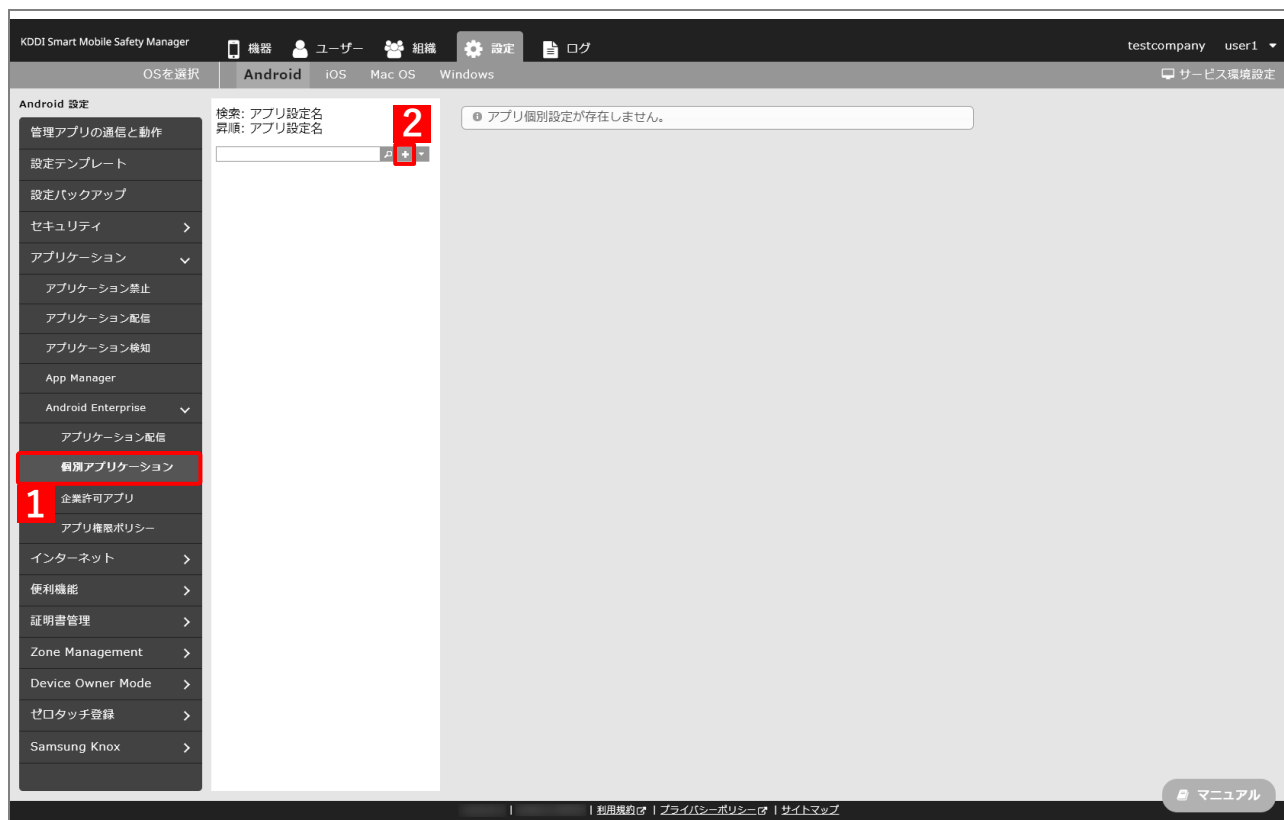


2.2.2 アプリ個別設定を作成する

以下の手順で「個別アプリケーション」から、インストール対象のアプリを登録した設定セット（アプリ個別設定）を作成します。

🚫 1つの設定セットに複数のアプリをセットすることはできません。

- [1] [設定] → [Android] → [アプリケーション] → [Android Enterprise] → [個別アプリケーション] をクリックします。
- [2] + をクリックします。



- [3] 「アプリ設定名」に任意の名前を入力します。

- [4] [アプリを選択する] をクリックします。

⇒ managed Google Play ストアの「アプリ選択」画面が表示されます。



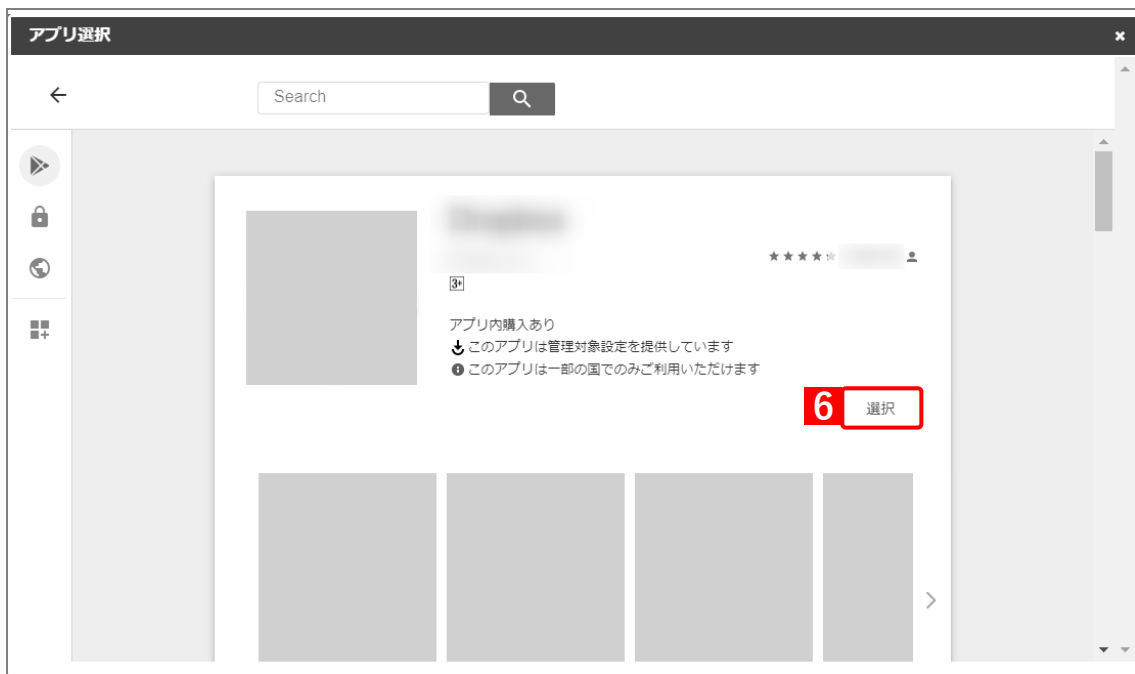
【5】 強制インストールしたいアプリをクリックします。

🔍 該当アプリが表示されていない場合は、(A) 「Search」 から検索してください。

📌 端末にインストール済みのアプリ、またはプリインストールされているアプリを自動アップデートする場合も、この画面で該当アプリをクリックします。

**【6】 「選択」 をクリックします。**

⇒ managed Google Play ストアの「アプリ選択」画面が閉じます。

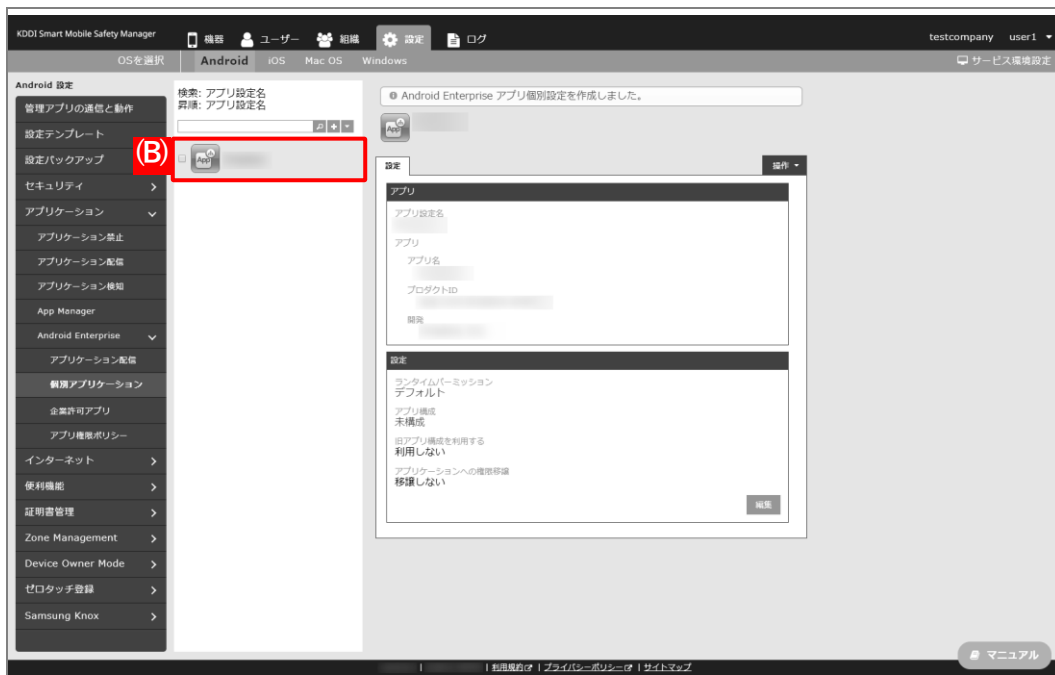


【7】 [保存] をクリックします。

 (A) 「選択中のアプリ」には、アプリのパッケージ名が表示されています。



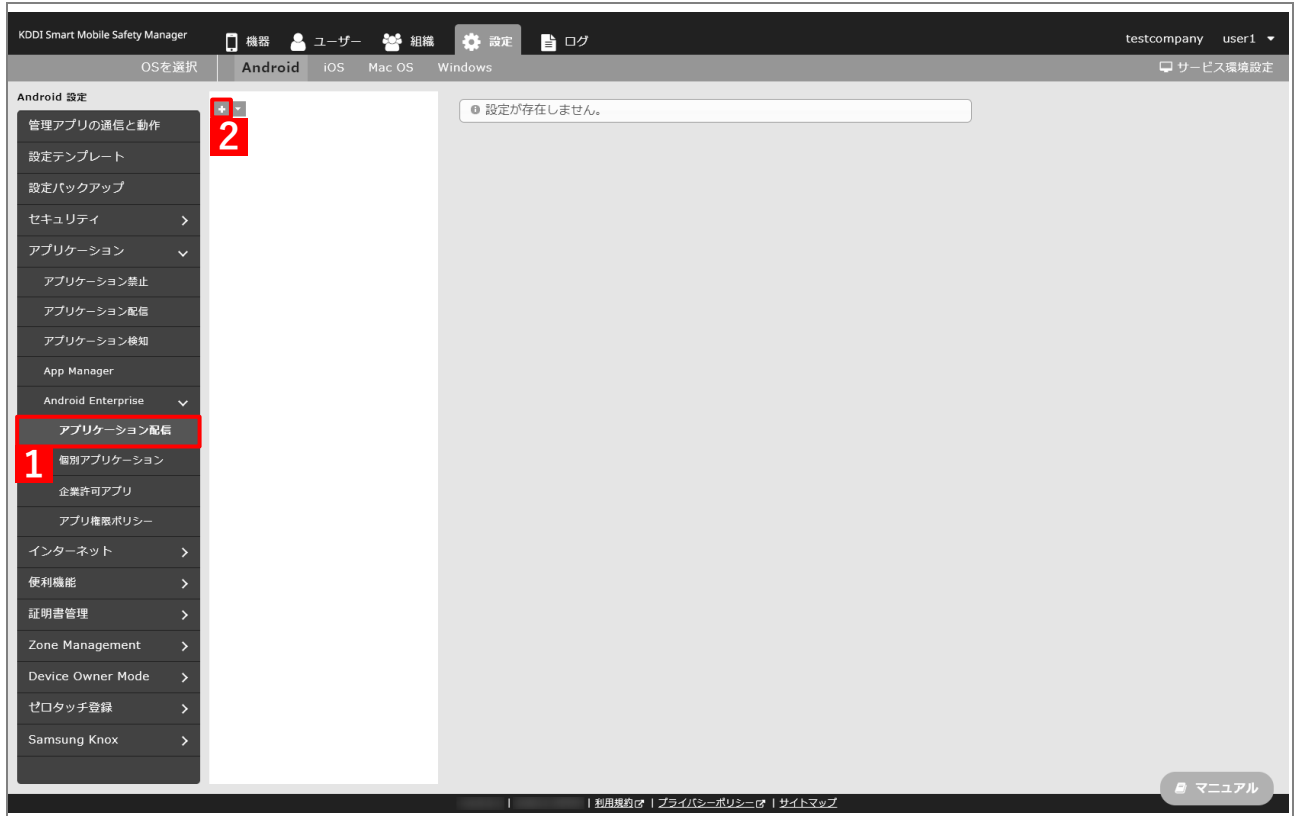
⇒ (B) アプリ個別設定が作成されます。



2.2.3 アプリケーション配信設定を作成する

以下の手順で「アプリケーション配信」から、アプリ個別設定を組み合わせた設定セット（アプリケーション配信設定）を作成します。

- [1]** [設定] → [Android] → [アプリケーション] → [Android Enterprise] → [アプリケーション配信] をクリックします。
- [2]** **+** をクリックします。



- [3]** 「配信設定名」に任意の名前を入力します。
- [4]** 「指定アプリのみインストール可能」を選択します。
- [5]** **+** をクリックします。

新規作成

設定

設定 - 編集

3 配信設定名

配信アプリ

全てのアプリをインストール可能

企業許可アプリのみインストール可能

4 指定アプリのみインストール可能

アプリ個別設定 強制インストール 自動アップデート設定

(+ ボタンで追加: 300件まで) **5** +

自動アップデート設定について



デフォルト
以下の条件をすべて満たした場合に、アプリが自動アップデートされます。

- 各端末のGoogle Play ストアの [ネットワーク設定] が [ネットワークの指定なし] に設定されている。
- または、[Wi-Fi 経由のみ] を設定し、端末がWi-Fiに接続されている。
- 端末を操作していない状態である。
- 端末が充電中である。
- アップデートするアプリが画面上で起動していない。

90日間延期
Google Play ストアで新しいバージョンのアプリが公開されても、90日間はアップデートされません。90日を過ぎると、[デフォルト] と同じ条件で自動アップデートされます。

即時
Google Play ストアで新しいバージョンのアプリが公開されると、すぐにアプリが自動アップデートされます。[デフォルト] の条件を満たしている必要はありません。

保存

- 【6】** 「アプリ個別設定」のプルダウンメニューから、「アプリ個別設定を作成する」の手順【3】で設定したアプリ設定名を指定します。
- 【7】** 「強制インストール」の「する」にチェックを入れます。
- 【8】** 「自動アップデート設定」のプルダウンメニューから、アップデート方法を選択します。
-  アップデート方法の詳細は、以下を参照してください。
-  「企業許可アプリを自動アップデートする」104 ページ
- 【9】** [保存] をクリックします。



新規作成

設定

設定 - 編集

配信設定名

配信アプリ

- 全てのアプリをインストール可能
- 企業許可アプリのみインストール可能
- 指定アプリのみインストール可能

6 アプリ個別設定 **7** 強制インストール **8** 自動アップデート設定

 する デフォルト

(+ ボタンで追加: 300件まで) +

9 保存

① 自動アップデート設定について

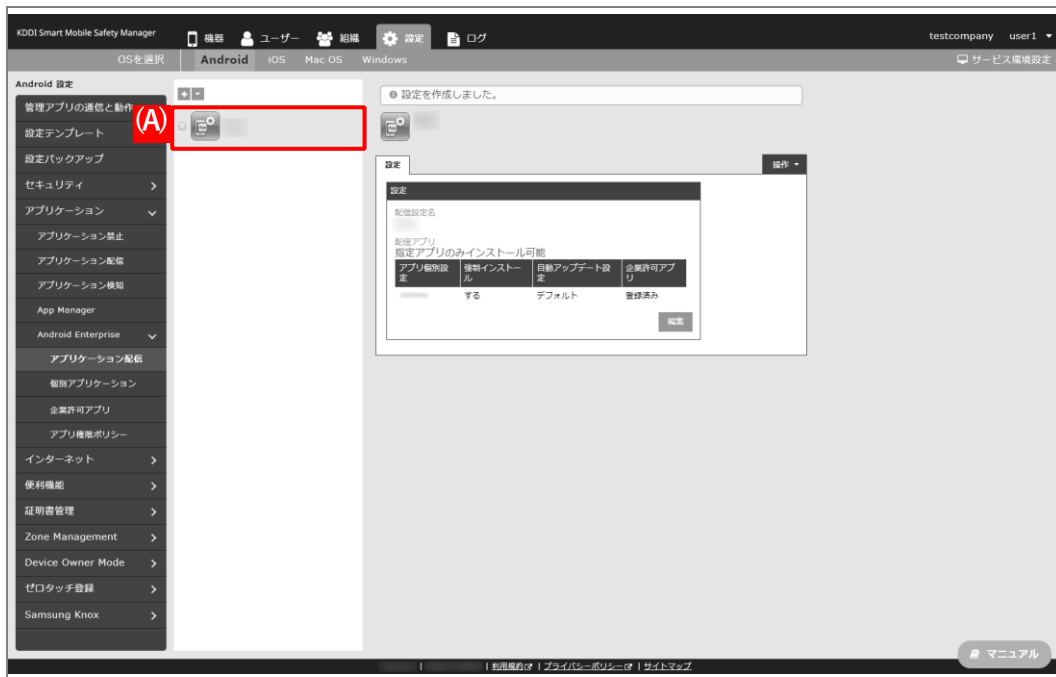
デフォルト
以下の条件をすべて満たした場合に、アプリが自動アップデートされます。

- 各端末のGoogle Play ストアの [ネットワーク設定] が [ネットワークの指定なし] に設定されている。
- または、 [Wi-Fi 経由のみ] を設定し、端末がWi-Fiに接続されている。
- 端末を操作していない状態である。
- 端末が充電中である。
- アップデートするアプリが画面上で起動していない。

90日間延期
Google Play ストアで新しいバージョンのアプリが公開されても、90日間はアップデートされません。90日を過ぎると、 [デフォルト] と同じ条件で自動アップデートされます。

即時
Google Play ストアで新しいバージョンのアプリが公開されると、すぐにアプリが自動アップデートされます。 [デフォルト] の条件を満たしている必要はありません。


⇒ (A) アプリケーション配信設定が作成されます。

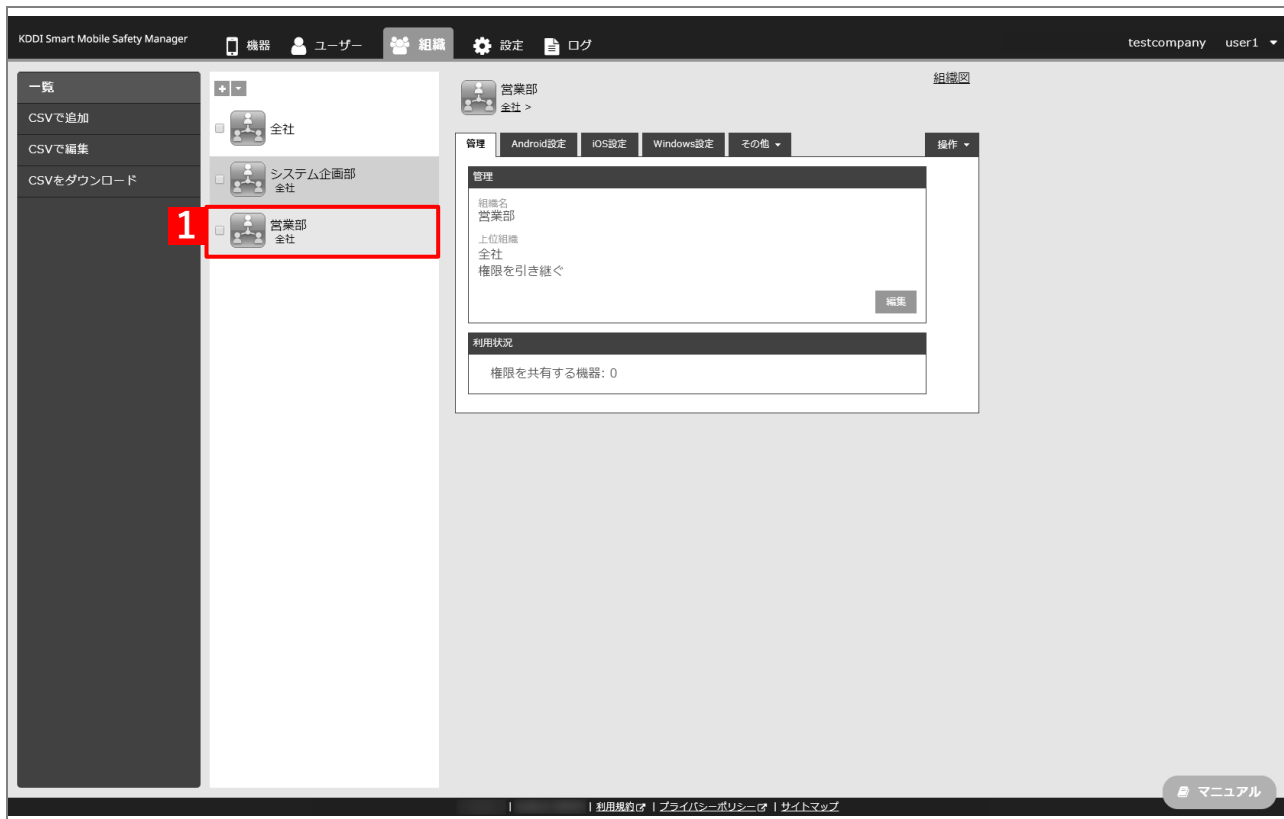


2.2.4 組織（ユーザー）にアプリケーション配信設定を割り当てる


以下の手順で、アプリケーション配信設定を組織（ユーザー）に割り当てます。

【1】 [組織] → [一覧] → 一覧から対象組織を選択します。

 ユーザーに割り当てる場合は、[ユーザー] → [一覧] → 一覧から対象ユーザーを選択します。



【2】 [その他▼] タブ → [ユーザー設定] をクリックします。

 ユーザーに割り当てる場合は、対象ユーザーの選択時に [その他▼] タブ → [設定] を選択します。



【3】 [編集] をクリックします。**【4】 プルダウンメニューから、「アプリケーション配信設定を作成する」の手順【3】で設定した配信設定名を指定します。****【5】 [保存] をクリックします。**

⇒ アプリを強制インストールするためのアプリケーション配信設定が、対象組織に割り当てられます。



2.2.5 端末にユーザーを割り当てる

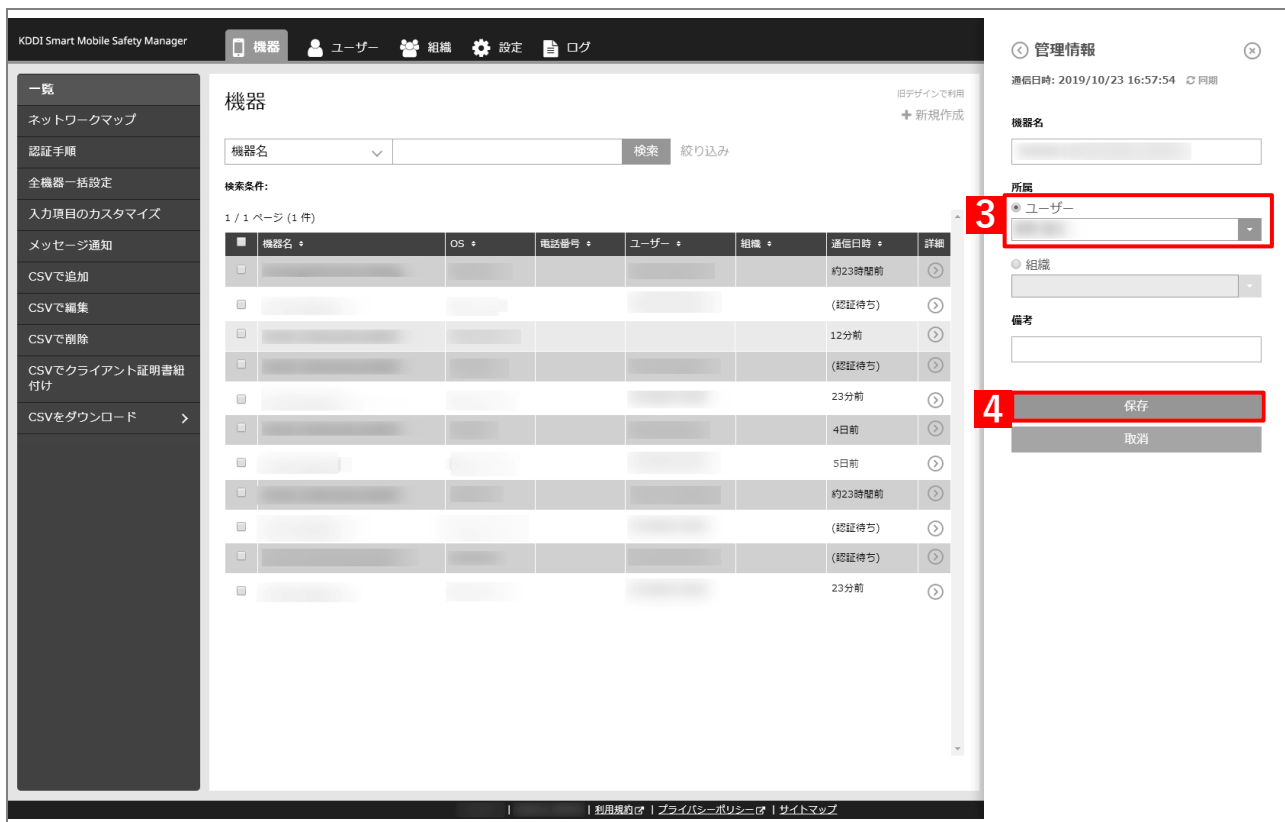
以下の手順で、アプリのインストール先となる端末にユーザーを割り当て、同期を行います。この操作まで行くと、端末にアプリが強制インストールされます。

- [1]** [機器] → [一覧] → 一覧から対象端末をクリックします。
- [2]** [管理情報の編集] をクリックします。

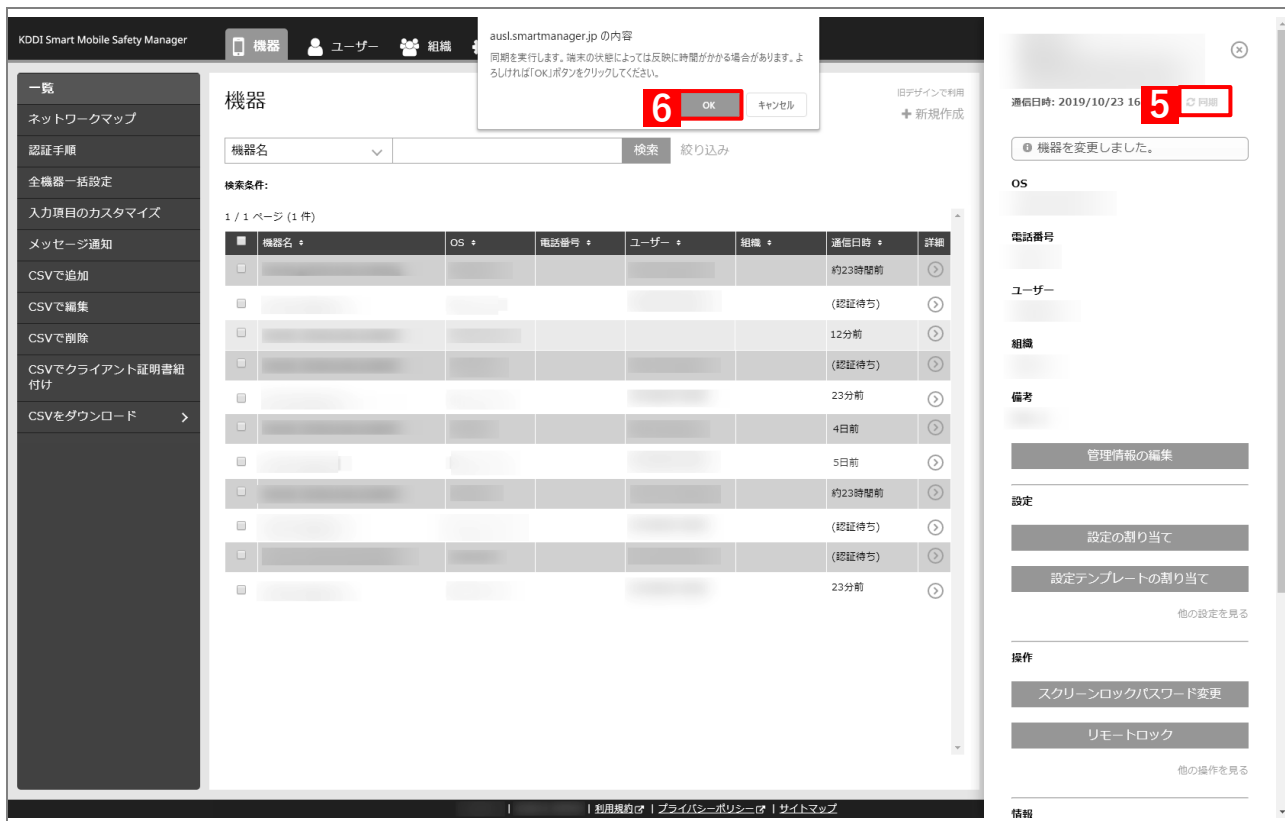
The screenshot shows the KDDI Smart Mobile Safety Manager interface. The main area displays a list of devices under the '機器' (Devices) tab. A red box labeled '1' highlights a device entry in the table. On the right sidebar, a red box labeled '2' highlights the '管理情報の編集' (Edit Management Information) button.

機器名	OS	電話番号	ユーザー	組織	通信日時	詳細
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	約23時間前	⊙
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	(認証待ち)	⊙
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	12分前	⊙
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	(認証待ち)	⊙
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	23分前	⊙
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	4日前	⊙
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	5日前	⊙
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	約23時間前	⊙
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	(認証待ち)	⊙
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	(認証待ち)	⊙
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	23分前	⊙

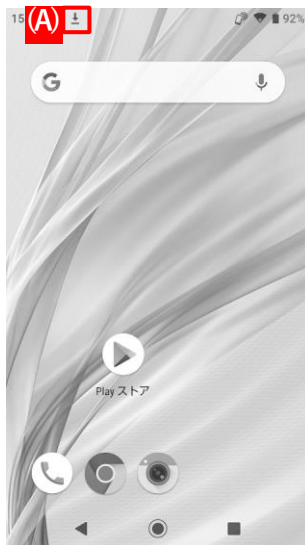
- [3]** 「所属」の「ユーザー」を選択し、プルダウンメニューから「ユーザーを組織に紐づける」の手順【1】で選択したユーザーを指定します。
- [4]** [保存] をクリックします。



- [5]** [同期] をクリックします。
- [6]** [OK] をクリックします。



- ⇒ 端末へのアプリのインストールが開始されます。端末の画面にアプリのアイコンが表示されるまでお待ちください。
- ☑ 端末にアプリがインストールされるまでに、多少時間がかかることがあります。
 - ☑ アプリケーション配信設定に多くのアプリが含まれている場合は、端末にアプリがインストールされるまでに時間がかかります。
 - ☑ 端末にインストール済みのアプリ、またはプリインストールされているアプリの場合、アプリの最新バージョンが公開されていれば自動アップデートが開始されます。ただし、Play ストアの設定で「アプリの自動更新」が「アプリを自動更新しない」に設定されている場合は、自動アップデートは行われません。
 - ☑ 機種や OS によっては、インストール中に端末の画面上部に (A) が表示されます。また、(B) 通知領域からインストールの状態を確認することもできます。



2.3 オリジナルアプリをインストールする

「アプリケーション配信」で自社開発のオリジナルアプリ（限定公開アプリ）を端末にインストールするには、以下の一連の操作を行います。

- ❑ managed Google Play ストアであっても、Google Play ストアへアプリを公開する場合の要件を満たす必要があります。managed Google Play ストアへアプリがアップロードできない場合は、Google Play Console ヘルプ内「アプリを公開する」をご確認ください。

https://support.google.com/googleplay/android-developer/answer/9859751?hl=ja&ref_topic=7072031&visit_id=637447420079028238-1407887779&rd=1

- ❑ Google Play ストアの仕様上、同じパッケージ名のアプリを複数 managed Google Play ストアにアップロードすることはできません。既に Google Play ストアに同じパッケージ名が存在する場合もアップロードすることができません。

- ❑ 関連会社などで同一のオリジナルアプリを利用し、かつ関連会社ごとに管理サイトが分かれている場合は、いずれかの組織で Developer Account（有償）を取得し、Google Play Console にログインしてから、公開先の利用企業に対して限定公開設定を行ってください。Google Play Console での限定公開設定方法については、以下のヘルプをご確認ください。

<https://support.google.com/googleplay/work/answer/6145139?hl=ja>

- ❑ バージョン違いのアプリを複数アップロードし、組織ごとなどに配信するアプリのバージョンを変えることはできません。

組織内での検証を目的として一部端末に新しいバージョンを配信したい場合は、テスト版リリースを作成してください。オープンテスト版、クローズドテスト版、内部テスト版をセットアップする方法については、以下のヘルプをご確認ください。

<https://support.google.com/googleplay/android-developer/answer/3131213?hl=ja>

- ❑ Google Play ストアの仕様上、一度アップロードしたアプリを削除することはできません。事前検証用の管理サイトをお持ちの場合は、本番環境で配信予定のオリジナルアプリをアップロードしないよう注意してください。

- ❑ managed Google Play ストアへのアプリアップロードにおける不明点は Google Play Console ヘルプにお問い合わせください。

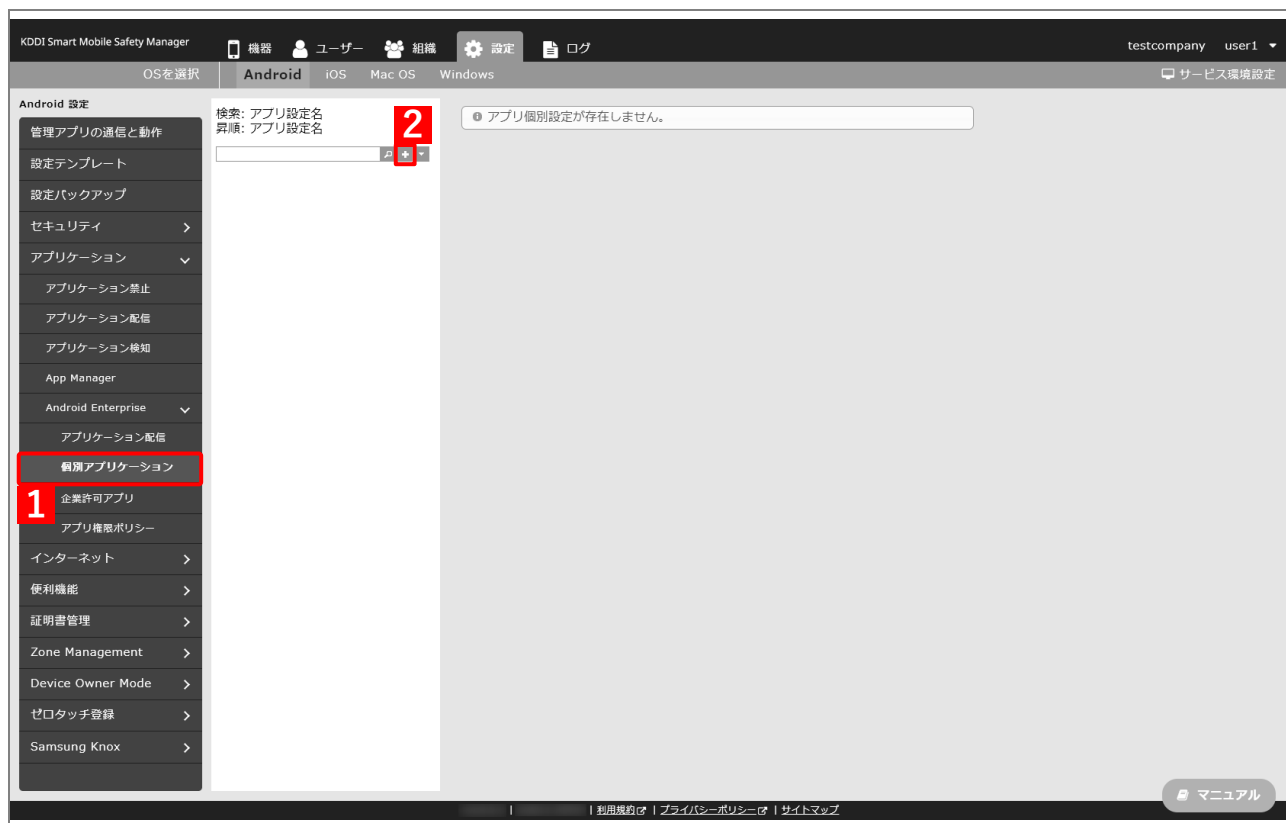
<https://support.google.com/googleplay/android-developer>

2.3.1 アプリ個別設定を作成する

以下の手順で「個別アプリケーション」から、インストール対象のアプリを登録した設定セット（アプリ個別設定）を作成します。

🚫 1つの設定セットに複数のアプリをセットすることはできません。

- [1] [設定] → [Android] → [アプリケーション] → [Android Enterprise] → [個別アプリケーション] をクリックします。
- [2] + をクリックします。




- [3] 「アプリ設定名」に任意の名前を入力します。

- [4] [アプリを選択する] をクリックします。

⇒ managed Google Play ストアの「アプリ選択」画面が表示されます。



【5】  (限定公開アプリ) をクリックします。

【6】  をクリックします。




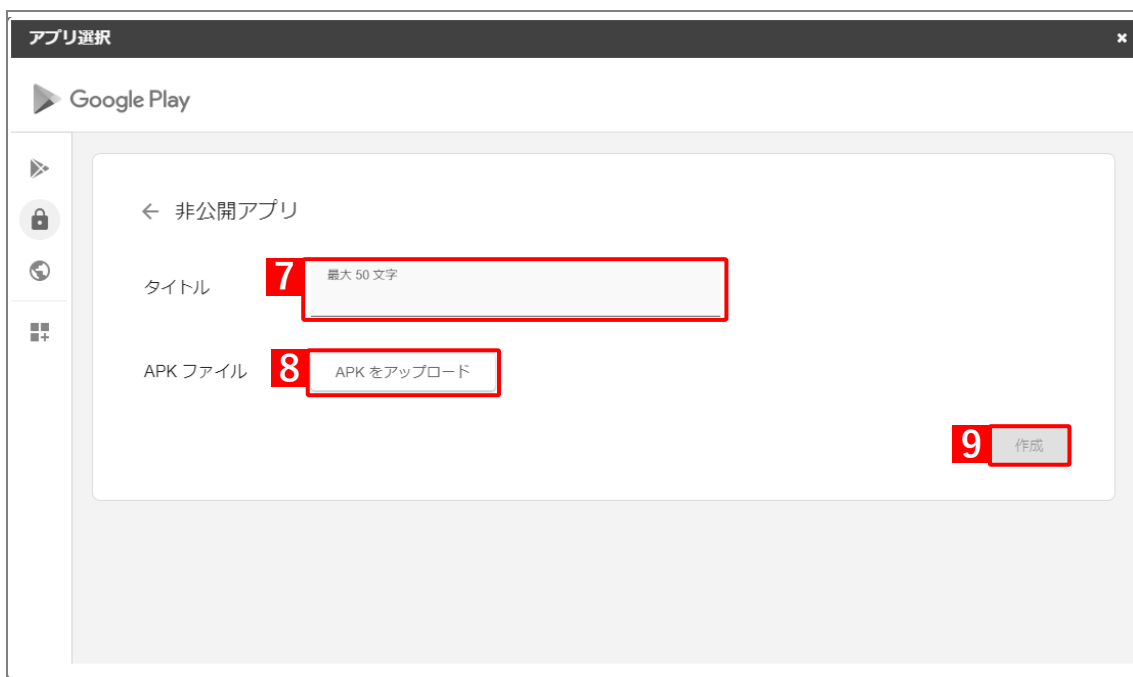
【7】 「タイトル」に任意の名前を入力します。

【8】 [APK をアップロード] をクリックして、オリジナルアプリの APK ファイルをアップロードします。

【9】 [作成] をクリックします。

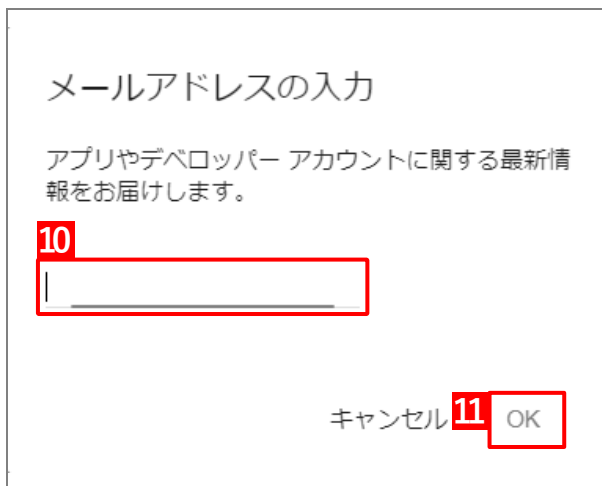
⇒メールアドレス入力画面が表示されます。

 既にパッケージ名が Google Play ストアに登録されている場合は、エラーメッセージが表示されアプリをアップロードできません。詳しくは、アプリの開発元へお問い合わせください。



【10】 メールアドレスを入力します。

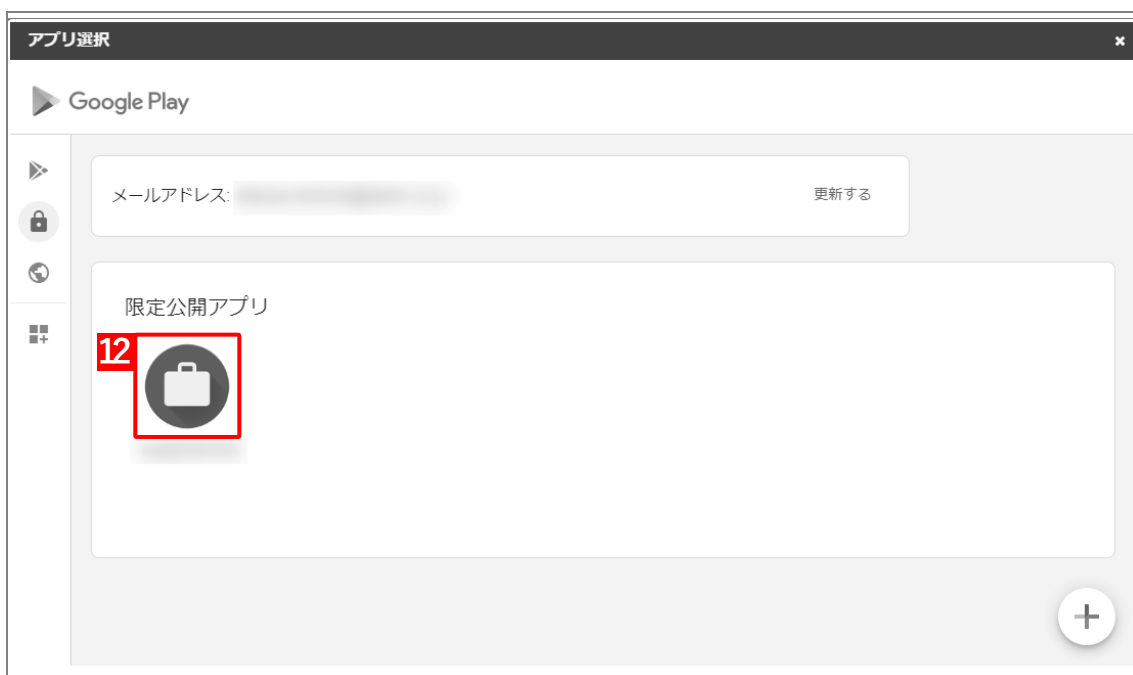
【11】 [OK] をクリックします。



🚩 オリジナルアプリ（限定公開アプリ）が公開されるまで、10分程度お待ちください。公開されると、(A)「まだご利用いただけません」という表示が消えます。



【12】 公開されたオリジナルアプリ（限定公開アプリ）をクリックします。

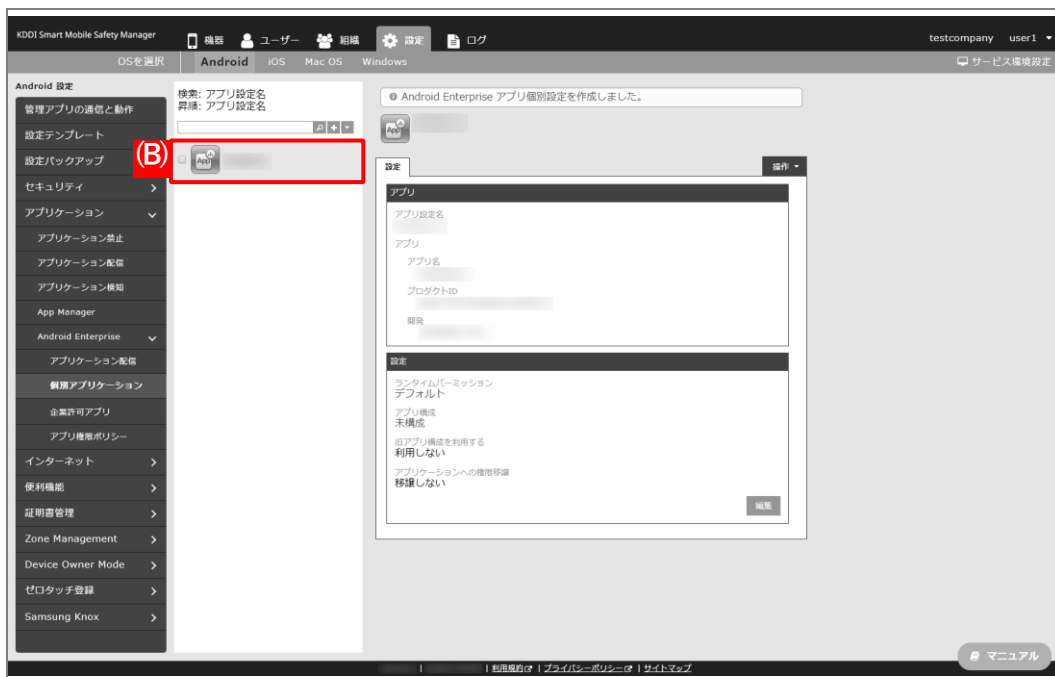


【13】 [選択] をクリックします。**【14】** [保存] をクリックします。

✎ (A) 「選択中のアプリ」には、アプリのパッケージ名が表示されています。



⇒ (B) アプリ個別設定が作成されます。



2.3.2 企業許可アプリを追加する

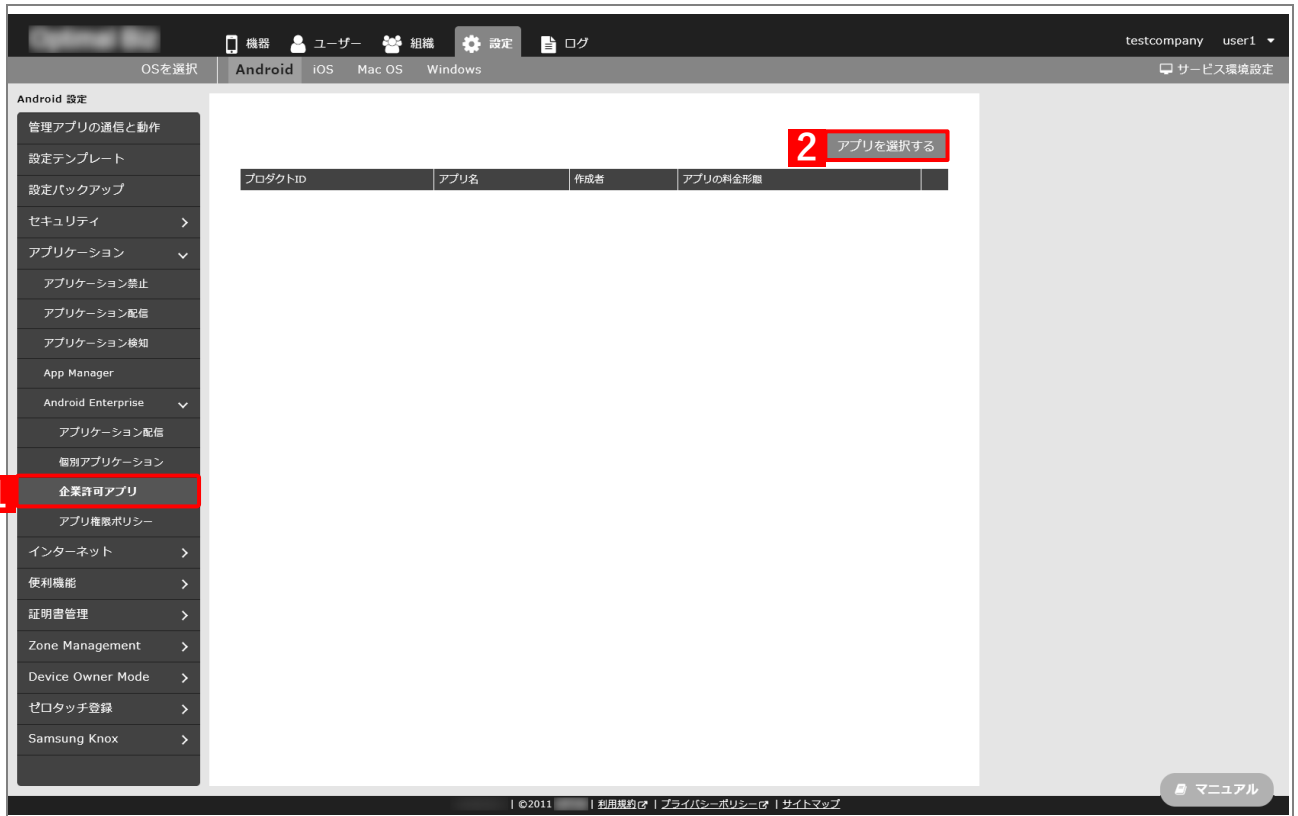
「アプリ個別設定を作成する」で managed Google Play ストアに限定公開したオリジナルアプリを、Android Enterprise で配信する「企業許可アプリ」として登録します。

✎ 「企業許可アプリ」は、1,000 件まで登録できます。

【1】 [設定] → [Android] → [アプリケーション] → [Android Enterprise] → [企業許可アプリ] をクリックします。

【2】 [アプリを選択] をクリックします。

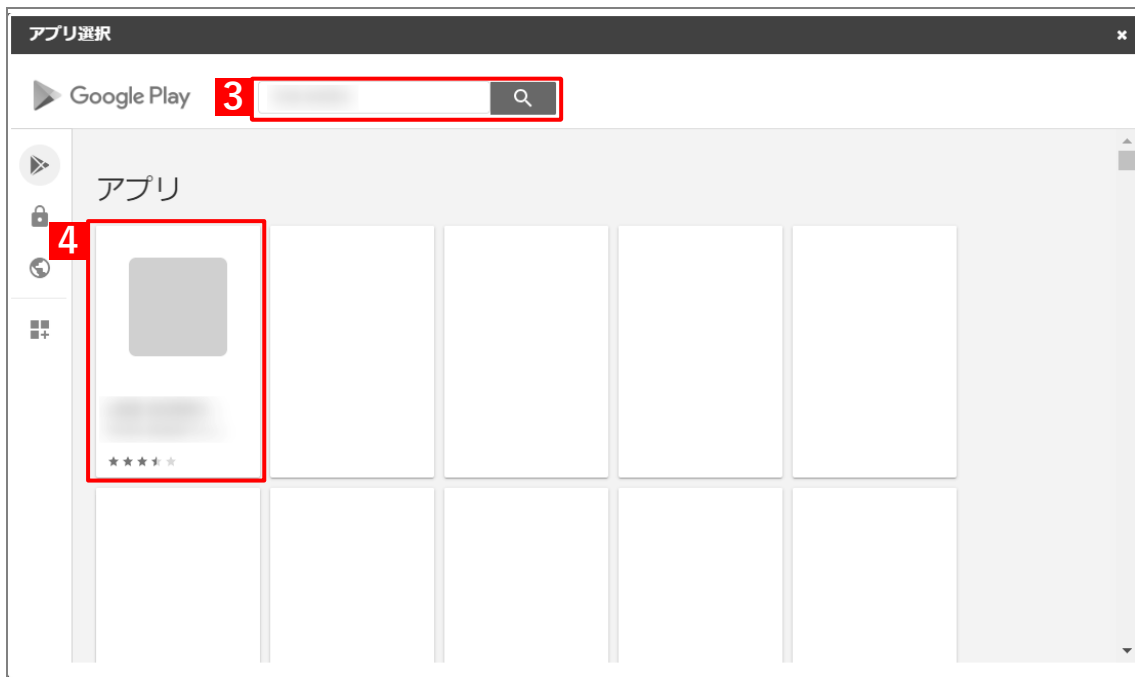
⇒ managed Google Play ストアの「アプリ選択」画面が表示されます。



【3】 「アプリ個別設定を作成する」で限定公開したオリジナルアプリを検索します。

⇒ 検索結果が表示されます。

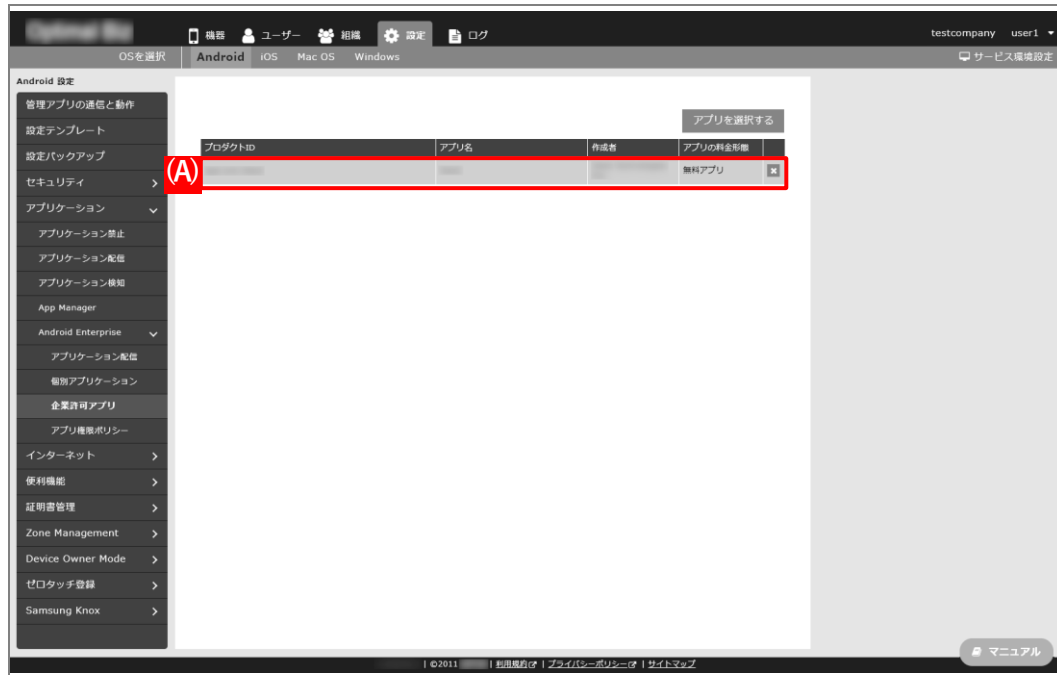
【4】 該当のアプリをクリックします。



【5】 [選択] をクリックします。



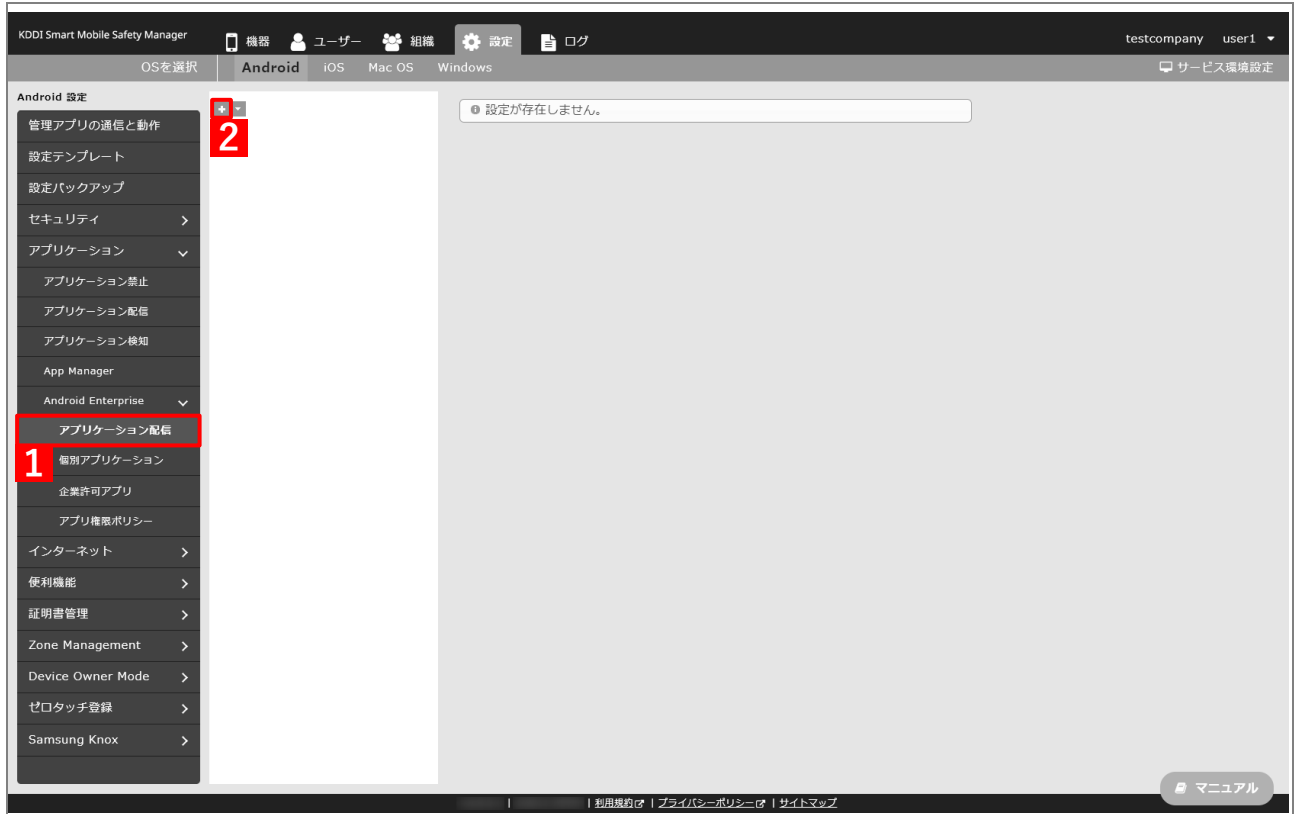
⇒ managed Google Play ストアの「アプリ選択」画面が閉じて、「企業許可アプリ」に (A) 選択したアプリが登録されます。



2.3.3 アプリケーション配信設定を作成する

以下の手順で「アプリケーション配信」から、アプリ個別設定を組み合わせた設定セット（アプリケーション配信設定）を作成します。

- [1]** [設定] → [Android] → [アプリケーション] → [Android Enterprise] → [アプリケーション配信] をクリックします。
- [2]** **+** をクリックします。



- [3]** 「配信設定名」に任意の名前を入力します。
- [4]** 「指定アプリのみインストール可能」を選択します。
- [5]** **+** をクリックします。

新規作成

設定

設定 - 編集

3 配信設定名

配信アプリ

全てのアプリをインストール可能

企業許可アプリのみインストール可能

4 指定アプリのみインストール可能

アプリ個別設定 強制インストール 自動アップデート設定

(+ ボタンで追加: 300件まで) **5** +

自動アップデート設定について



デフォルト
以下の条件をすべて満たした場合に、アプリが自動アップデートされます。

- 各端末のGoogle Play ストアの [ネットワーク設定] が [ネットワークの指定なし] に設定されている。
- または、[Wi-Fi 経由のみ] を設定し、端末がWi-Fiに接続されている。
- 端末を操作していない状態である。
- 端末が充電中である。
- アップデートするアプリが画面上で起動していない。

90日間延期
Google Play ストアで新しいバージョンのアプリが公開されても、90日間はアップデートされません。90日を過ぎると、[デフォルト] と同じ条件で自動アップデートされます。

即時
Google Play ストアで新しいバージョンのアプリが公開されると、すぐにアプリが自動アップデートされます。[デフォルト] の条件を満たしている必要はありません。

保存

- 【6】** 「アプリ個別設定」のプルダウンメニューから、「アプリ個別設定を作成する」の手順【3】で設定したアプリ設定名を指定します。
- 【7】** 「自動アップデート設定」のプルダウンメニューから、アップデート方法を選択します。
-  アップデート方法の詳細は、以下を参照してください。
-  「企業許可アプリを自動アップデートする」104 ページ
- 【8】** [保存] をクリックします。



新規作成

設定

設定 - 編集

配信設定名

配信アプリ

全てのアプリをインストール可能

企業許可アプリのみインストール可能

指定アプリのみインストール可能 **7**

6 アプリ個別設定 強制インストール する 自動アップデート設定

デフォルト

(+ボタンで追加: 300件まで)

自動アップデート設定について

デフォルト
以下の条件をすべて満たした場合に、アプリが自動アップデートされます。

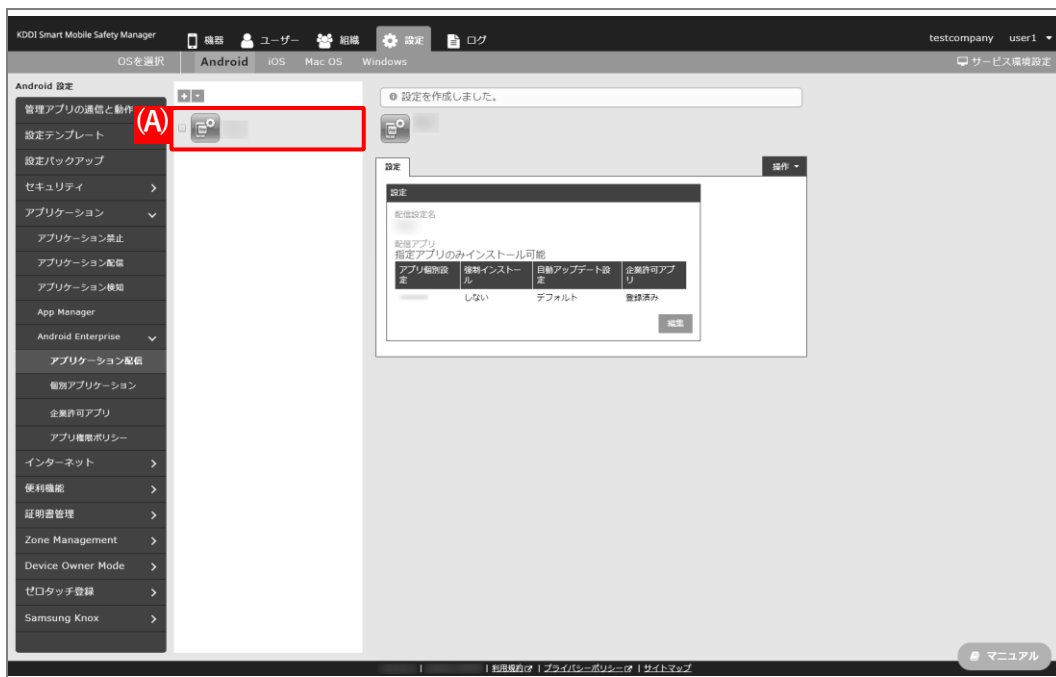
- 各端末のGoogle Play ストアの [ネットワーク設定] が [ネットワークの指定なし] に設定されている。
- または、[Wi-Fi 経由のみ] を設定し、端末がWi-Fiに接続されている。
- 端末を操作していない状態である。
- 端末が充電中である。
- アップデートするアプリが画面上で起動していない。

90日間延期
Google Play ストアで新しいバージョンのアプリが公開されても、90日間はアップデートされません。90日を過ぎると、[デフォルト] と同じ条件で自動アップデートされます。

即時
Google Play ストアで新しいバージョンのアプリが公開されると、すぐにアプリが自動アップデートされます。[デフォルト] の条件を満たしている必要はありません。

8 保存


⇒ (A) アプリケーション配信設定が作成されます。

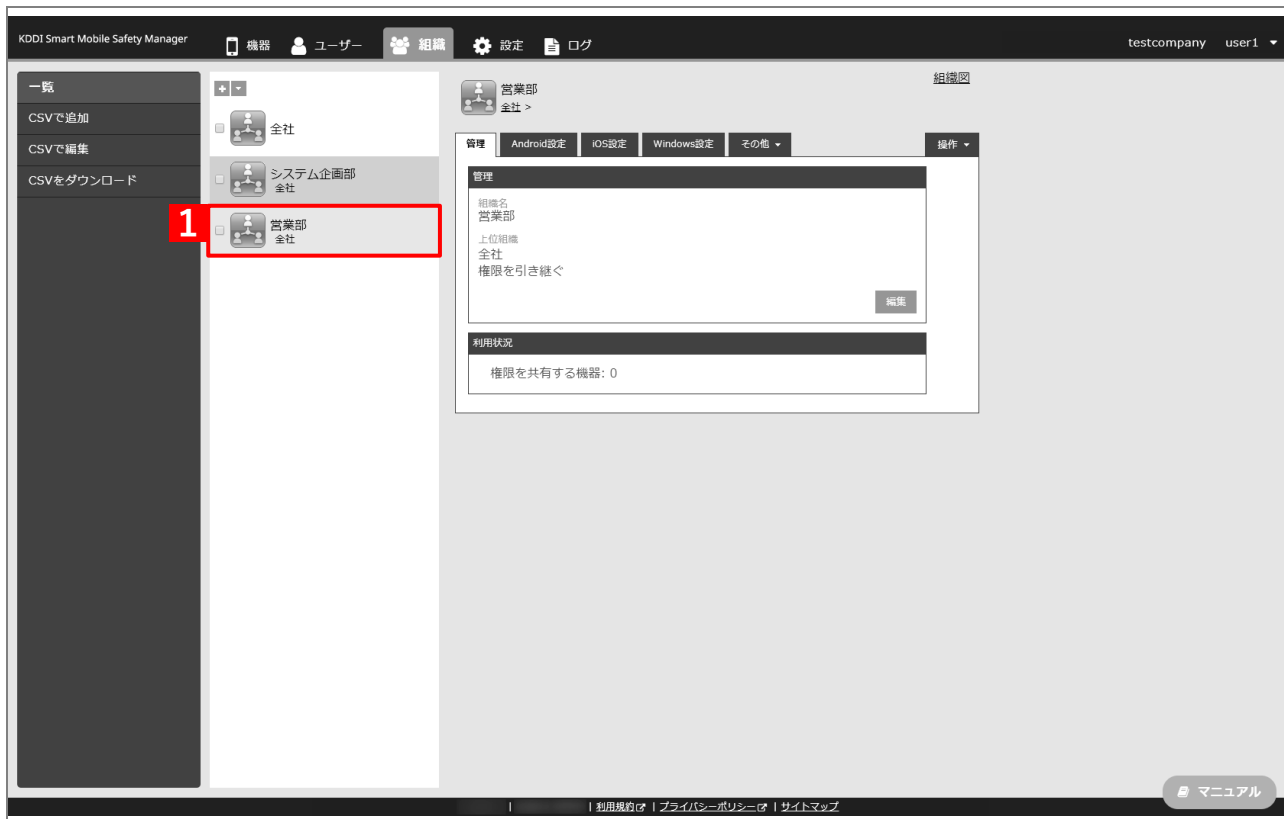


2.3.4 組織（ユーザー）にアプリケーション配信設定を割り当てる


以下の手順で、アプリケーション配信設定を組織（ユーザー）に割り当てます。

【1】 [組織] → [一覧] → 一覧から対象組織を選択します。

 ユーザーに割り当てる場合は、[ユーザー] → [一覧] → 一覧から対象ユーザーを選択します。



【2】 [その他▼] タブ → [ユーザー設定] をクリックします。

 ユーザーに割り当てる場合は、対象ユーザーの選択時に [その他▼] タブ → [設定] を選択します。



【3】 [編集] をクリックします。**【4】** プルダウンメニューから、「アプリケーション配信設定を作成する」の手順【3】で設定した配信設定名を指定します。**【5】** [保存] をクリックします。

⇒ オリジナルアプリを配信するためのアプリケーション配信設定が、対象組織に割り当てられます。



2.3.5 端末にユーザーを割り当てる

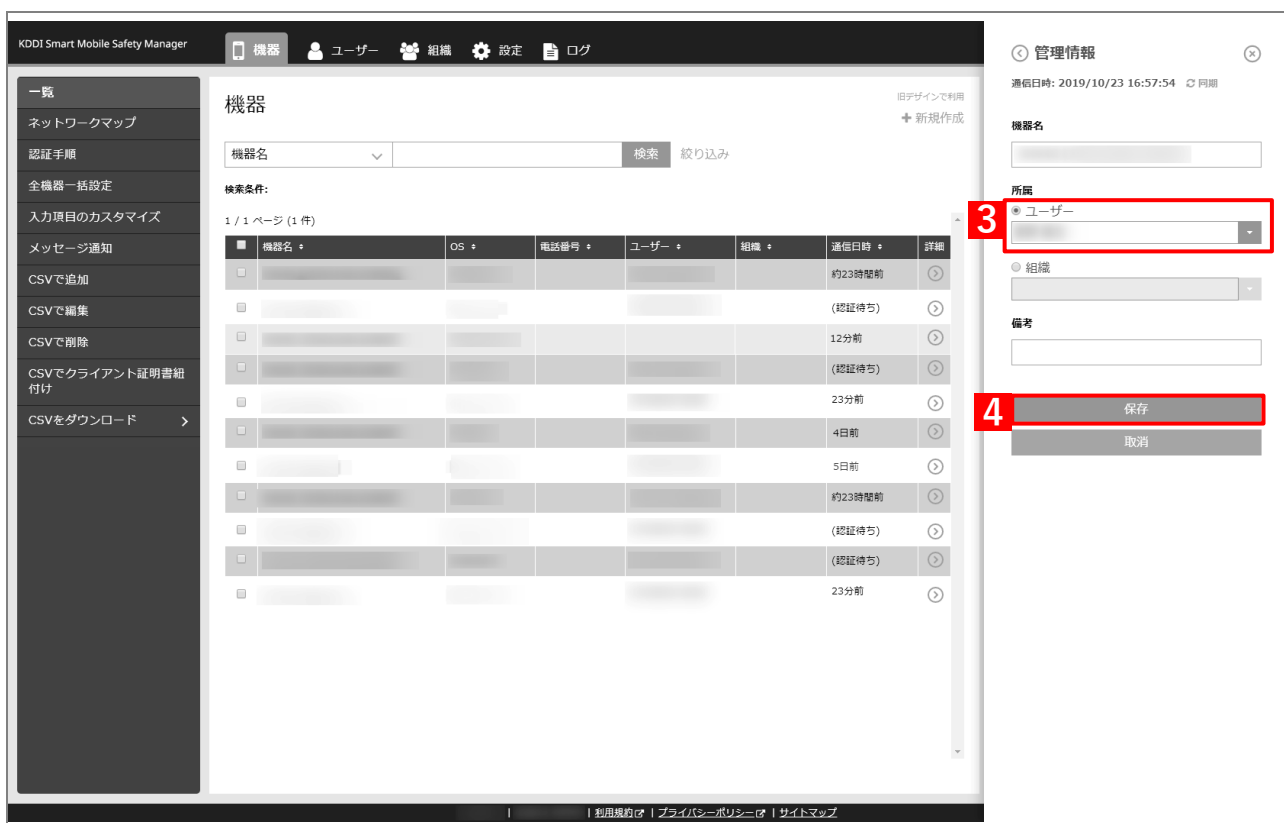
以下の手順で、アプリのインストール先となる端末にユーザーを割り当て、同期を行います。この操作まで行くと、端末にオリジナルアプリがインストールできます。

- [1]** [機器] → [一覧] → 一覧から対象端末をクリックします。
- [2]** [管理情報の編集] をクリックします。

The screenshot shows the KDDI Smart Mobile Safety Manager web interface. The main content area displays a table of devices under the '機器' (Devices) tab. A red box labeled '1' highlights a row in the table. On the right sidebar, a red box labeled '2' highlights the '管理情報の編集' (Edit Management Information) button.

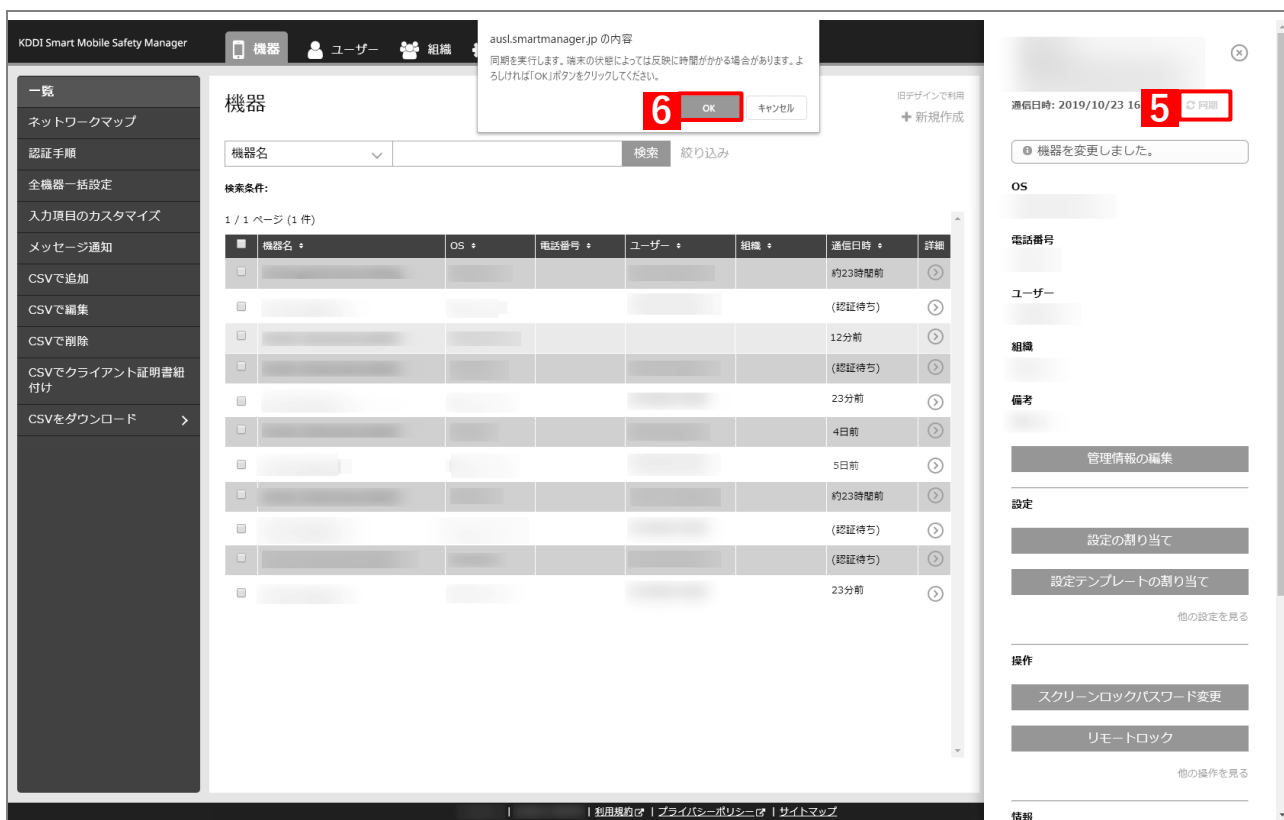
機器名	OS	電話番号	ユーザー	組織	通信日時	詳細
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	約23時間前	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	(認証待ち)	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	12分前	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	(認証待ち)	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	23分前	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	4日前	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	5日前	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	約23時間前	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	(認証待ち)	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	(認証待ち)	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	23分前	[Redacted]

- [3]** 「所属」の「ユーザー」を選択し、プルダウンメニューから「ユーザーを組織に紐づける」の手順【1】で選択したユーザーを指定します。
- [4]** [保存] をクリックします。



- [5]** [同期] をクリックします。
- [6]** [OK] をクリックします。

⇒端末の Play ストアにオリジナルアプリが配信されます。以降の操作は配信先の端末で行います。

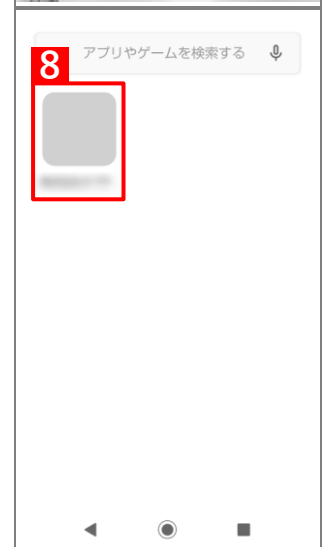


【7】 [Playストア] をタップします。



【8】 オリジナルアプリをタップします。

⇒ オリジナルアプリのインストールが開始されます。端末の画面にアプリのアイコンが表示されるまでお待ちください。



2.4 ウェブアプリ（ショートカット）をインストールする

「アプリケーション配信」で特定の Web サイトへのショートカットをウェブアプリとして端末にインストールするには、以下の一連の操作を行います。


 ウェブアプリを使用するには、端末に Google Chrome をインストールしてください。

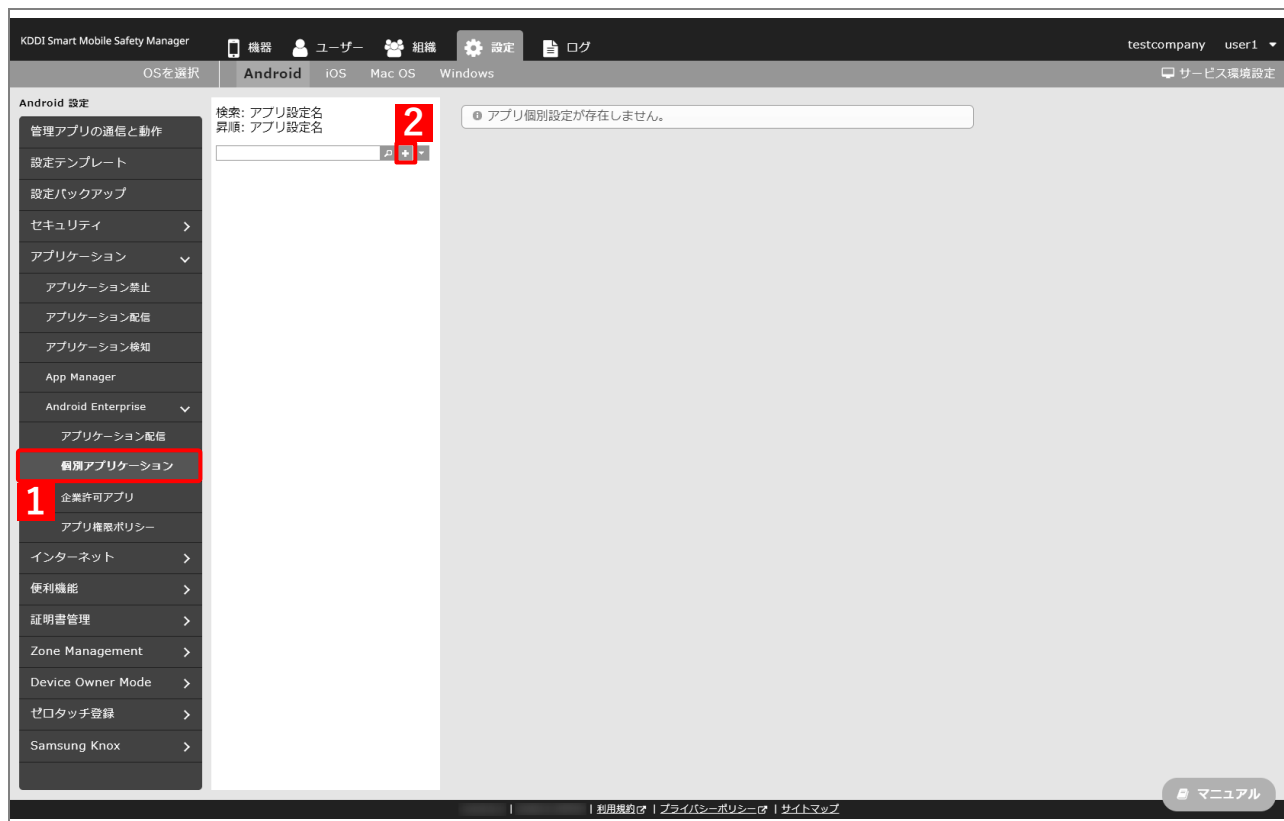
2.4.1 アプリ個別設定を作成する

以下の手順で「個別アプリケーション」から、インストール対象のアプリを登録した設定セット（アプリ個別設定）を作成します。

 1つの設定セットに複数のアプリをセットすることはできません。

[1] [設定] → [Android] → [アプリケーション] → [Android Enterprise] → [個別アプリケーション] をクリックします。

[2]  をクリックします。



【3】 「アプリ設定名」に任意の名前を入力します。

【4】 「アプリを選択する」をクリックします。

⇒ managed Google Play ストアの「アプリ選択」画面が表示されます。



【5】 (ウェブアプリ) をクリックします。

【6】 + をクリックします。



【7】 「タイトル」に任意の名前を入力します。

【8】 表示する Web サイトの URL を入力します。

【9】 表示モードを以下から選択します。

- 全画面：ウェブアプリが全画面モードで表示されます。端末のステータスバーやナビゲーションバーは表示されません。
- スタンドアロン：ウェブアプリとともに端末のステータスバーやナビゲーションバーが表示されます。
- ミニマル UI：ウェブアプリとともに端末のステータスバー、ナビゲーションバー、アプリの URL、更新ボタンが表示されます。HTTP URL を使用する場合は、この項目のみ選択できます。

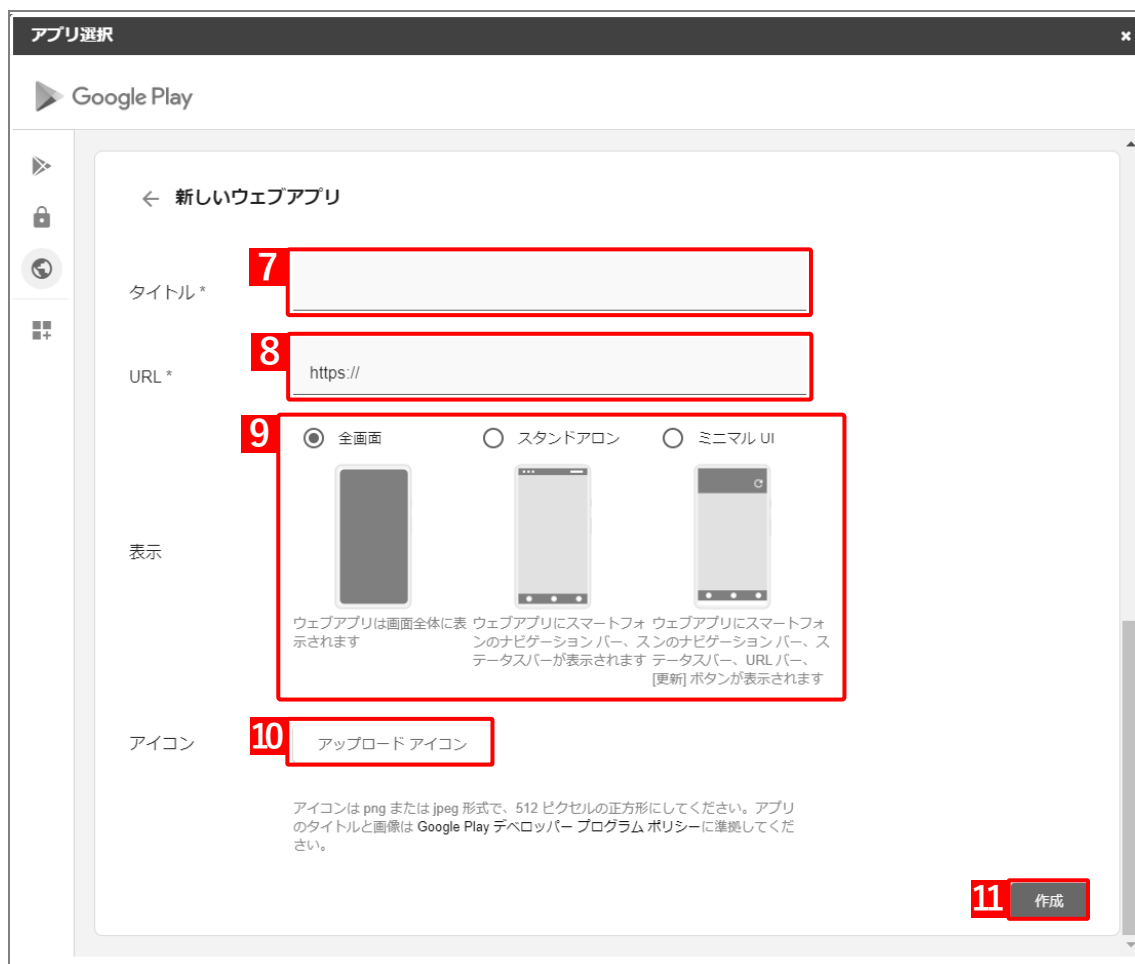
表示モードは、指定した URL に属するページにのみ適用されます。URL が別の Web サイトにリダイレクトされている場合は、そのサイトが Google Chrome で表示されます。

【10】 [アップロード アイコン] をクリックして、アイコンに使用する画像ファイルを指定します。

画像ファイルは、サイズが 1MB 以下（512 ピクセル正方形を推奨）の png 形式または jpeg 形式にしてください。

【11】 [作成] をクリックします。

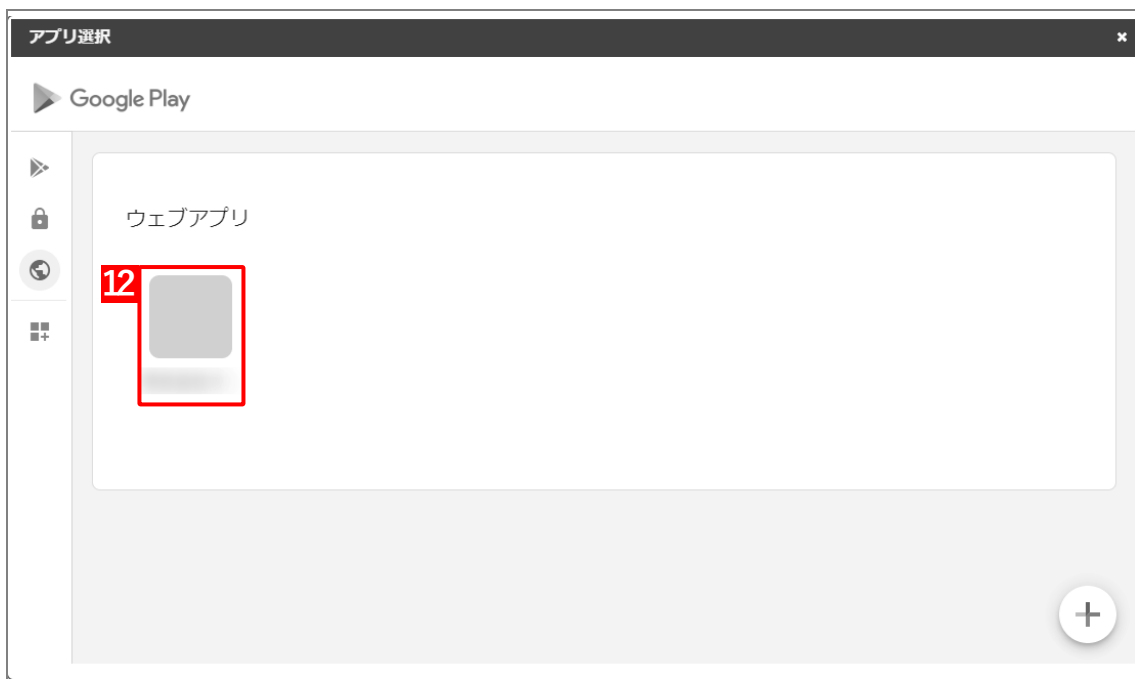
ウェブアプリは、Google Play デベロッパープログラムポリシー準拠している必要があります。タイトルやアイコンに別のアプリやエンティティのブランド、タイトル、ロゴ、名前を使用している場合は、ウェブアプリを公開できないことがあります



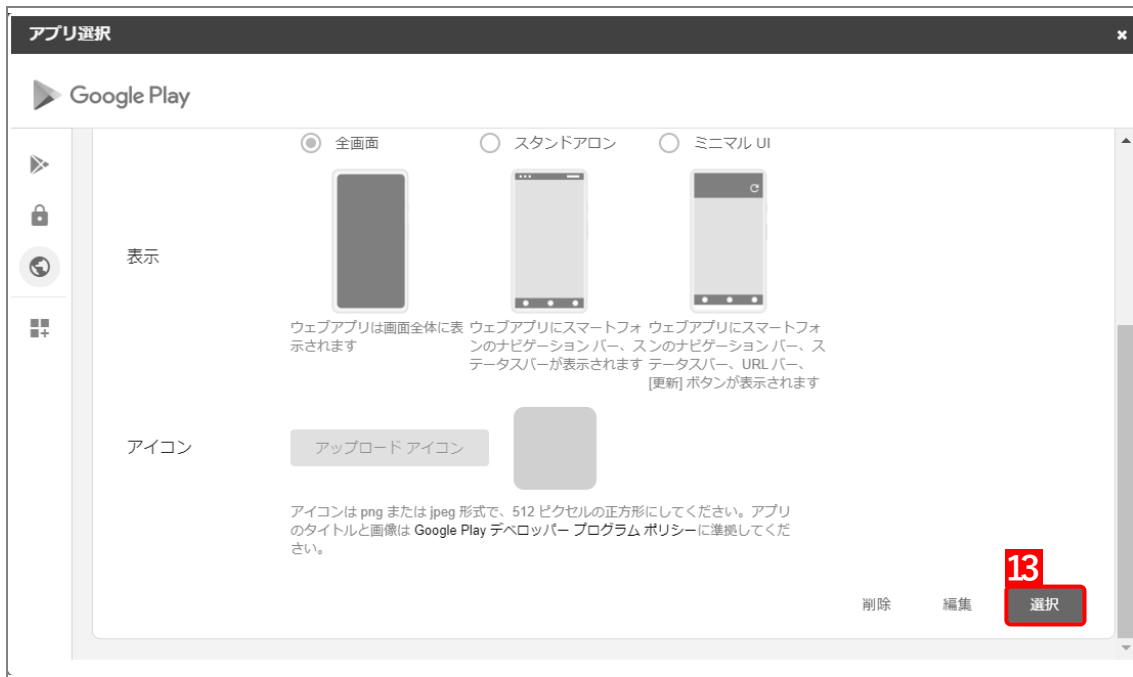
- ❏ ウェブアプリが公開されるまで、10分程度お待ちください。公開されると、(A)「まだご利用いただけません」という表示が消えます。



- 【12】** 公開されたウェブアプリをクリックします。



【13】 [選択] をクリックします。

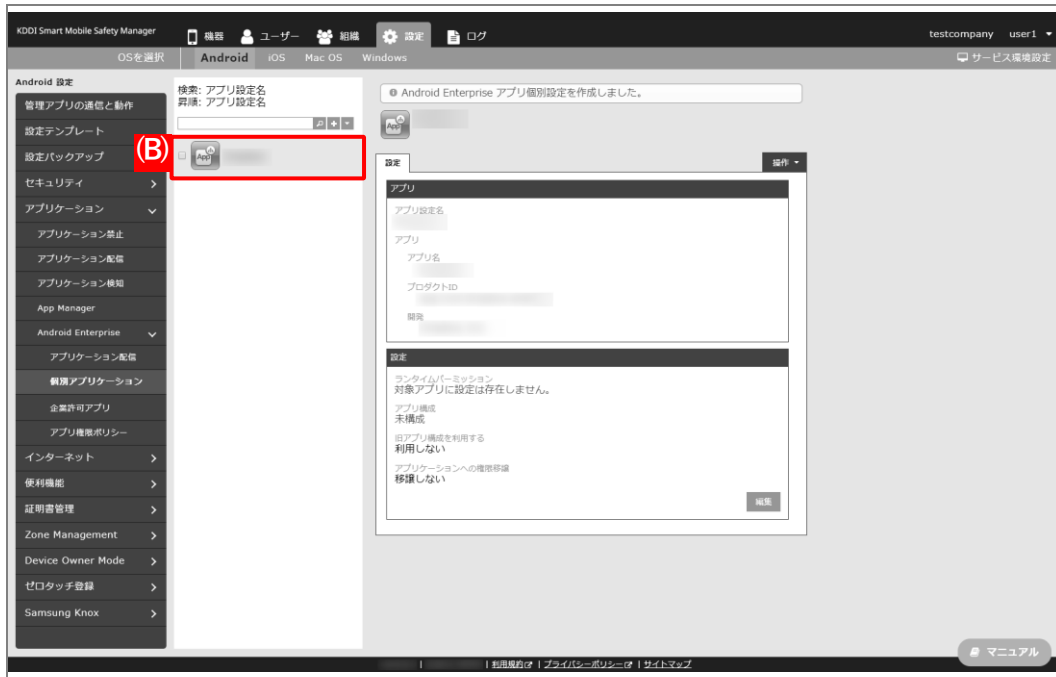


【14】 [保存] をクリックします。

✎ (A) 「選択中のアプリ」には、アプリのパッケージ名が表示されています。



⇒ (B) アプリ個別設定が作成されます。



2.4.2 企業許可アプリを追加する

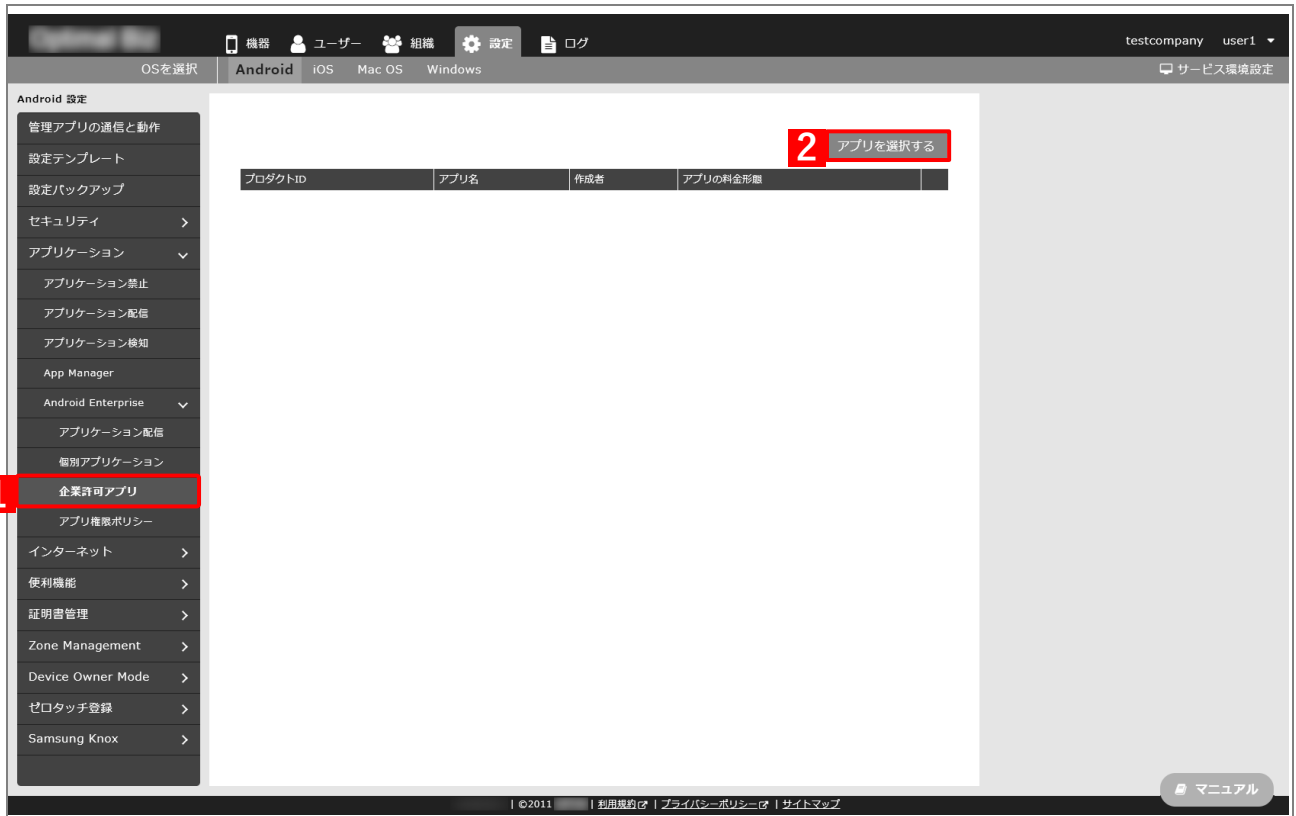
「アプリ個別設定を作成する」で managed Google Play ストアに限定公開したウェブアプリを、Android Enterprise で配信する「企業許可アプリ」として登録します。

✎ 「企業許可アプリ」は、1,000 件まで登録できます。

【1】 [設定] → [Android] → [アプリケーション] → [Android Enterprise] → [企業許可アプリ] をクリックします。

【2】 [アプリを選択] をクリックします。

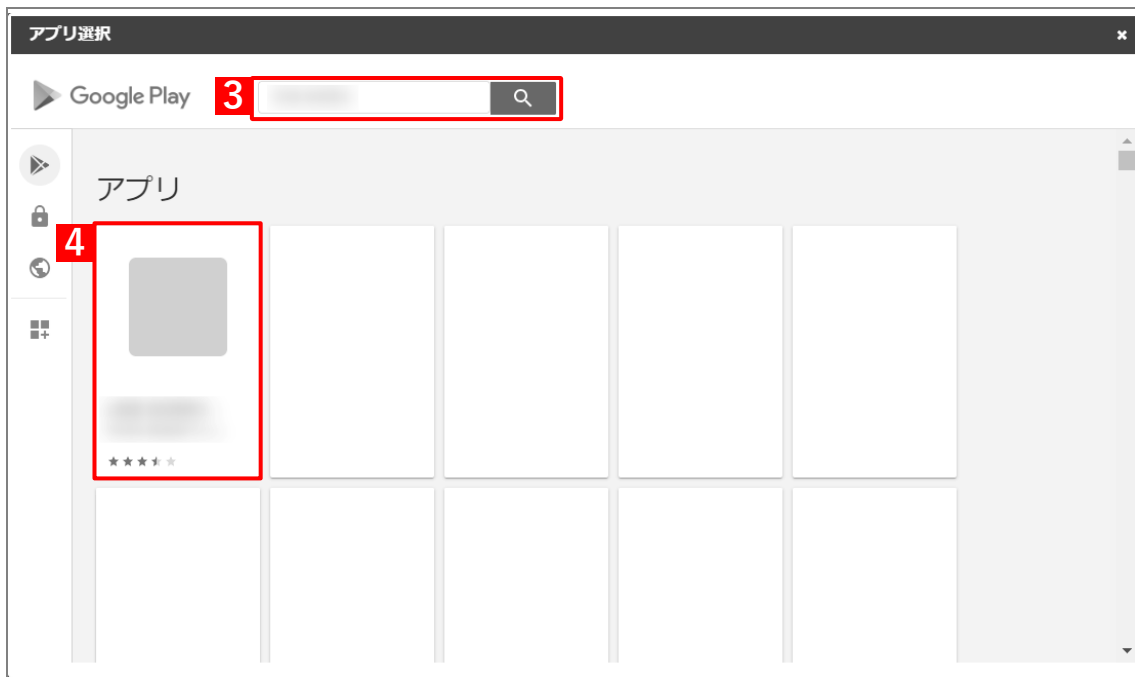
⇒ managed Google Play ストアの「アプリ選択」画面が表示されます。



【3】 「アプリ個別設定を作成する」で限定公開したウェブアプリを検索します。

⇒ 検索結果が表示されます。

【4】 該当のアプリをクリックします。



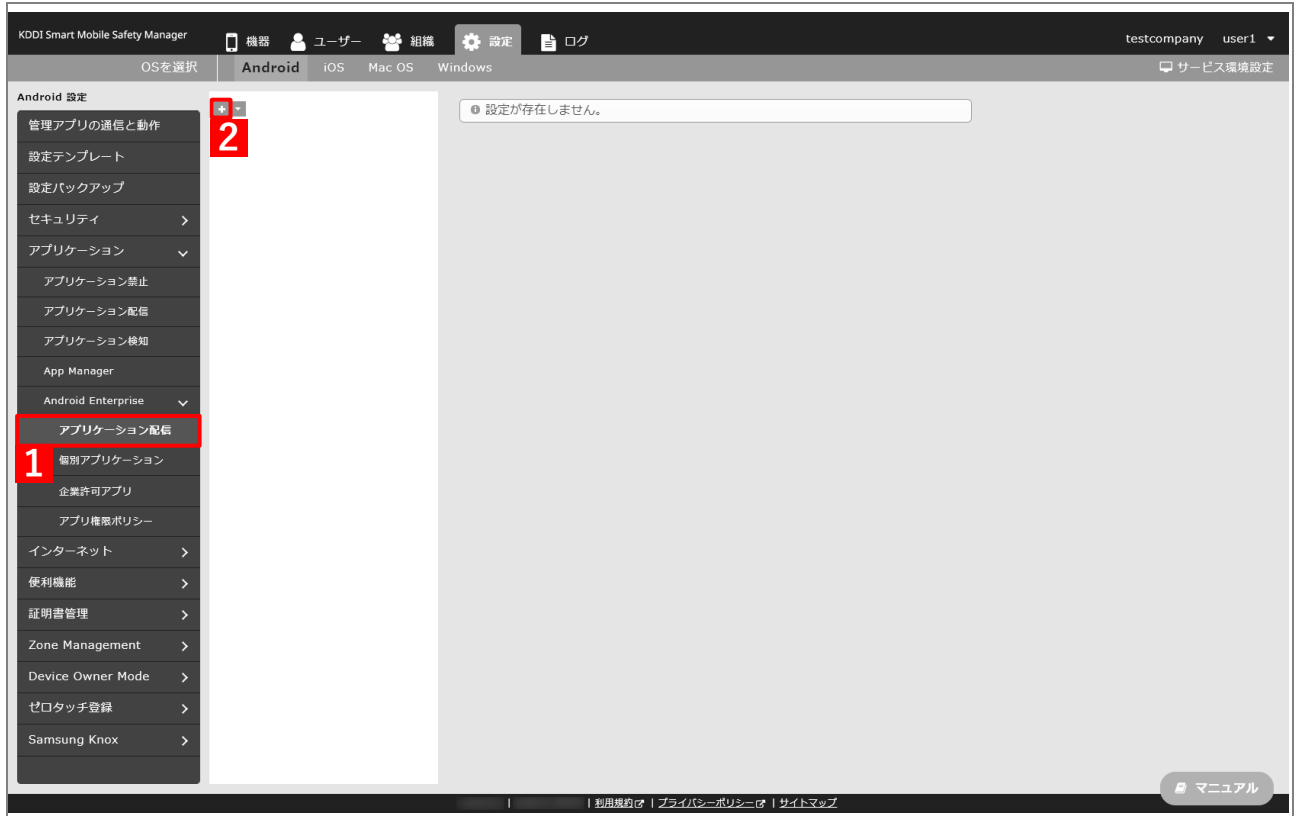
【5】 「選択」をクリックします。



2.4.3 アプリケーション配信設定を作成する

以下の手順で「アプリケーション配信」から、アプリ個別設定を組み合わせた設定セット（アプリケーション配信設定）を作成します。

- [1]** [設定] → [Android] → [アプリケーション] → [Android Enterprise] → [アプリケーション配信] をクリックします。
- [2]** **+** をクリックします。



- [3]** 「配信設定名」に任意の名前を入力します。
- [4]** 「指定アプリのみインストール可能」を選択します。
- [5]** **+** をクリックします。

新規作成

設定

設定 - 編集

3 配信設定名

配信アプリ

全てのアプリをインストール可能

企業許可アプリのみインストール可能

4 指定アプリのみインストール可能

アプリ個別設定 強制インストール 自動アップデート設定

(+ ボタンで追加: 300件まで) **5** +



自動アップデート設定について

デフォルト
以下の条件をすべて満たした場合に、アプリが自動アップデートされます。
・各端末のGoogle Play ストアの [ネットワーク設定] が [ネットワークの指定なし] に設定されている。
または、[Wi-Fi 経由のみ] を設定し、端末がWi-Fiに接続されている。
・端末を操作していない状態である。
・端末が充電中である。
・アップデートするアプリが画面上で起動していない。

90日間延期
Google Play ストアで新しいバージョンのアプリが公開されても、90日間はアップデートされません。
90日を過ぎると、[デフォルト] と同じ条件で自動アップデートされます。

即時
Google Play ストアで新しいバージョンのアプリが公開されると、すぐにアプリが自動アップデートされます。
[デフォルト] の条件を満たしている必要はありません。

保存

- 【6】** 「アプリ個別設定」のプルダウンメニューから、「アプリ個別設定を作成する」の手順【3】で設定したアプリ設定名を指定します。
- 【7】** 「自動アップデート設定」のプルダウンメニューから、アップデート方法を選択します。
-  アップデート方法の詳細は、以下を参照してください。
-  「企業許可アプリを自動アップデートする」104 ページ
- 【8】** [保存] をクリックします。



新規作成

設定

設定 - 編集

配信設定名

配信アプリ

全てのアプリをインストール可能

企業許可アプリのみインストール可能

指定アプリのみインストール可能 **7**

6 アプリ個別設定 強制インストール 自動アップデート設定

 する デフォルト

(+ボタンで追加: 300件まで) **+**

! 自動アップデート設定について

デフォルト
以下の条件をすべて満たした場合に、アプリが自動アップデートされます。

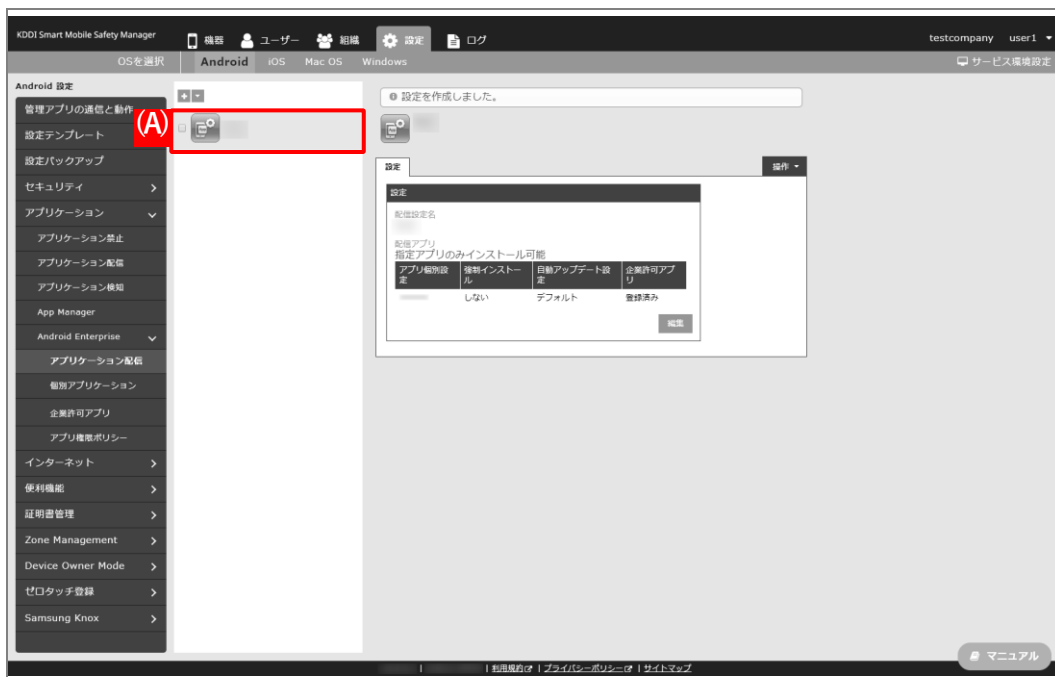
- 各端末のGoogle Play ストアの [ネットワーク設定] が [ネットワークの指定なし] に設定されている。
- または、[Wi-Fi 経由のみ] を設定し、端末がWi-Fiに接続されている。
- 端末を操作していない状態である。
- 端末が充電中である。
- アップデートするアプリが画面上で起動していない。

90日間延期
Google Play ストアで新しいバージョンのアプリが公開されても、90日間はアップデートされません。90日を過ぎると、[デフォルト] と同じ条件で自動アップデートされます。

即時
Google Play ストアで新しいバージョンのアプリが公開されると、すぐにアプリが自動アップデートされます。[デフォルト] の条件を満たしている必要はありません。

8 保存


⇒ (A) アプリケーション配信設定が作成されます。

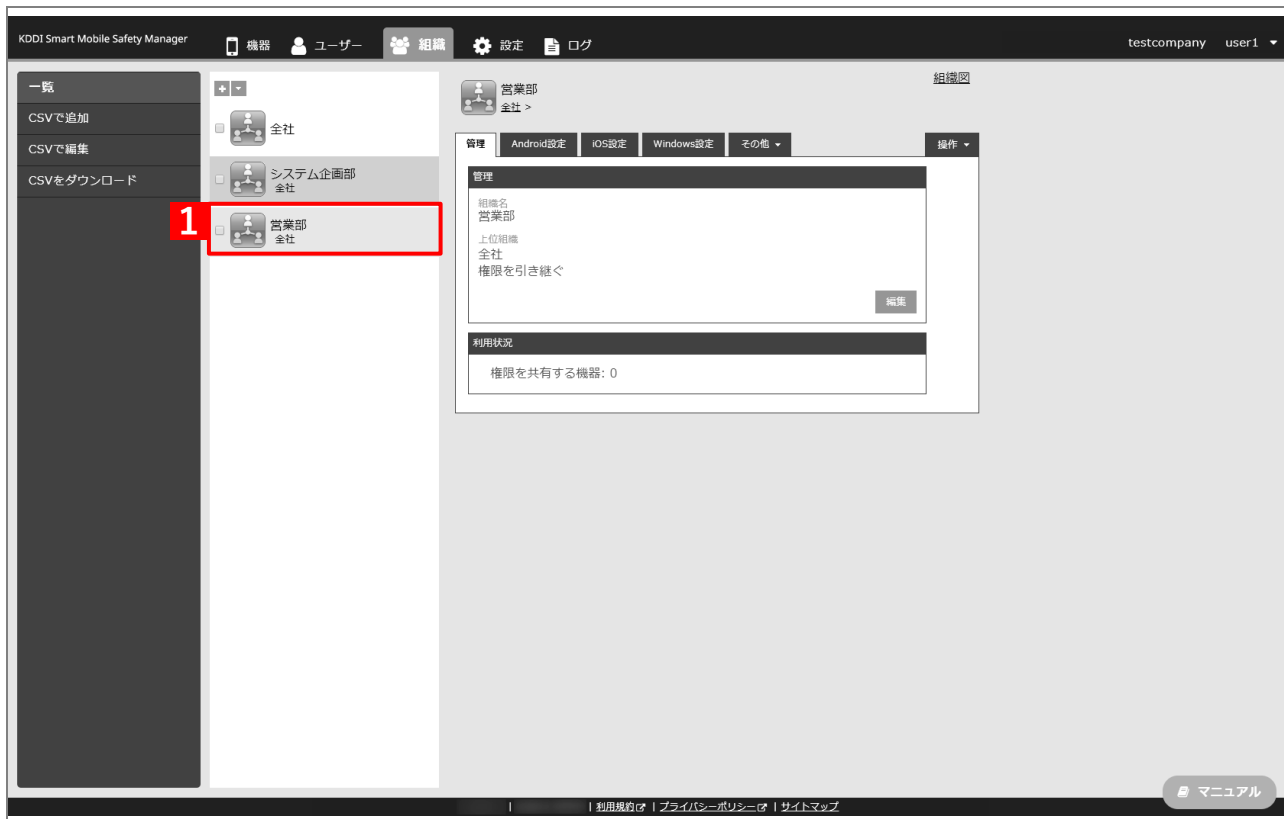


2.4.4 組織（ユーザー）にアプリケーション配信設定を割り当てる


以下の手順で、アプリケーション配信設定を組織（ユーザー）に割り当てます。

【1】 [組織] → [一覧] → 一覧から対象組織を選択します。

 ユーザーに割り当てる場合は、[ユーザー] → [一覧] → 一覧から対象ユーザーを選択します。



【2】 [その他▼] タブ → [ユーザー設定] をクリックします。

 ユーザーに割り当てる場合は、対象ユーザーの選択時に [その他▼] タブ → [設定] を選択します。



【3】 [編集] をクリックします。**【4】 プルダウンメニューから、「アプリケーション配信設定を作成する」の手順【3】で設定した配信設定名を指定します。****【5】 [保存] をクリックします。**

⇒ ウェブアプリを配信するためのアプリケーション配信設定が、対象組織に割り当てられます。



2.4.5 端末にユーザーを割り当てる

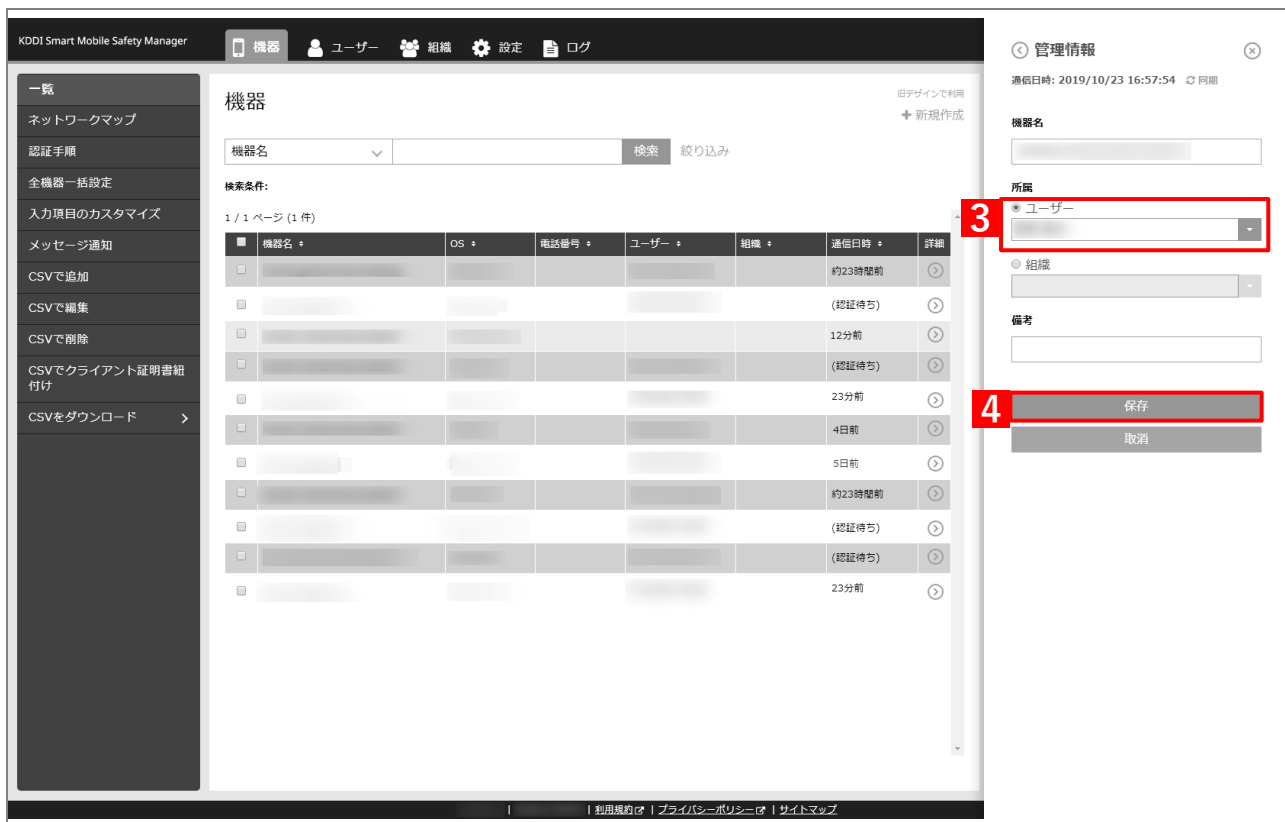
以下の手順で、アプリのインストール先となる端末にユーザーを割り当て、同期を行います。この操作まで行くと、端末にウェブアプリがインストールできます。

- [1]** [機器] → [一覧] → 一覧から対象端末をクリックします。
- [2]** [管理情報の編集] をクリックします。

The screenshot shows the KDDI Smart Mobile Safety Manager interface. The main area displays a table of devices with columns for device name, OS, phone number, user, organization, and communication time. A red box labeled '1' highlights a device in the table. The right sidebar contains various management options, with a red box labeled '2' highlighting the '管理情報の編集' (Edit Management Information) button.

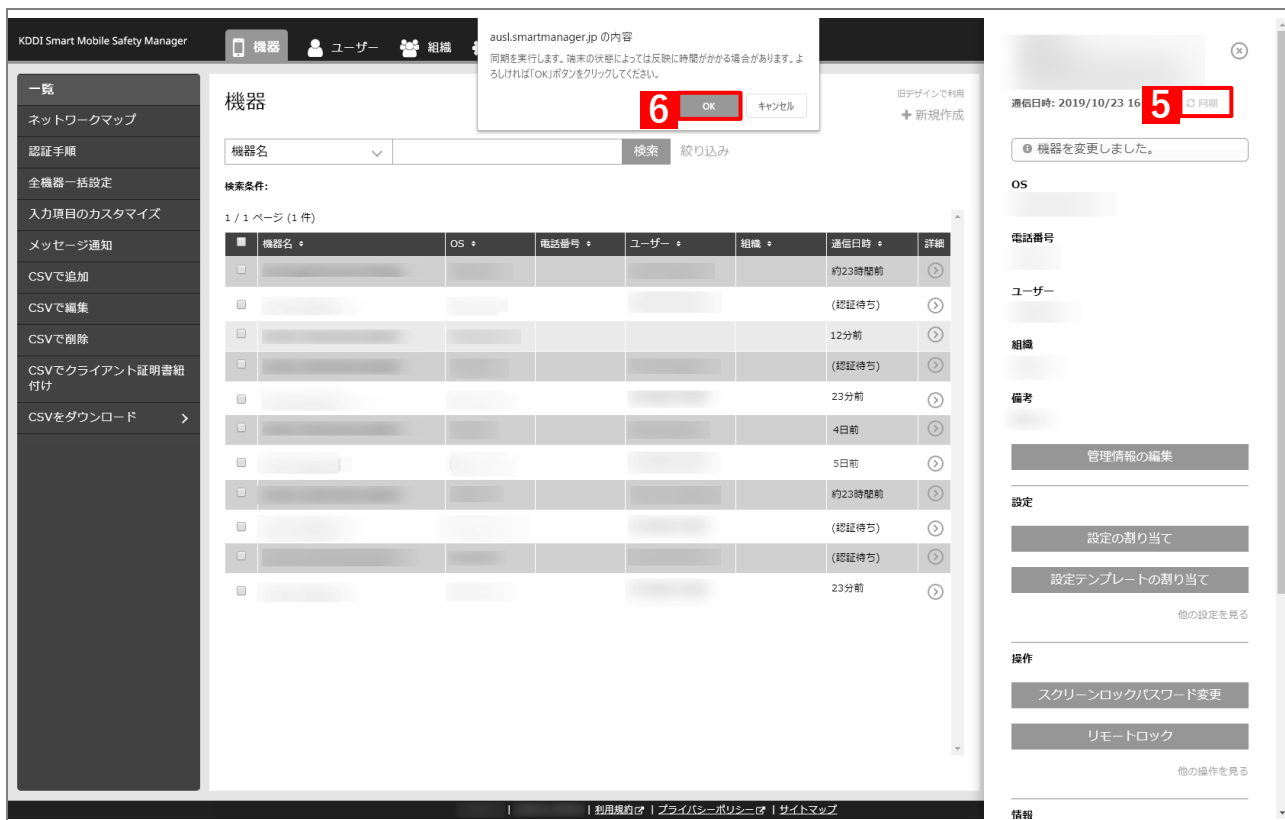
機器名	OS	電話番号	ユーザー	組織	通信日時	詳細
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	約23時間前	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	(認証待ち)	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	12分前	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	(認証待ち)	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	23分前	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	4日前	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	5日前	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	約23時間前	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	(認証待ち)	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	(認証待ち)	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	23分前	[Redacted]

- [3]** 「所属」の「ユーザー」を選択し、プルダウンメニューから「ユーザーを組織に紐づける」の手順【1】で選択したユーザーを指定します。
- [4]** [保存] をクリックします。



- [5]** [同期] をクリックします。
- [6]** [OK] をクリックします。

⇒端末の Play ストアにウェブアプリが配信されます。以降の操作は配信先の端末で行います。

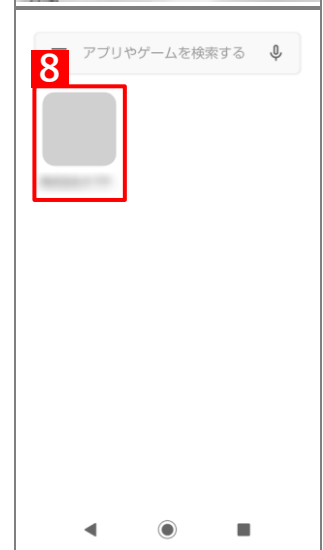


【7】 [Playストア] をタップします。



【8】 ウェブアプリをタップします。

⇒ ウェブアプリのインストールが開始されます。端末の画面にアプリのアイコンが表示されるまでお待ちください。



2.5 アプリ構成を利用してアプリをインストールする

「個別アプリケーション」の「アプリ構成」を利用すると、対応したアプリの場合は、それらにさまざまな設定値を付加してインストールできます。ここでは LINE WORKS を例に、「アプリ構成」を利用したインストール手順について説明します。この方法でインストールすると、認証された端末からのみ LINE WORKS にログインできるようになります。

「アプリ構成」で付加できる設定値は、アプリによって異なります。「アプリ構成」の利用可否、および設定値の仕様については、アプリの開発元へお問い合わせください。

2.5.1 企業許可アプリを追加する

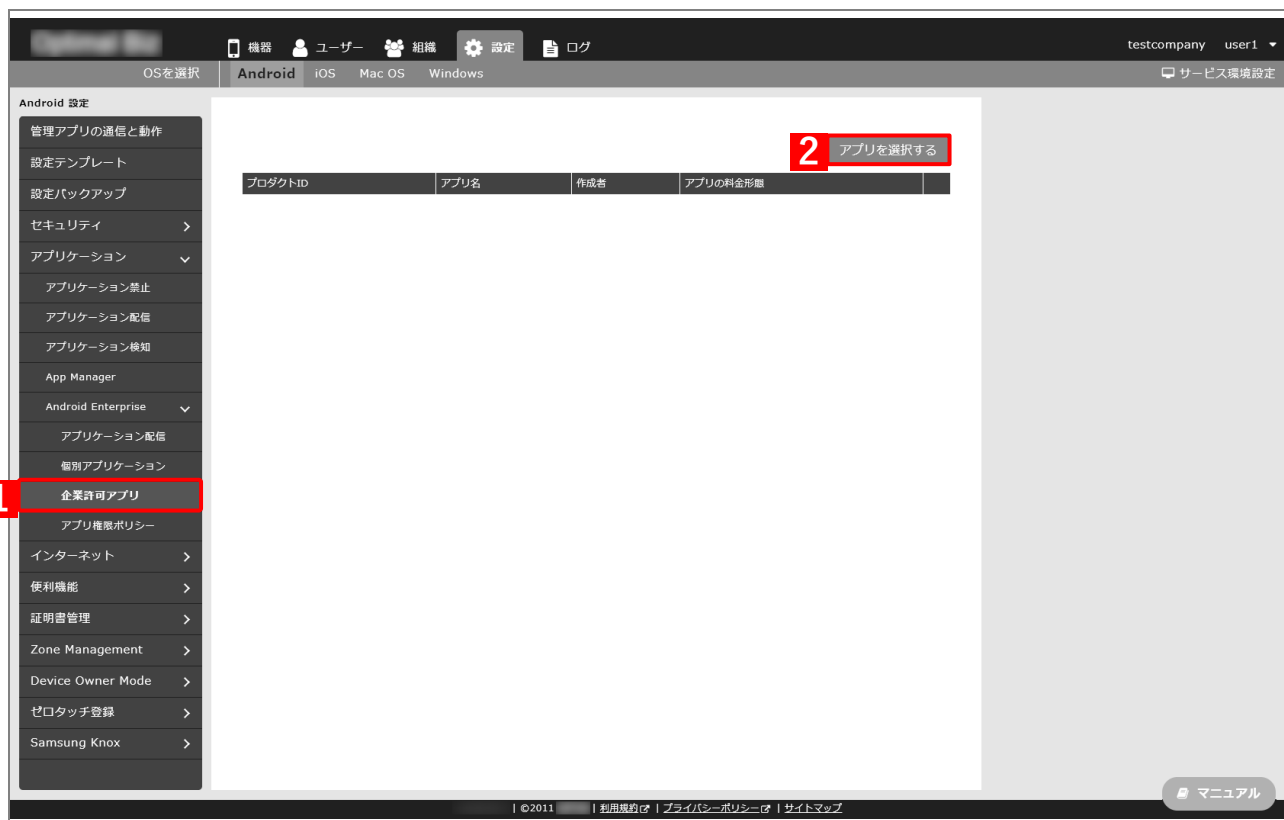
以下の手順で managed Google Play ストアに公開されているアプリのうち、Android Enterprise で配信することを企業で許可するアプリを追加します。

✍️ 「企業許可アプリ」は、1,000 件まで登録できます。

[1] [設定] → [Android] → [アプリケーション] → [Android Enterprise] → [企業許可アプリ] をクリックします。

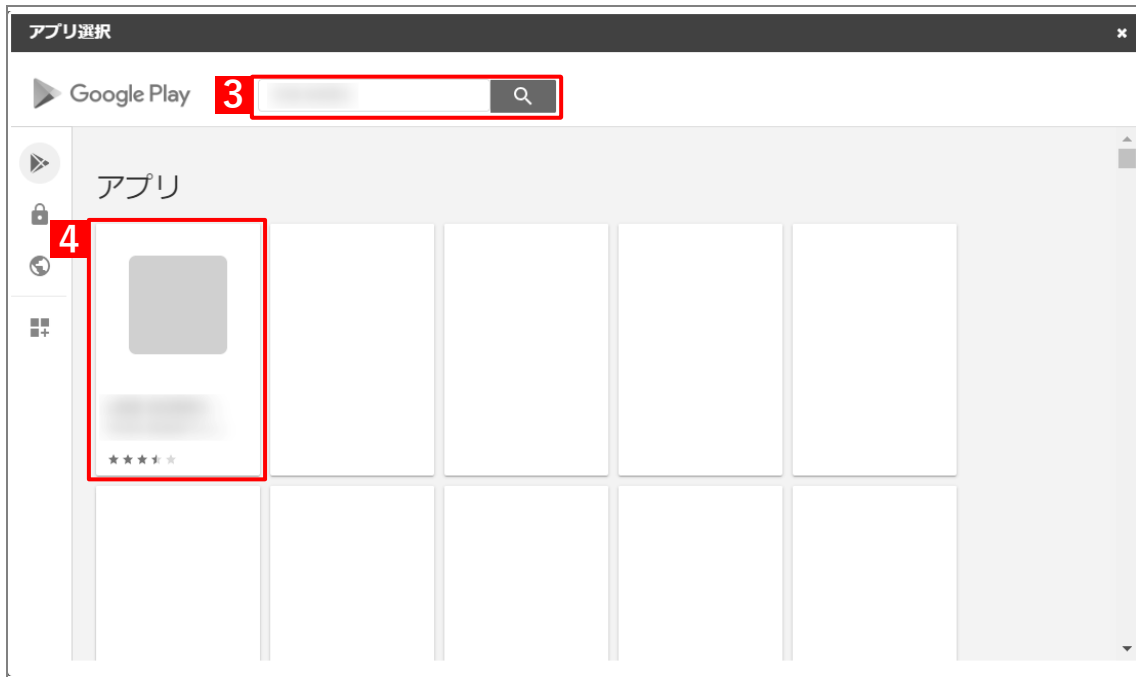
[2] [アプリを選択] をクリックします。

⇒ managed Google Play ストアの「アプリ選択」画面が表示されます。

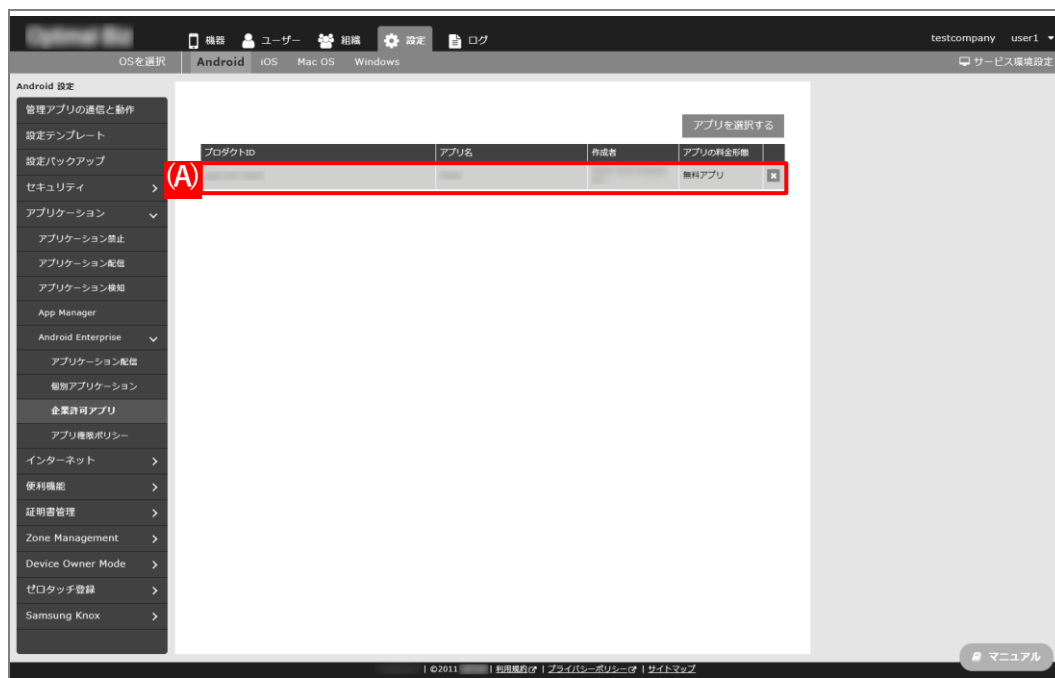


【3】 企業で配信を許可するアプリを検索します。

⇒ 検索結果が表示されます。

【4】 該当のアプリをクリックします。**【5】 [選択] をクリックします。**

⇒ managed Google Play ストアの「アプリ選択」画面が閉じて、「企業許可アプリ」に (A) 選択したアプリが登録されます。

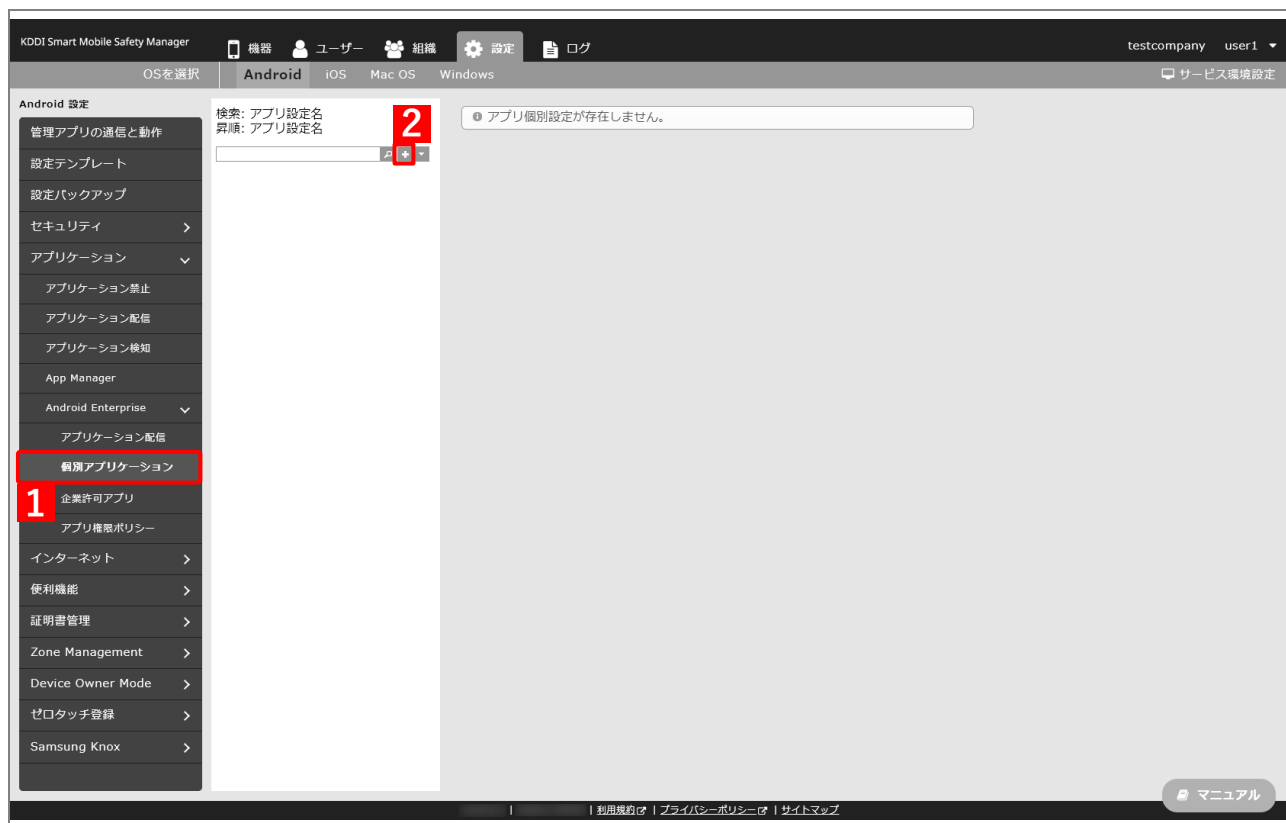


2.5.2 アプリ個別設定を作成する

以下の手順で「個別アプリケーション」から、インストール対象のアプリ（LINE WORKS）を登録した設定セット（アプリ個別設定）を作成します。

🚫 1つの設定セットに複数のアプリをセットすることはできません。

- [1]** [設定] → [Android] → [アプリケーション] → [Android Enterprise] → [個別アプリケーション] をクリックします。
- [2]** **+** をクリックします。



- [3]** 「アプリ設定名」に任意の名前を入力します。

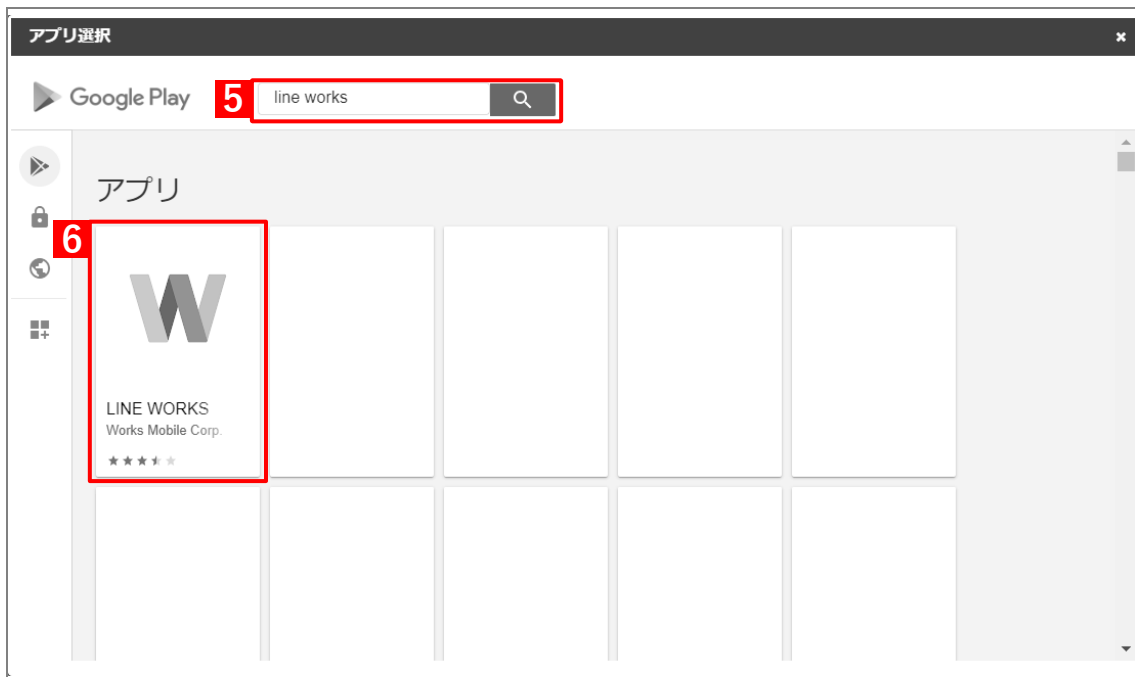
- [4]** [アプリを選択する] をクリックします。

⇒ managed Google Play ストアの「アプリ選択」画面が表示されます。

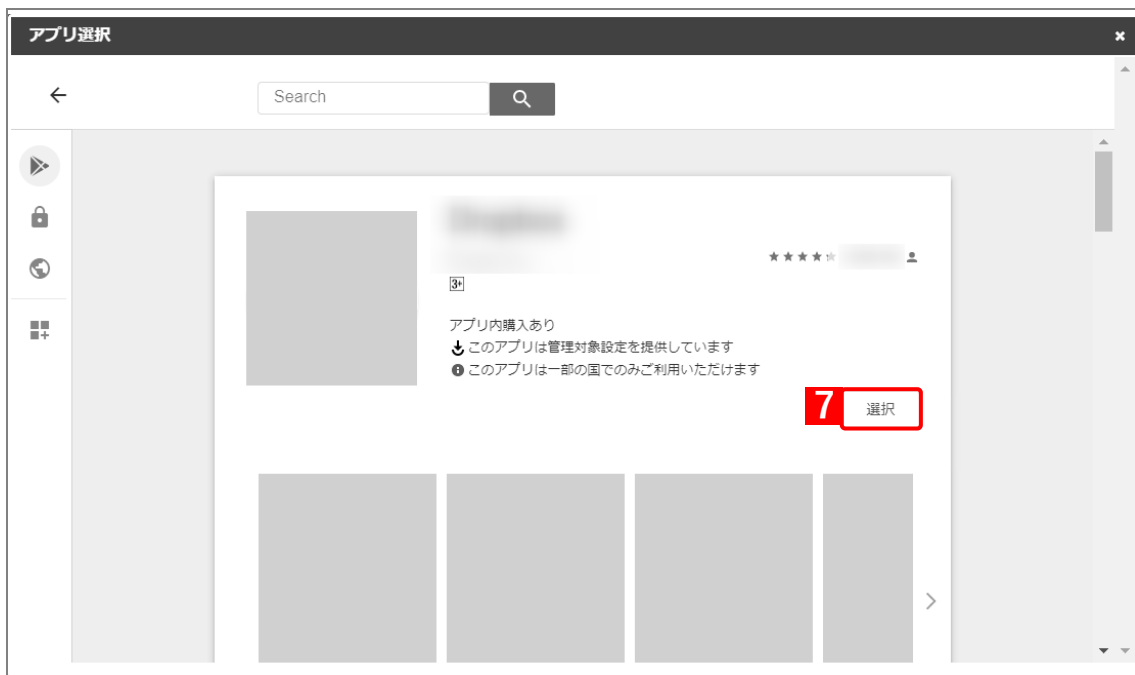


【5】 LINE WORKS を検索します。

⇒検索結果が表示されます。

【6】 [LINE WORKS] をクリックします。**【7】 [選択] をクリックします。**

⇒managed Google Play ストアの「アプリ選択」画面が閉じます。



【8】 [保存] をクリックします。

⇒ アプリ個別設定が作成されます。

✎ (A) 「選択中のアプリ」には、アプリのパッケージ名が表示されています。

App 新規作成

設定

設定 - 編集

アプリ設定名

アプリ選択

(A) 選択中のアプリ

アプリを選択する

8 保存

【9】 [編集] をクリックします。

App

設定

操作 ▾

アプリ

アプリ設定名

アプリ

アプリ名
LINE WORKS

プロダクトID

開発
Works Mobile Corp.

設定

ランタイムパーミッション
デフォルト

アプリ構成
未構成

旧アプリ構成を利用する
利用しない

アプリケーションへの権限移譲
移譲しない

9 編集

【10】 「アプリ構成」 の 「未構成」 をクリックします。

設定 - 編集集中

ランタイムパーミッション

デフォルト

個別設定

パーミッション名	許可
android.permission.ACCESS_COARSE_LOCATION	デフォルト ▼
android.permission.ACCESS_FINE_LOCATION	デフォルト ▼
android.permission.CALL_PHONE	デフォルト ▼
android.permission.CAMERA	デフォルト ▼
android.permission.GET_ACCOUNTS	デフォルト ▼
android.permission.READ_CONTACTS	デフォルト ▼
android.permission.READ_EXTERNAL_STORAGE	デフォルト ▼
android.permission.READ_PHONE_STATE	デフォルト ▼
android.permission.RECORD_AUDIO	デフォルト ▼
android.permission.WRITE_CONTACTS	デフォルト ▼
android.permission.WRITE_EXTERNAL_STORAGE	デフォルト ▼

アプリ構成

未構成

10 以下のワイルドカードを使用することが出来ます。

- ・ \$emailaddress\$: ユーザーのメールアドレス
- ・ \$username\$: ユーザー名

▲ アプリ構成を 新規作成 / 更新 / 削除 した場合は、編集集中の設定が保存され
ます。

旧アプリ構成を利用する

対象アプリに設定は存在しません。

アプリケーションへの権限移譲

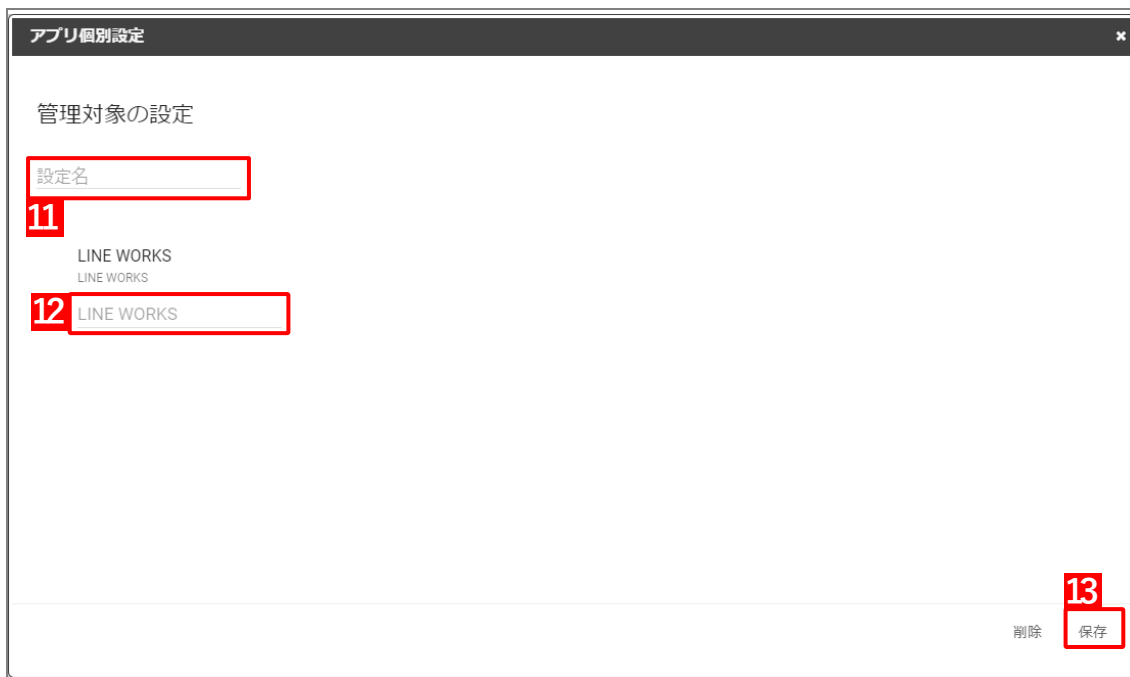
移譲しない

移譲する

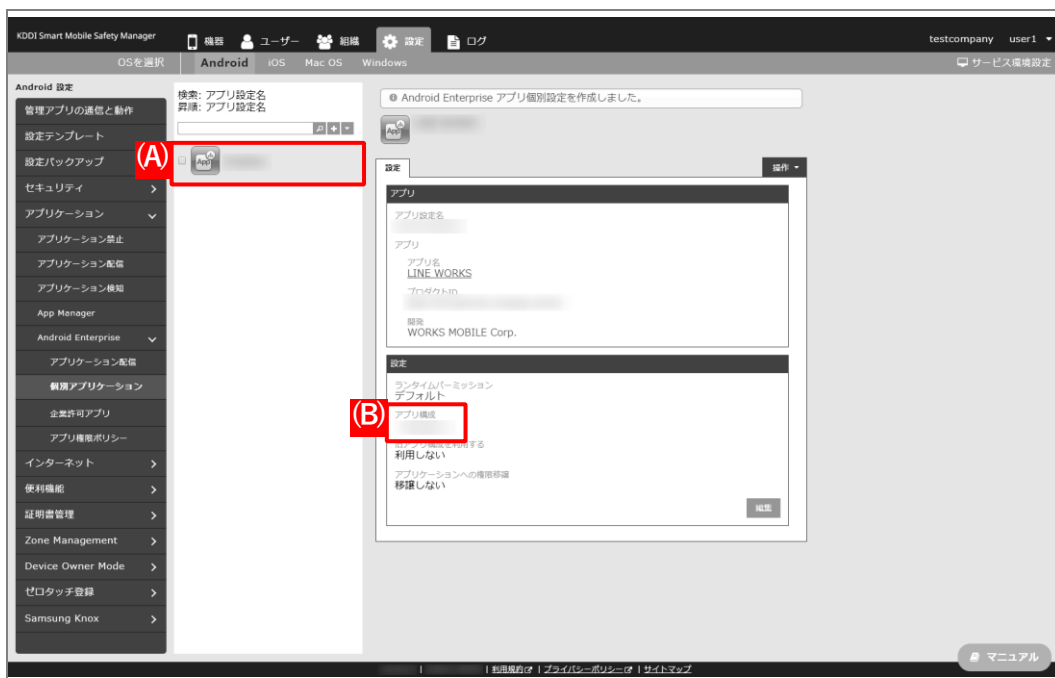
移譲する権限	許可
証明書のインストールと管理	不許可 ▼
アプリ構成の管理	不許可 ▼
アンインストールの抑止	不許可 ▼
アクセス権限の設定と管理	不許可 ▼
アプリの表示や状態の管理	不許可 ▼
システムアプリの有効化	不許可 ▼

取消 保存

- 【11】** 「設定名」に任意の名前を入力します。
- 【12】** 「LINE WORKS」に LINE WORKS Admin から取得した「Key Value」の値を入力します。
 「Key Value」とは、LINE WORKS を本製品と連携させるために必要な値です。詳細については、アプリの開発元にお問い合わせください。
- 【13】** 「保存」をクリックします。



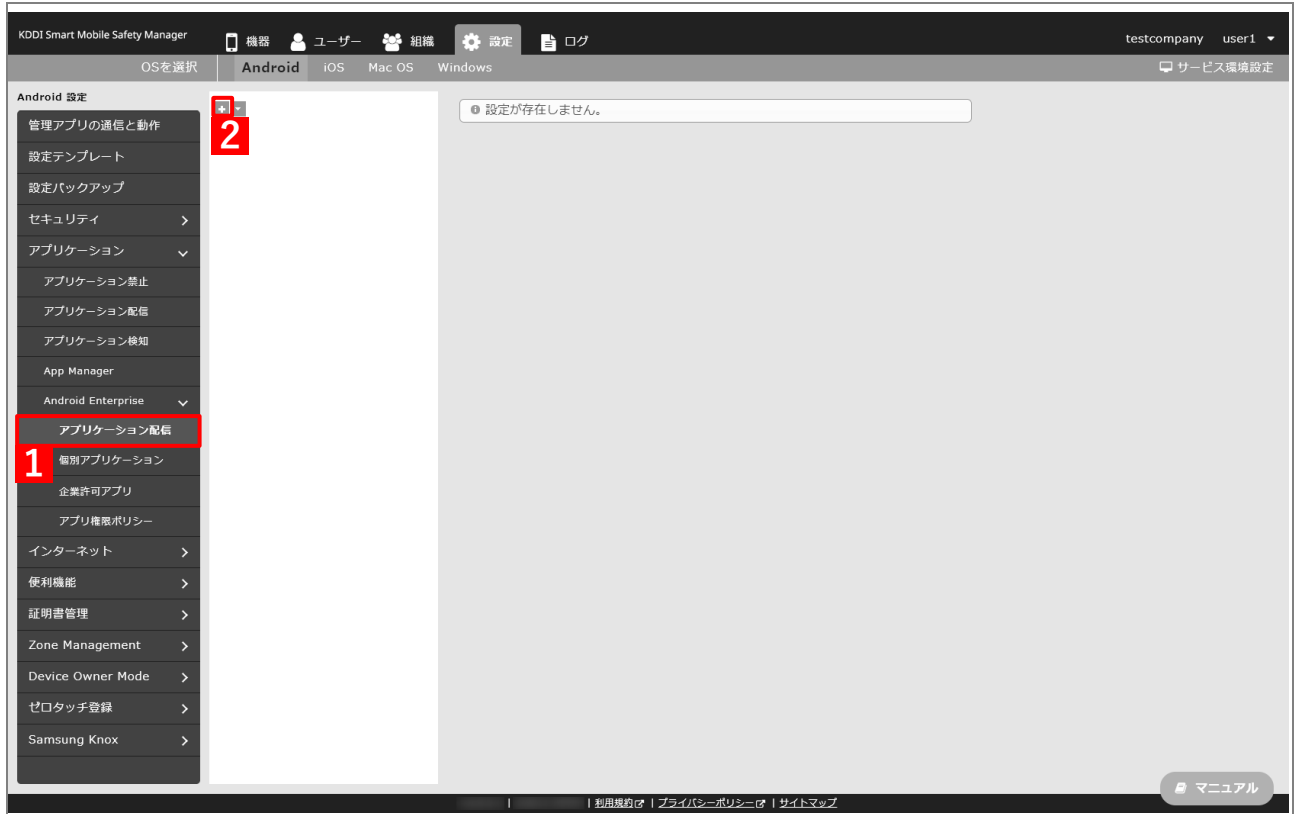
⇒ (A) アプリ個別設定が作成されます。(B) 「アプリ構成」には、【11】で入力した設定名が反映されます。



2.5.3 アプリケーション配信設定を作成する

以下の手順で「アプリケーション配信」から、アプリ個別設定を組み合わせた設定セット（アプリケーション配信設定）を作成します。

- [1]** [設定] → [Android] → [アプリケーション] → [Android Enterprise] → [アプリケーション配信] をクリックします。
- [2]** **+** をクリックします。



- [3]** 「配信設定名」に任意の名前を入力します。
- [4]** 「指定アプリのみインストール可能」を選択します。
- [5]** **+** をクリックします。

新規作成

設定

設定 - 編集

3 配信設定名

配信アプリ

全てのアプリをインストール可能

企業許可アプリのみインストール可能

4 指定アプリのみインストール可能

アプリ個別設定 強制インストール 自動アップデート設定

(+ ボタンで追加: 300件まで) **5** +

! 自動アップデート設定について



デフォルト
以下の条件をすべて満たした場合に、アプリが自動アップデートされます。

- 各端末のGoogle Play ストアの [ネットワーク設定] が [ネットワークの指定なし] に設定されている。
- または、[Wi-Fi 経由のみ] を設定し、端末がWi-Fiに接続されている。
- 端末を操作していない状態である。
- 端末が充電中である。
- アップデートするアプリが画面上で起動していない。

90日間延期
Google Play ストアで新しいバージョンのアプリが公開されても、90日間はアップデートされません。90日を過ぎると、[デフォルト] と同じ条件で自動アップデートされます。

即時
Google Play ストアで新しいバージョンのアプリが公開されると、すぐにアプリが自動アップデートされます。[デフォルト] の条件を満たしている必要はありません。

保存

- 【6】** 「アプリ個別設定」のプルダウンメニューから、「アプリ個別設定を作成する」の手順【3】で設定したアプリ設定名を指定します。
- 【7】** 「自動アップデート設定」のプルダウンメニューから、アップデート方法を選択します。
-  アップデート方法の詳細は、以下を参照してください。
-  「企業許可アプリを自動アップデートする」104 ページ
- 【8】** [保存] をクリックします。



新規作成

設定

設定 - 編集

配信設定名

配信アプリ

全てのアプリをインストール可能

企業許可アプリのみインストール可能

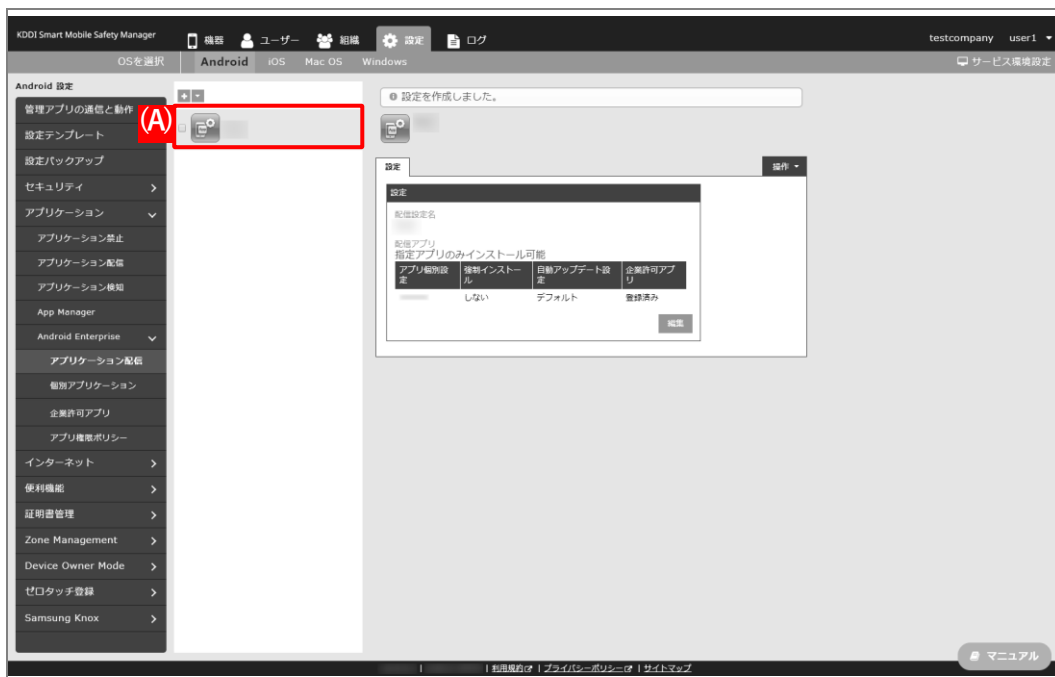
指定アプリのみインストール可能 **7**

6 アプリ個別設定 強制インストール 自動アップデート設定

する

(+ボタンで追加: 300件まで) 73


⇒ (A) アプリケーション配信設定が作成されます。

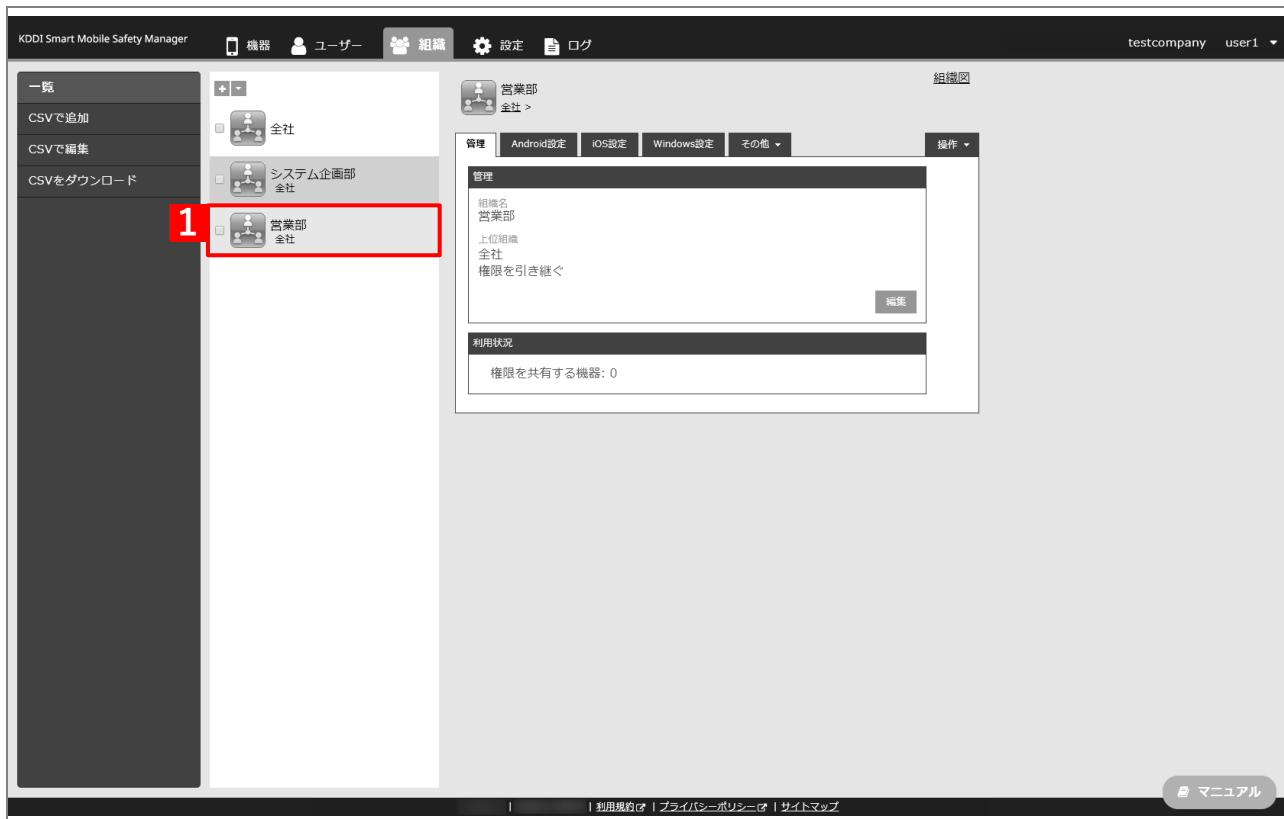


2.5.4 組織（ユーザー）にアプリケーション配信設定を割り当てる


以下の手順で、アプリケーション配信設定を組織（ユーザー）に割り当てます。

【1】 [組織] → [一覧] → 一覧から対象組織を選択します。

 ユーザーに割り当てる場合は、[ユーザー] → [一覧] → 一覧から対象ユーザーを選択します。



【2】 [その他▼] タブ → [ユーザー設定] をクリックします。

 ユーザーに割り当てる場合は、対象ユーザーの選択時に [その他▼] タブ → [設定] を選択します。



【3】 [編集] をクリックします。**【4】 プルダウンメニューから、「アプリケーション配信設定を作成する」の手順【3】で設定した配信設定名を指定します。****【5】 [保存] をクリックします。**

⇒LINE WORKS を配信するためのアプリケーション配信設定が、対象組織に割り当てられます。



2.5.5 端末にユーザーを割り当てる

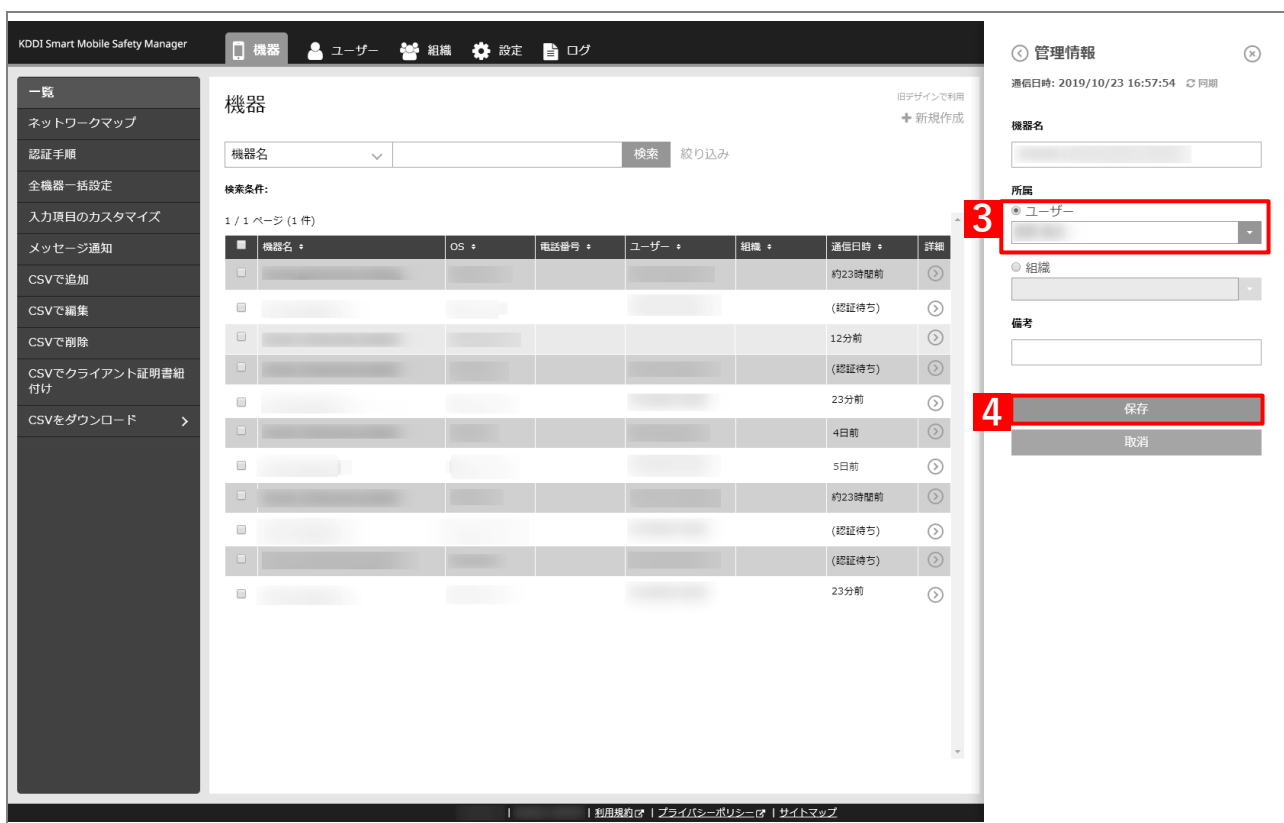
以下の手順で、アプリのインストール先となる端末にユーザーを割り当て、同期を行います。この操作まで行くと、端末に対象アプリ（LINE WORKS）がインストールできます。

- [1]** [機器] → [一覧] → 一覧から対象端末をクリックします。
- [2]** [管理情報の編集] をクリックします。

The screenshot displays the KDDI Smart Mobile Safety Manager interface. The main content area shows a table of devices with columns for device name, OS, phone number, user, organization, and connection time. A red box labeled '1' highlights a row in the table. On the right sidebar, a red box labeled '2' highlights the '管理情報の編集' (Edit Management Information) button.

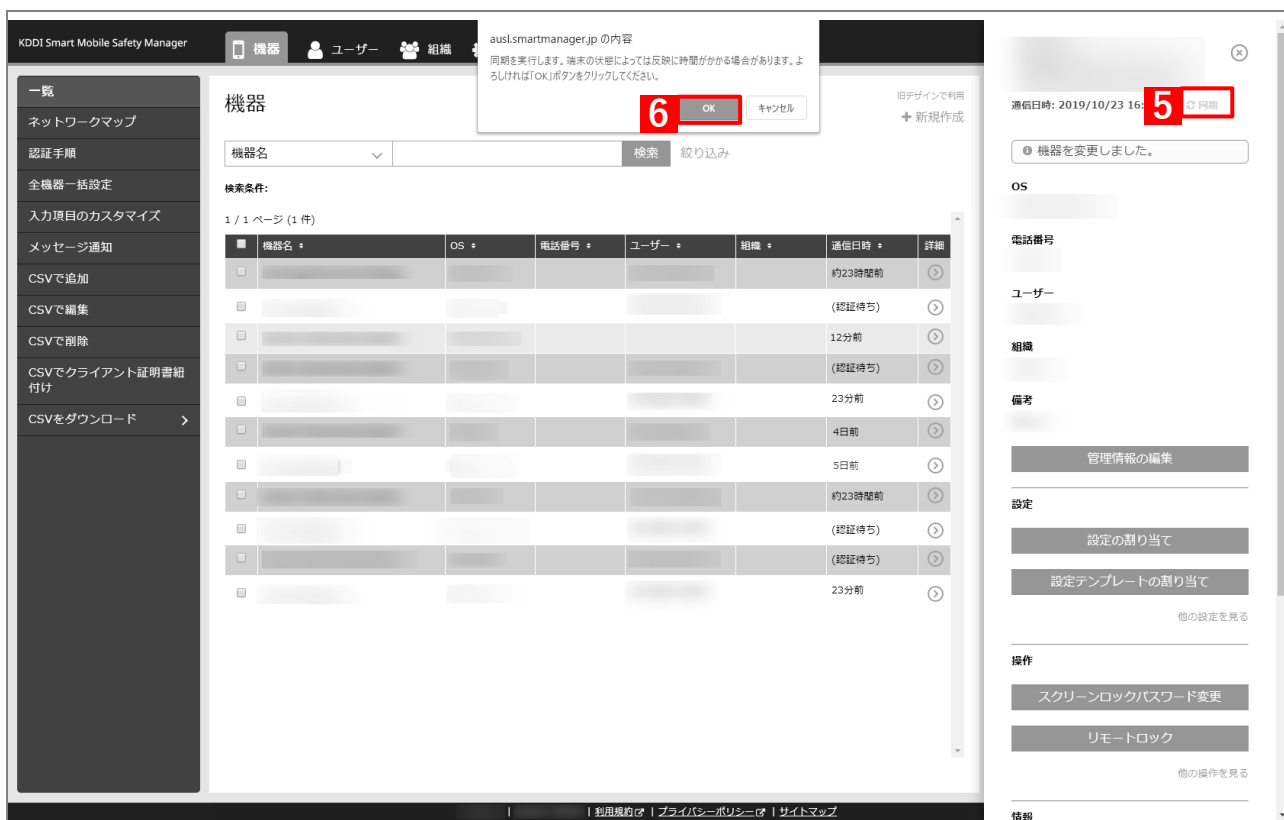
機器名	OS	電話番号	ユーザー	組織	通信日時	詳細
					約23時間前	⌵
					(認証待ち)	⌵
					12分前	⌵
					(認証待ち)	⌵
					23分前	⌵
					4日前	⌵
					5日前	⌵
					約23時間前	⌵
					(認証待ち)	⌵
					(認証待ち)	⌵
					23分前	⌵

- [3]** 「所属」の「ユーザー」を選択し、プルダウンメニューから「ユーザーを組織に紐づける」の手順【1】で選択したユーザーを指定します。
- [4]** [保存] をクリックします。



- [5]** [同期] をクリックします。
- [6]** [OK] をクリックします。

⇒ 端末の Play ストアに LINE WORKS が配信されます。以降の操作は配信先の端末で行います。



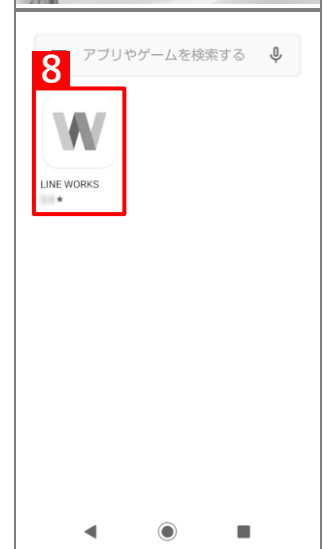
【7】 [Playストア] をタップします。



【8】 [LINE WORKS] をタップします。

⇒LINE WORKS のインストールが開始されます。端末の画面にアプリのアイコンが表示されるまでお待ちください。

【9】 インストール完了後、指定の ID とパスワードで LINE WORKS にログインします。



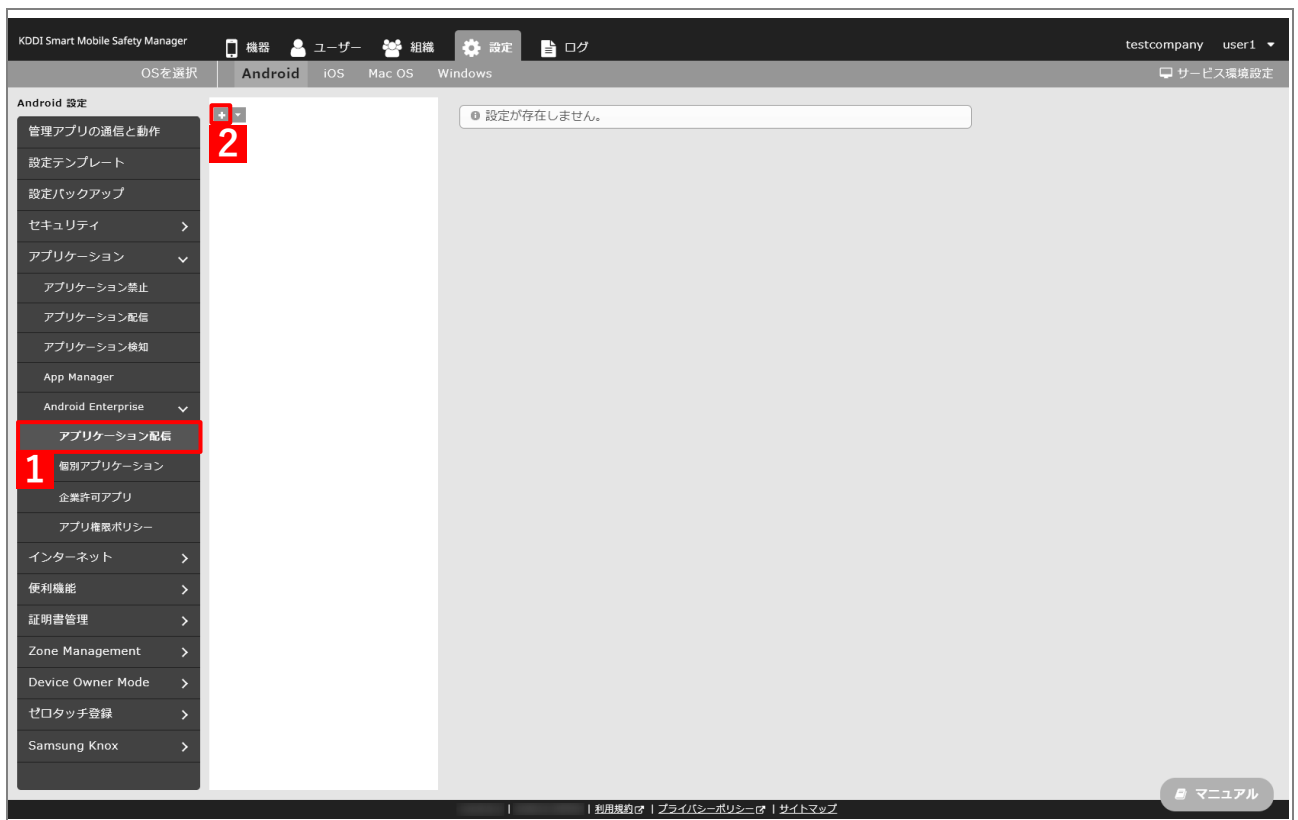
2.6 すべてのアプリのインストールを許可する

Play ストアに公開されているすべてのアプリを端末にインストールできるようにするには、以下の一連の操作を行います。

2.6.1 アプリケーション配信設定を作成する

以下の手順で「アプリケーション配信」から、アプリケーション配信設定を作成します。


- [1]** [設定] → [Android] → [アプリケーション] → [Android Enterprise] → [アプリケーション配信] をクリックします。
- [2]** **+** をクリックします。




[3] 「配信設定名」に任意の名前を入力します。

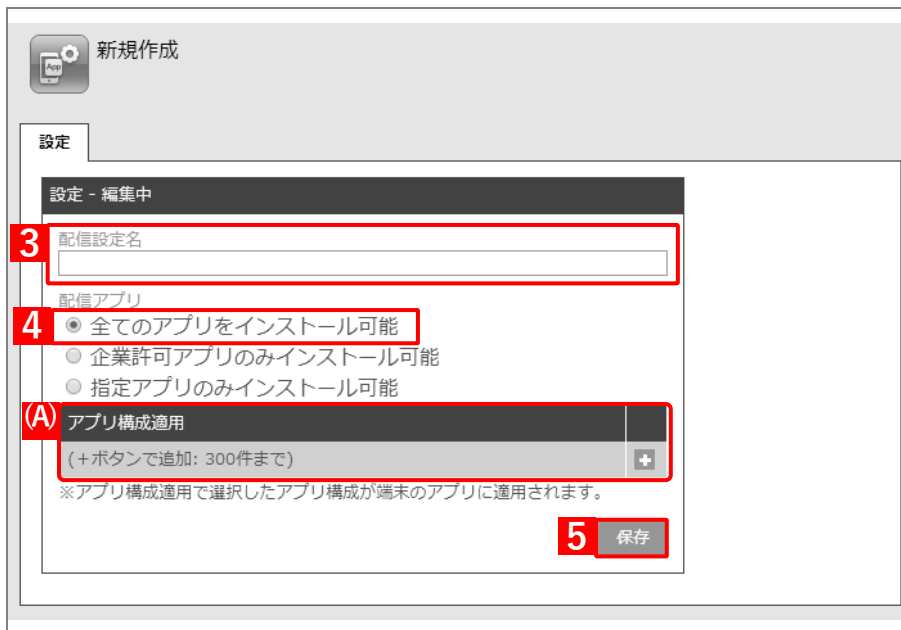
[4] 「全てのアプリをインストール可能」を選択します。

インストール対象のアプリには、「アプリ構成」の設定値を付加することもできます。その場合は、「アプリ構成」を適用したアプリ個別設定を作成し、(A)「アプリ構成適用」に追加してください。
「アプリ構成」の詳細およびアプリ個別設定の作成方法については、以下を参照してください。

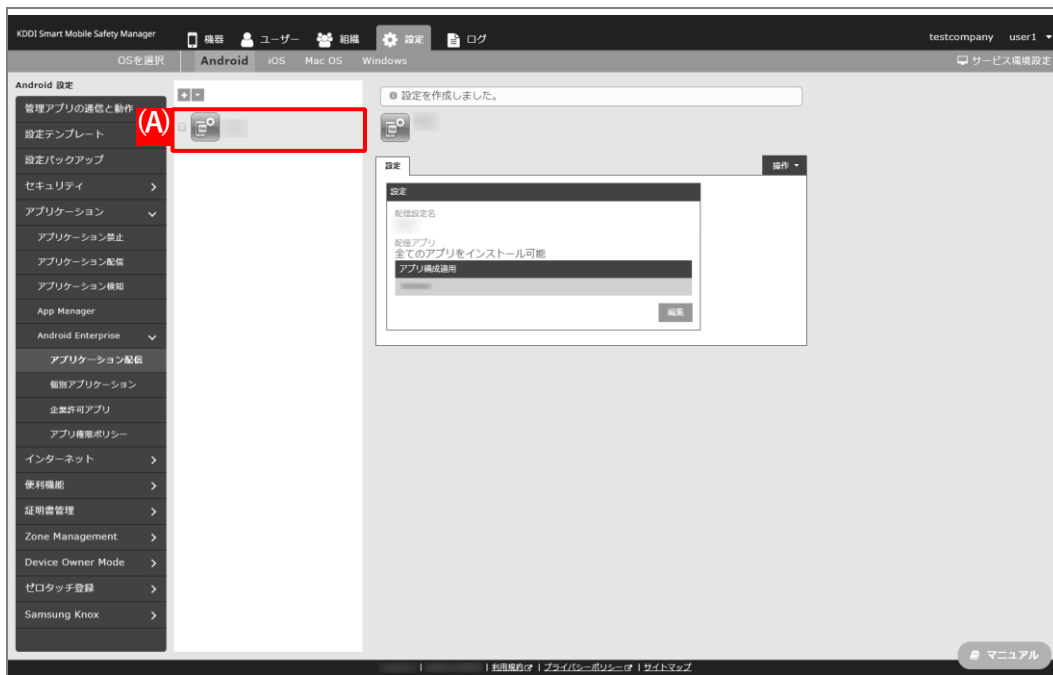
 「アプリ構成を利用してアプリをインストールする」63 ページ

 「アプリ個別設定を作成する」66 ページ

[5] [保存] をクリックします。




⇒ (A) アプリケーション配信設定が作成されます。

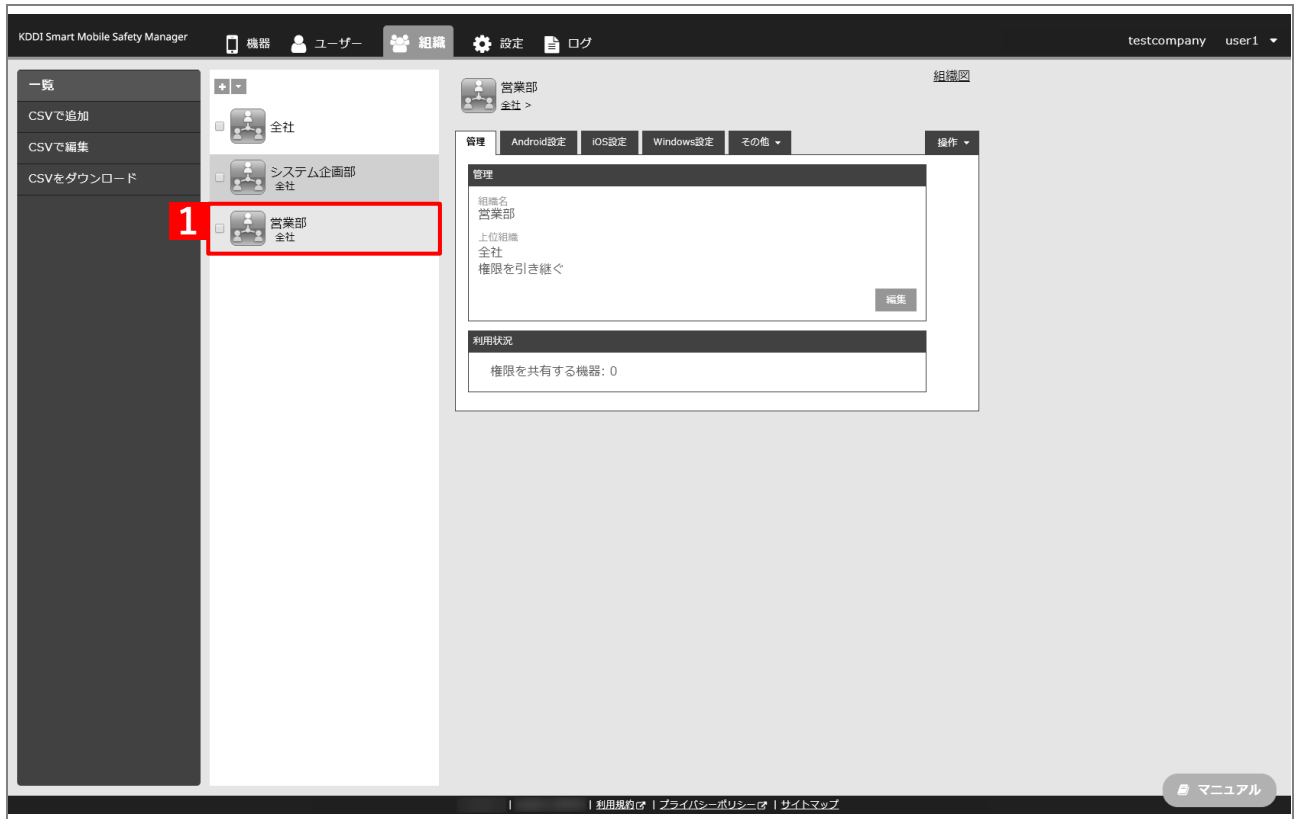


2.6.2 組織（ユーザー）にアプリケーション配信設定を割り当てる


以下の手順で、アプリケーション配信設定を組織（ユーザー）に割り当てます。

【1】 [組織] → [一覧] → 一覧から対象組織を選択します。

 ユーザーに割り当てる場合は、[ユーザー] → [一覧] → 一覧から対象ユーザーを選択します。



【2】 [その他▼] タブ → [ユーザー設定] をクリックします。

 ユーザーに割り当てる場合は、対象ユーザーの選択時に [その他▼] タブ → [設定] を選択します。



【3】 [編集] をクリックします。**【4】 プルダウンメニューから、「アプリケーション配信設定を作成する」の手順【3】で設定した配信設定名を指定します。****【5】 [保存] をクリックします。**

⇒すべてのアプリのインストールを許可するアプリケーション配信設定が、対象組織に割り当てられます。



2.6.3 端末にユーザーを割り当てる

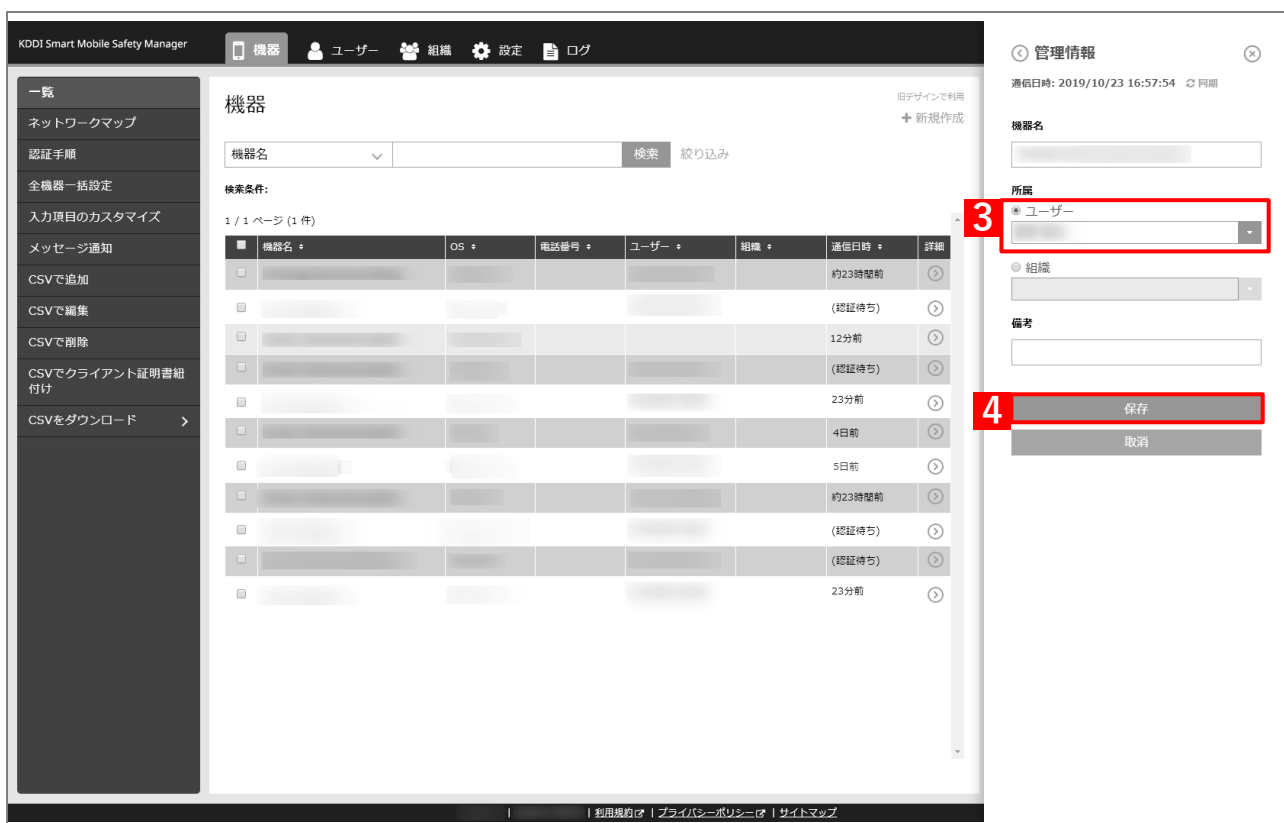
以下の手順で対象端末にユーザーを割り当て、同期を行います。この操作まで行くと、すべてのアプリを端末にインストールできるようになります。

- [1]** [機器] → [一覧] → 一覧から対象端末をクリックします。
- [2]** [管理情報の編集] をクリックします。

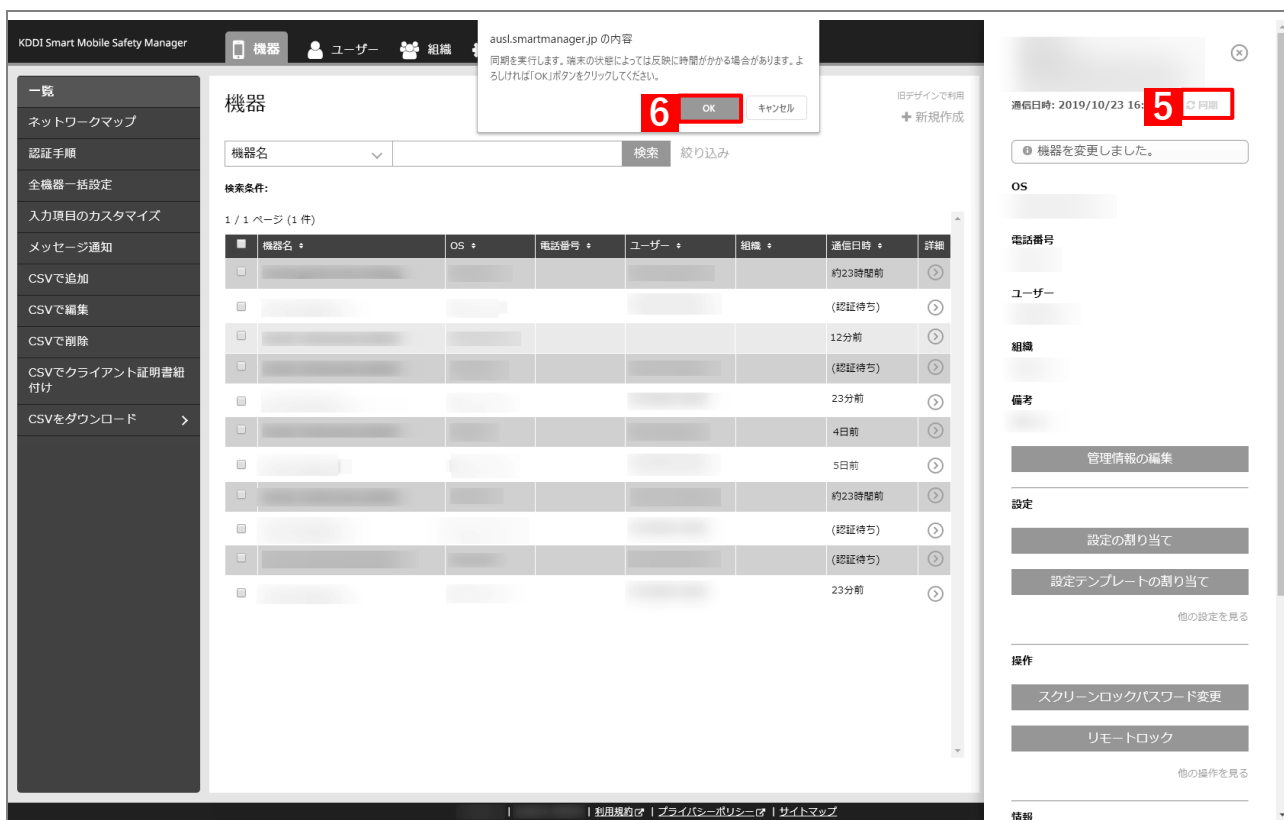
The screenshot shows the '機器' (Devices) management page in the KDDI Smart Mobile Safety Manager. The main area displays a table of devices with columns for device name, OS, phone number, user, organization, and sync time. A red box labeled '1' highlights a device with a sync time of '12分前'. The right-hand sidebar contains various management options, with a red box labeled '2' highlighting the '管理情報の編集' (Edit Management Information) button.

機器名	OS	電話番号	ユーザー	組織	通信日時	詳細
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	約23時間前	⌵
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	(認証待ち)	⌵
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	12分前	⌵
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	(認証待ち)	⌵
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	23分前	⌵
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	4日前	⌵
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	5日前	⌵
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	約23時間前	⌵
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	(認証待ち)	⌵
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	(認証待ち)	⌵
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	23分前	⌵

- [3]** 「所属」の「ユーザー」を選択し、プルダウンメニューから「ユーザーを組織に紐づける」の手順【1】で選択したユーザーを指定します。
- [4]** [保存] をクリックします。



- [5]** [同期] をクリックします。
 - [6]** [OK] をクリックします。
- ⇒以降の操作は配信先の端末で行います。



【7】 [Play ストア] をタップし、インストールしたいアプリを選択します。

⇒アプリのインストールが開始されます。



2.7 管理者が登録したアプリのみインストールを許可する

managed Google Play ストアに公開されているアプリのうち、管理者が承認したもののみを端末にインストールできるようにするには、以下の一連の操作を行います。

2.7.1 企業許可アプリを追加する

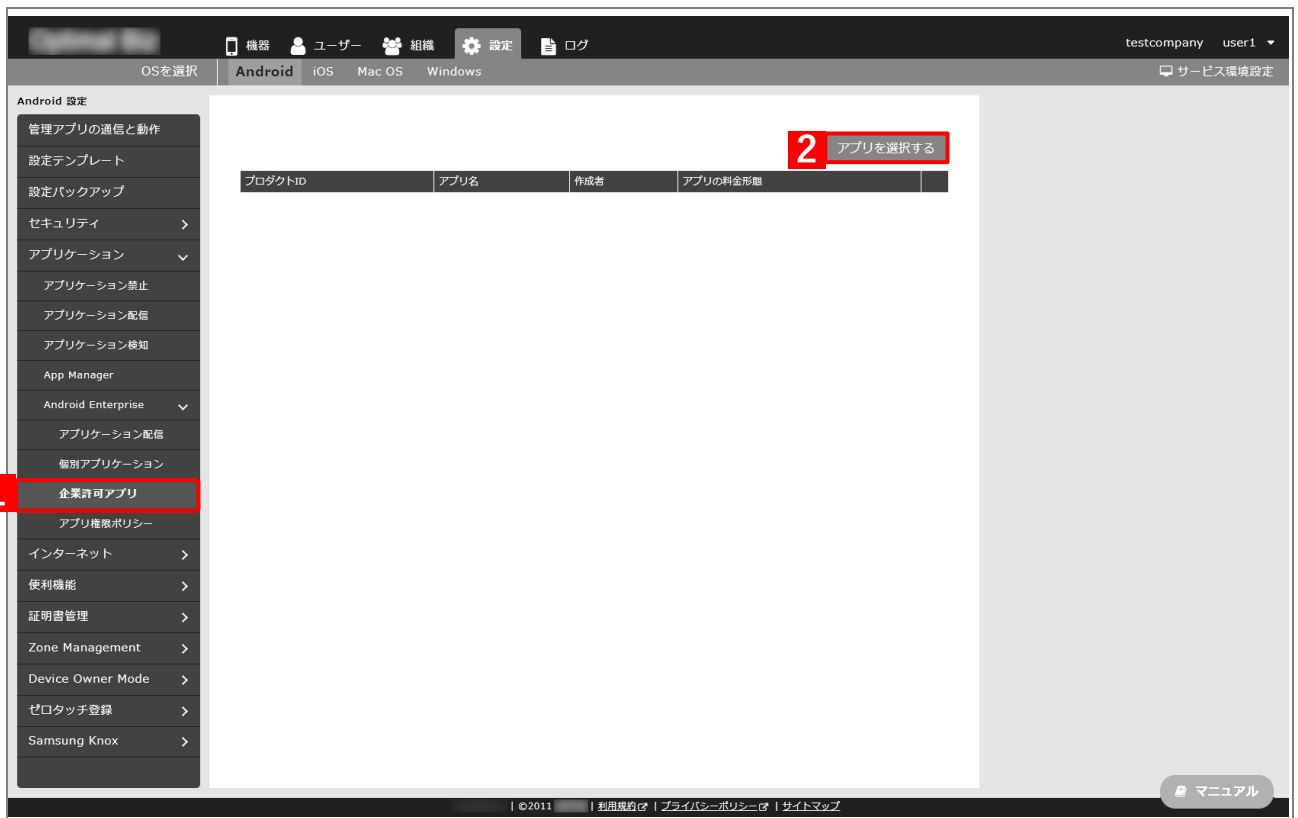
以下の手順で managed Google Play ストアに公開されているアプリのうち、Android Enterprise で配信することを企業で許可するアプリを追加します。

✎ 「企業許可アプリ」は、1,000 件まで登録できます。

【1】 [設定] → [Android] → [アプリケーション] → [Android Enterprise] → [企業許可アプリ] をクリックします。

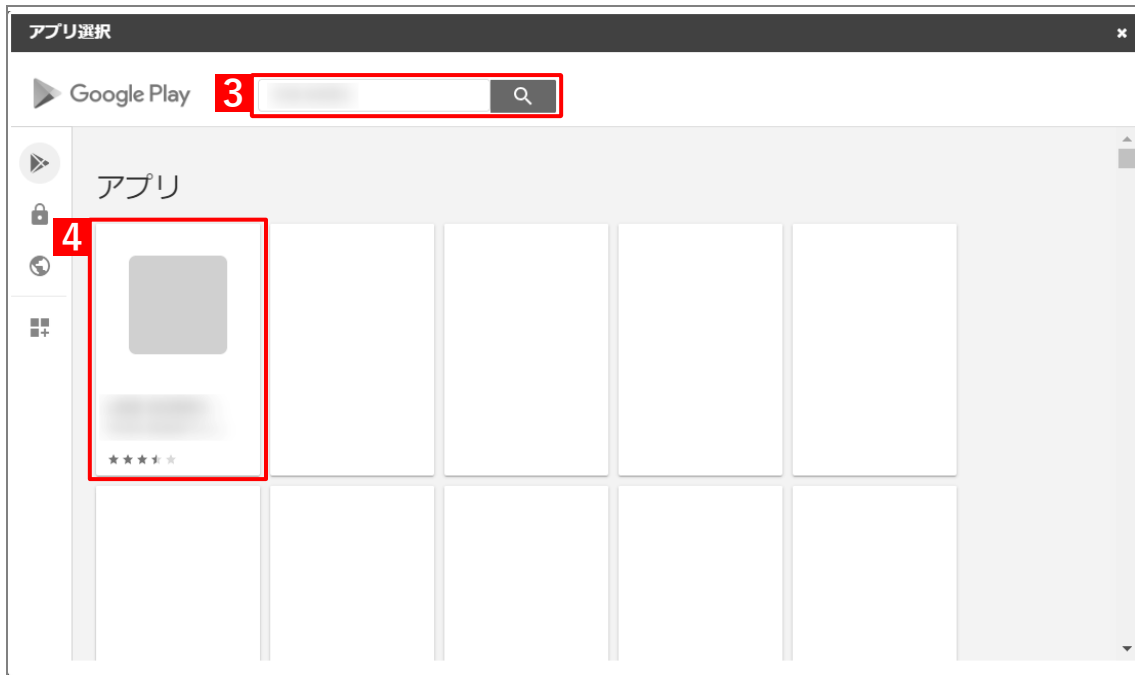
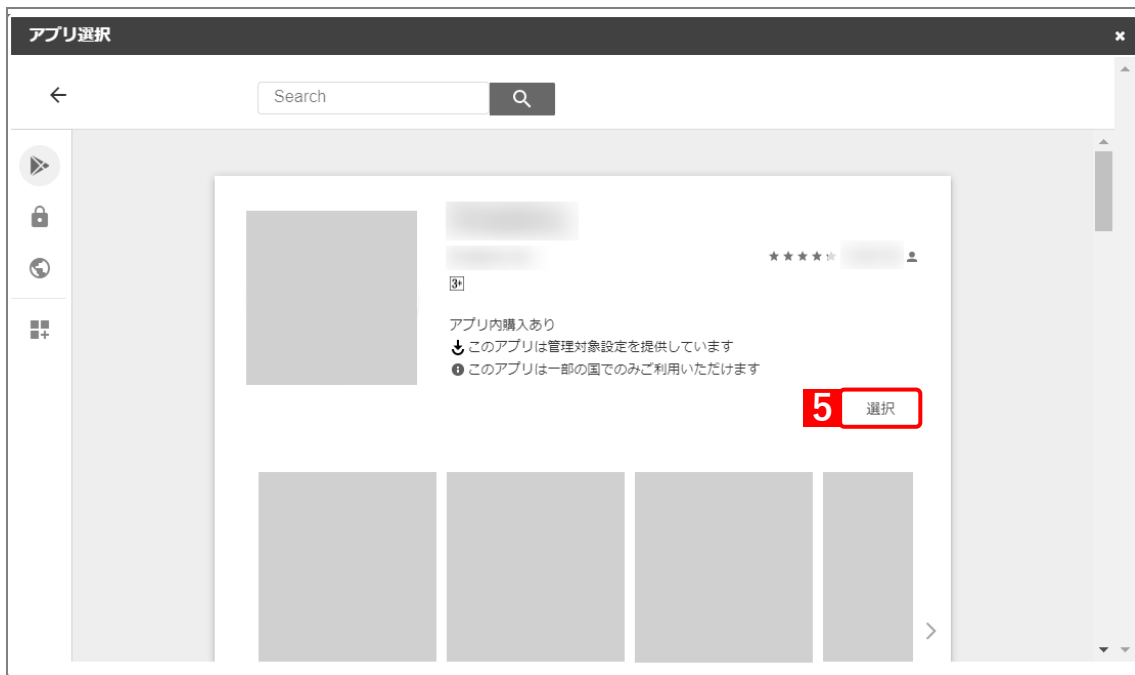
【2】 [アプリを選択] するをクリックします。

⇒ managed Google Play ストアの「アプリ選択」画面が表示されます。

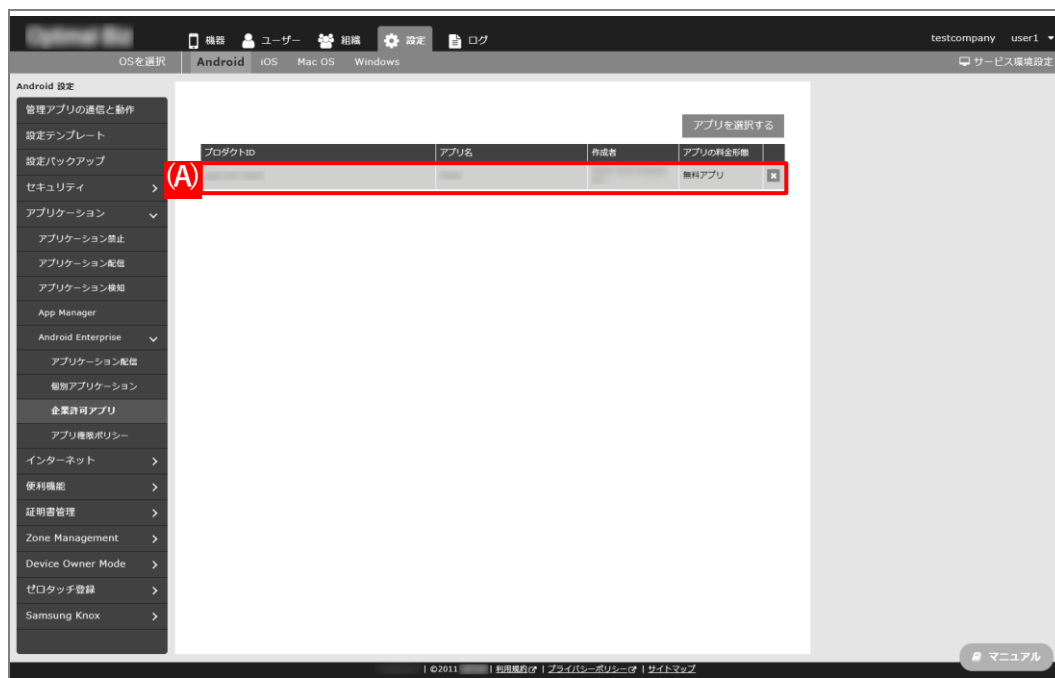


【3】 企業で配信を許可するアプリを検索します。

⇒ 検索結果が表示されます。

【4】 該当のアプリをクリックします。**【5】 [選択] をクリックします。**

⇒ managed Google Play ストアの「アプリ選択」画面が閉じて、「企業許可アプリ」に (A) 選択したアプリが登録されます。

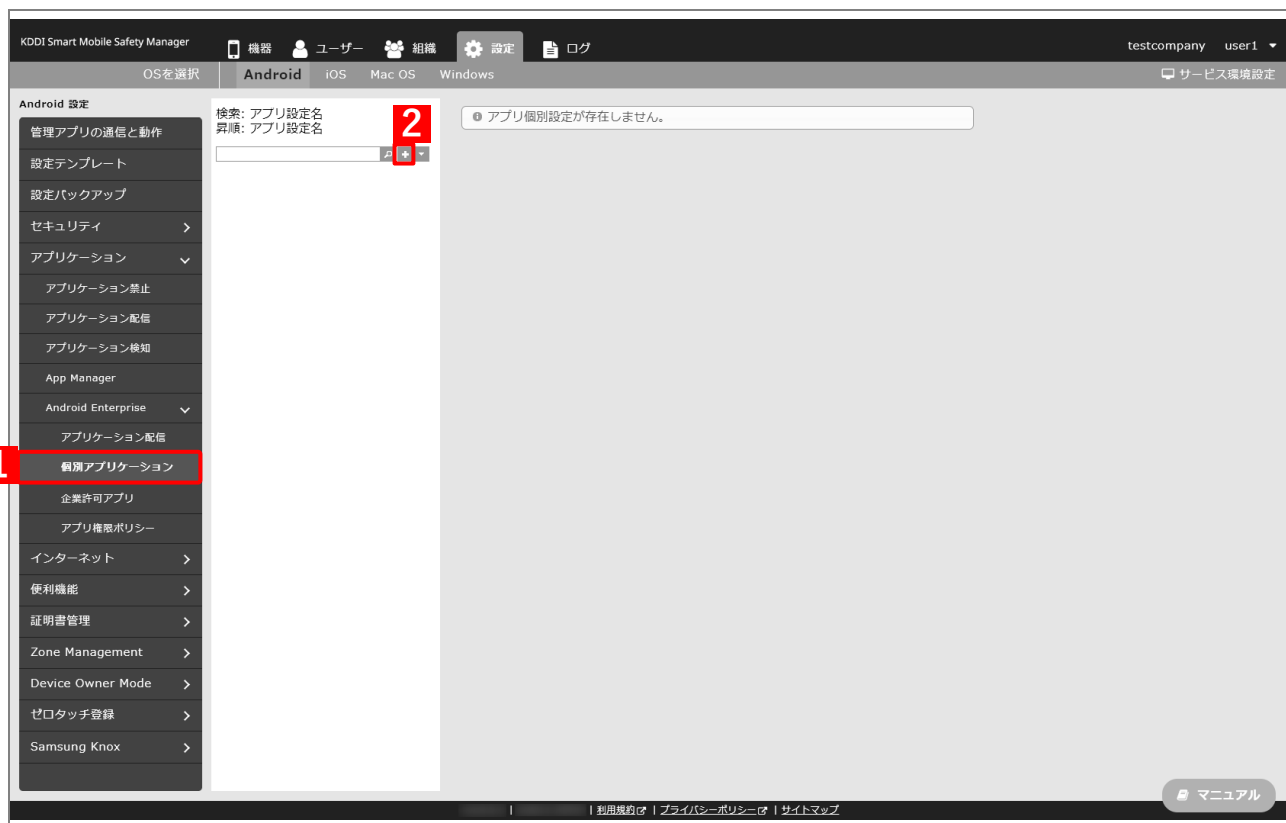


2.7.2 アプリ個別設定を作成する

以下の手順で「個別アプリケーション」から、インストール対象のアプリを登録した設定セット（アプリ個別設定）を作成します。

📌 1つの設定セットに複数のアプリをセットすることはできません。

- 【1】 [設定] → [Android] → [アプリケーション] → [Android Enterprise] → [個別アプリケーション] をクリックします。
- 【2】 + をクリックします。

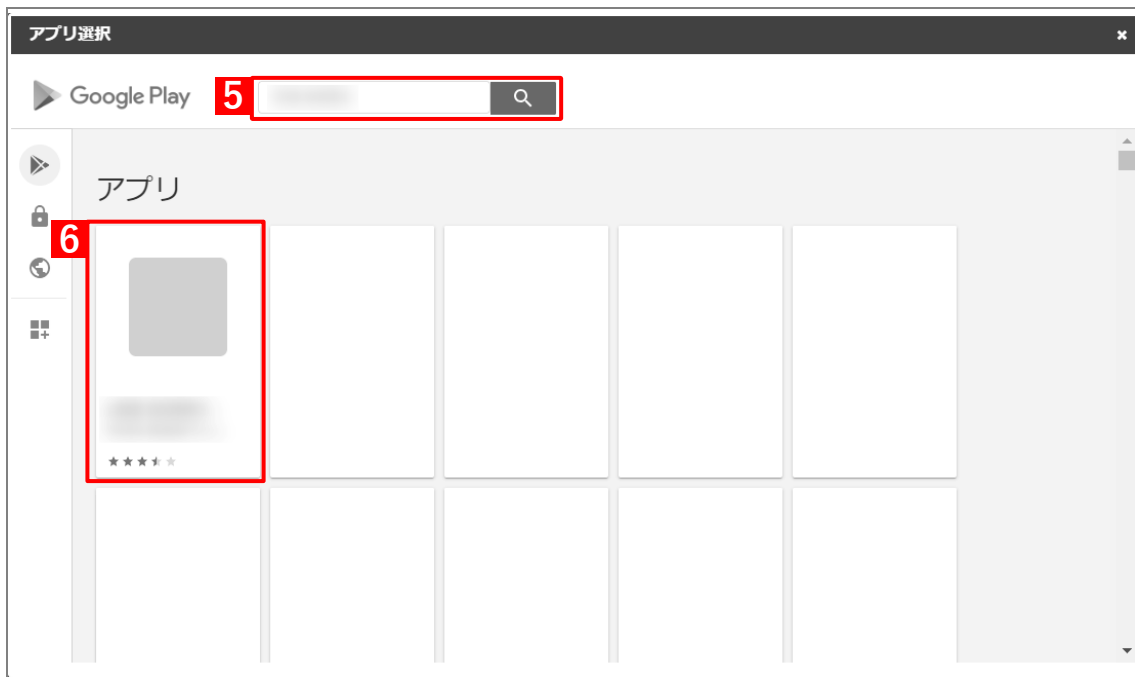


- 【3】 「アプリ設定名」 に任意の名前を入力します。
 - 【4】 [アプリを選択する] をクリックします。
- ⇒ managed Google Play ストアの「アプリ選択」画面が表示されます。



【5】 インストール対象のアプリを検索します。

⇒ 検索結果が表示されます。

【6】 該当のアプリをクリックします。**【7】** [選択] をクリックします。

⇒ managed Google Play ストアの「アプリ選択」画面が閉じます。



【8】 [保存] をクリックします。

⇒ アプリ個別設定が作成されます。

 (A) 「選択中のアプリ」には、アプリのパッケージ名が表示されています。



新規作成

設定

設定 - 編集

アプリ設定名

アプリ選択

(A) 選択中のアプリ

アプリを選択する

8 保存

【9】 [編集] をクリックします。

App

設定

操作

アプリ

アプリ設定名

アプリ

アプリ名

プロダクトID

開発

設定

ランタイムパーミッション
デフォルト

アプリ構成
未構成

旧アプリ構成を利用する
利用しない

アプリケーションへの権限移譲
移譲しない

9 編集

【10】 「アプリ構成」 の 「未構成」 をクリックします。

設定 - 編集

ランタイムパーミッション

デフォルト

個別設定

パーミッション名	許可
android.permission.CAMERA	不許可
android.permission.READ_EXTERNAL_STORAGE	不許可

アプリ構成

未構成

10 ※以下のワイルドカードを使用することが出来ます。

- ・ \$emailaddress\$: ユーザーのメールアドレス
- ・ \$username\$: ユーザー名

▲ アプリ構成を 新規作成 / 更新 / 削除 した場合は、編集中の設定が保存されます。

旧アプリ構成を利用する

対象アプリに設定は存在しません。

アプリケーションへの権限移譲

移譲しない

移譲する

移譲する権限	許可
証明書のインストールと管理	不許可
アプリ構成の管理	不許可
アンインストールの抑止	不許可
アクセス権限の設定と管理	不許可
アプリの表示や状態の管理	不許可
システムアプリの有効化	不許可

取消 保存

【11】 「設定名」に任意の名前を入力します。

【12】 アプリに付加する設定値を入力します。

付加できる設定値は、アプリによって異なります。詳細については、アプリの開発元にお問い合わせください。

特定のアプリでは、管理サイトで設定されているユーザー情報のうち、「名前」と「メールアドレス」のそれぞれに紐づくワイルドカード「\$username\$」と「\$emailaddress\$」を設定値として使用できます。これらのワイルドカードを使用することにより、メールアプリなどをインストールするときに各ユーザーに対応したユーザー名やアドレスを自動的に設定できます。

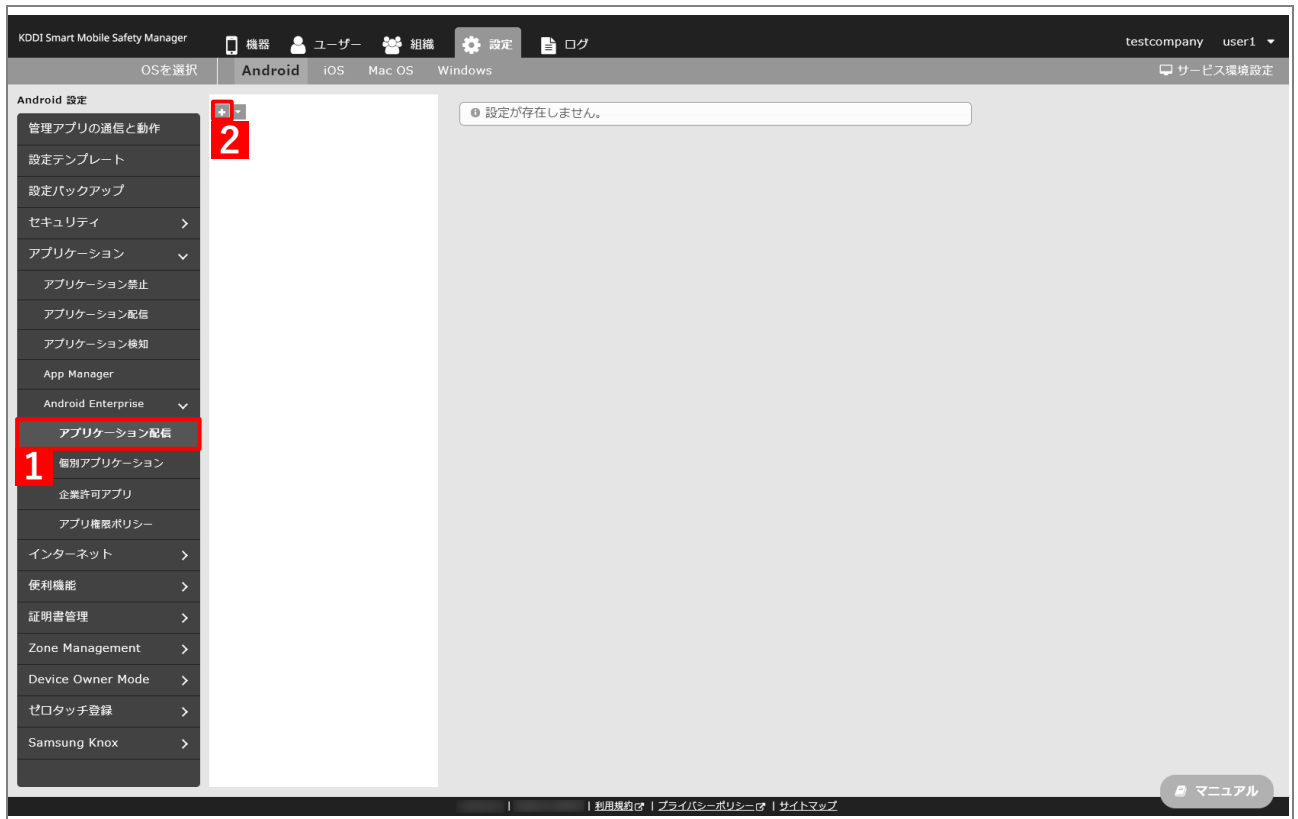
【13】 「保存」をクリックします。

⇒ (A) アプリ個別設定が作成されます。(B) 「アプリ構成」には、【11】で入力した設定名が反映されます。

2.7.3 アプリケーション配信設定を作成する

以下の手順で「アプリケーション配信」から、アプリケーション配信設定を作成します。

- [1]** [設定] → [Android] → [アプリケーション] → [Android Enterprise] → [アプリケーション配信] をクリックします。
- [2]** **+** をクリックします。



[3] 「配信設定名」に任意の名前を入力します。

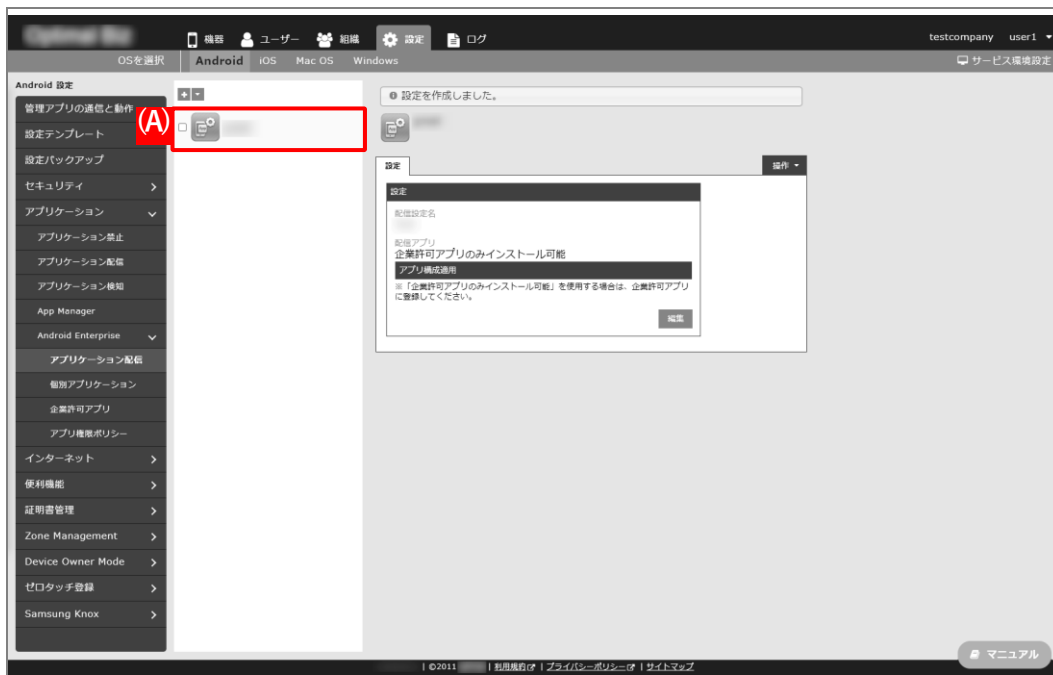
[4] 「企業許可アプリのみインストール可能」を選択します。

- 特定のアプリケーションにアプリ構成を適用したい場合は、事前に「個別アプリケーション」でアプリ構成を含んだ設定を作成したうえで (A) 「アプリ構成適用」欄に追加してください。
「個別アプリケーション」設定の作成方法は以下を参照してください。

🔗 「アプリ個別設定を作成する」90 ページ

[5] [保存] をクリックします。


⇒ (A) アプリケーション配信設定が作成されます。

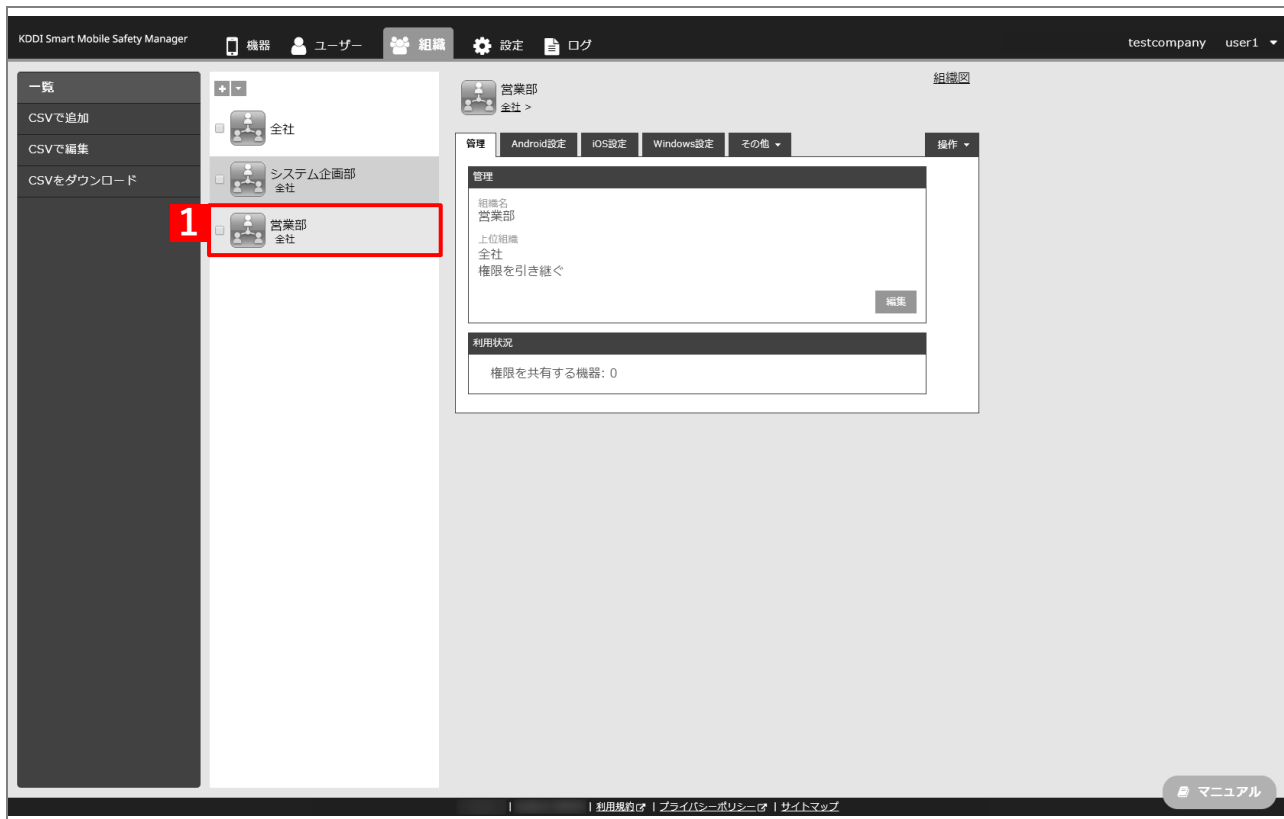


2.7.4 組織（ユーザー）にアプリケーション配信設定を割り当てる


以下の手順で、アプリケーション配信設定を組織（ユーザー）に割り当てます。

【1】 [組織] → [一覧] → 一覧から対象組織を選択します。

 ユーザーに割り当てる場合は、[ユーザー] → [一覧] → 一覧から対象ユーザーを選択します。



【2】 [その他▼] タブ → [ユーザー設定] をクリックします。

 ユーザーに割り当てる場合は、対象ユーザーの選択時に [その他▼] タブ → [設定] を選択します。



【3】 [編集] をクリックします。**【4】 プルダウンメニューから、「アプリケーション配信設定を作成する」の手順【3】で設定した配信設定名を指定します。****【5】 [保存] をクリックします。**

⇒ 許可アプリを設定したアプリケーション配信設定が、対象組織に割り当てられます。



2.7.5 端末にユーザーを割り当てる

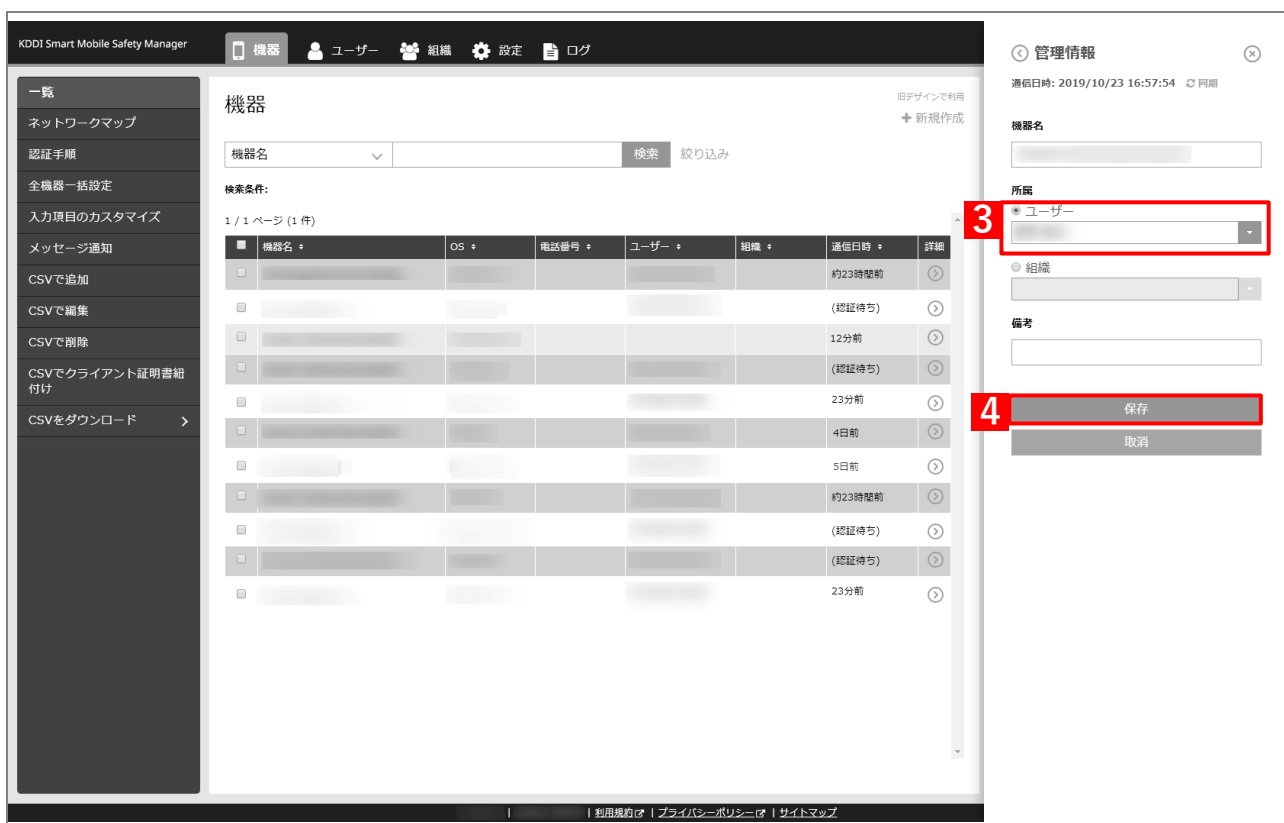
以下の手順で対象端末にユーザーを割り当て、同期を行います。この操作まで行くと、許可アプリのみ端末にインストールできるようになります。

- [1]** [機器] → [一覧] → 一覧から対象端末をクリックします。
- [2]** [管理情報の編集] をクリックします。

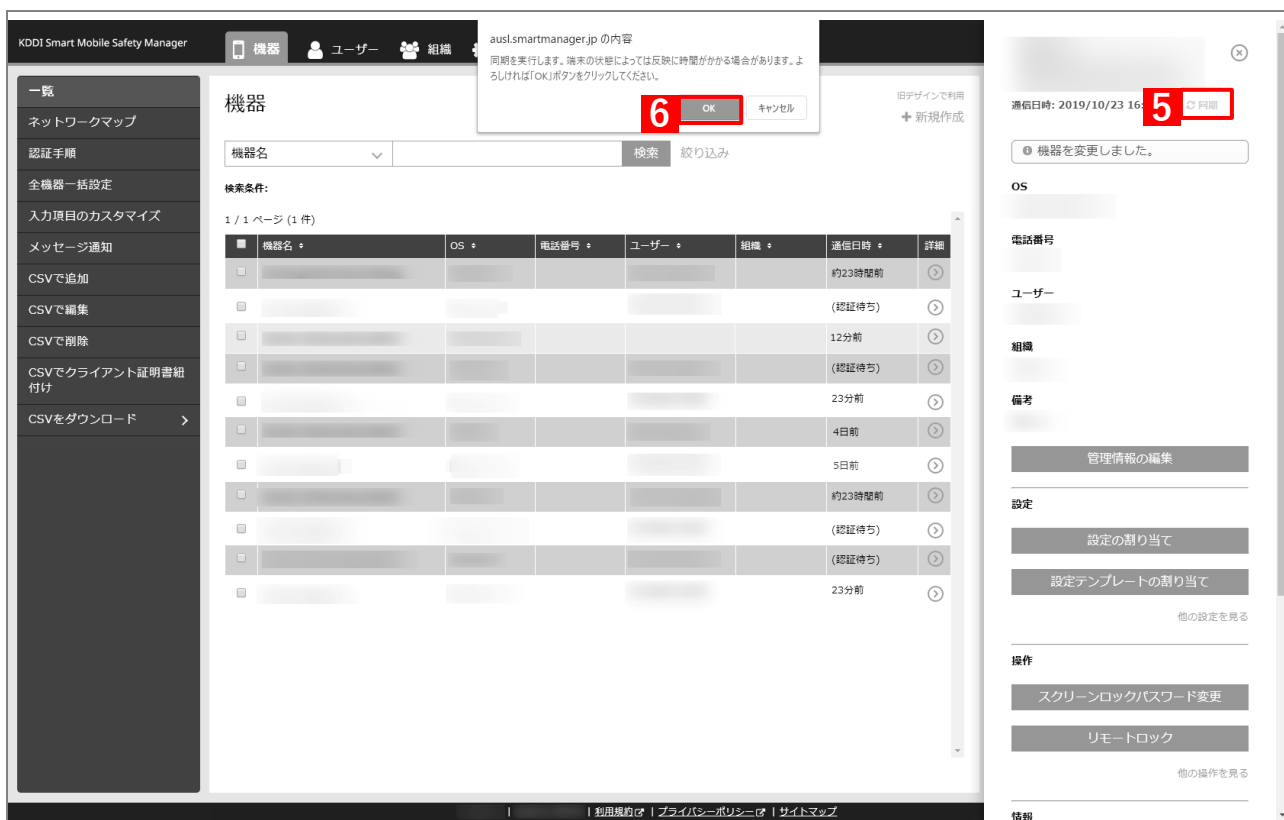
The screenshot shows the KDDI Smart Mobile Safety Manager interface. The main area displays a list of devices under the '機器' (Devices) tab. A red box labeled '1' highlights a device entry in the table. On the right sidebar, a red box labeled '2' highlights the '管理情報の編集' (Edit Management Information) button.

機器名	OS	電話番号	ユーザー	組織	通信日時	詳細
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	約23時間前	⌵
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	(認証待ち)	⌵
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	12分前	⌵
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	(認証待ち)	⌵
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	23分前	⌵
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	4日前	⌵
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	5日前	⌵
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	約23時間前	⌵
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	(認証待ち)	⌵
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	(認証待ち)	⌵
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	23分前	⌵

- [3]** 「所属」の「ユーザー」を選択し、プルダウンメニューから「ユーザーを組織に紐づける」の手順【1】で選択したユーザーを指定します。
- [4]** [保存] をクリックします。




- [5]** [同期] をクリックします。
 - [6]** [OK] をクリックします。
- ⇒以降の操作は配信先の端末で行います。



【7】 [Play ストア] をタップし、インストールしたいアプリを選択します。

⇒アプリのインストールが開始されます。

 Play ストアには許可アプリのみ表示されます。



3 アプリをアップデートする

3.1 インストール済みアプリを自動アップデートする

以下の条件を満たしていれば、アプリケーション配信を利用して端末にインストールしたアプリ（Play ストア公開アプリまたはオリジナルアプリ）は、自動的にアップデートされます。

- managed Google Play ストアにアプリの最新バージョンが公開されている。

🔗 「アプリ個別設定を作成する」手順【5】

🔍 managed Google Play ストアの仕様により、アプリの最新バージョンが公開されてから端末へのアップデートが開始されるまで時間がかかることがあります。

- オリジナルアプリ（限定公開アプリ）の場合は、managed Google Play ストアに apk ファイルの最新バージョンをアップロードしている。

🔗 「アプリ個別設定を作成する」29 ページ

🔍 managed Google Play ストアの仕様により、apk ファイルの最新バージョンが公開されてから端末へのアップデートが開始されるまで時間がかかることがあります。

- アプリケーション配信設定で該当アプリを登録した「アプリ個別設定」が指定され、「強制インストール」の「する」にチェックが入っている。

🔗 「アプリケーション配信設定を作成する」手順【6】、【7】

- 組織（ユーザー）にアプリケーション配信設定が正しく割り当てられている。

🔗 「組織（ユーザー）にアプリケーション配信設定を割り当てる」

- managed Google Play ストアの設定で、「アプリの自動更新」が「アプリを自動更新しない」以外に設定されている。

3.2 インストール済みアプリを自動アップデートする (アプリケーション配信の利用以前にインストールしたアプリの場合)

以下の操作を行うことにより、managed Google Play ストアに該当アプリの最新バージョンが公開されたときに、アプリを自動的にアップデートできます。

1. 「個別アプリケーション」で、該当アプリを登録した設定セット（アプリ個別設定）を作成する。
2. 「アプリケーション配信」で、1 のアプリ個別設定を指定し、強制インストールする設定セット（アプリケーション配信設定）を作成する。
3. 組織（ユーザー）にアプリケーション配信設定を割り当てる。
4. アプリのインストール先となる端末にユーザーを割り当て、同期を行う。

手順の詳細については、以下を参照してください。

🔗 「アプリを強制インストールする」

🔍 managed Google Play ストアの仕様により、アプリの最新バージョンが公開されてから端末へのアップデートが開始されるまで時間がかかることがあります。


🔍 Play ストアの設定で「アプリの自動更新」が「アプリを自動更新しない」に設定されている場合は、自動アップデートは行われません。



3.3 プリインストールアプリを自動アップデートする

以下の操作を行うことにより、managed Google Play ストアに該当プリインストールアプリの最新バージョンが公開されたときに、アプリを自動的にアップデートできます。

1. 「個別アプリケーション」で、該当プリインストールアプリを登録した設定セット（アプリ個別設定）を作成する。
2. 「アプリケーション配信」で、1のアプリ個別設定を指定し、強制インストールする設定セット（アプリケーション配信設定）を作成する。
3. 組織（ユーザー）にアプリケーション配信設定を割り当てる。
4. アプリのインストール先となる端末にユーザーを割り当て、同期を行う。

手順の詳細については、以下を参照してください。

 「アプリを強制インストールする」

-  managed Google Play ストアの仕様により、アプリの最新バージョンが公開されてから端末へのアップデートが開始されるまで時間がかかることがあります。
-  Play ストアの設定で「アプリの自動更新」が「アプリを自動更新しない」に設定されている場合は、自動アップデートは行われません。

3.4 企業許可アプリを自動アップデートする

企業許可アプリは、アプリケーション配信設定で、以下のアップデート方法を設定します。

● デフォルト

以下の条件をすべて満たした場合に、アプリが自動アップデートされます。


- 各端末の Google Play ストアの [ネットワーク設定] が [ネットワークの指定なし] に設定されている。または、[Wi-Fi 経由のみ] を設定し、端末が Wi-Fi に接続されている。
- 端末を操作していない状態である。
- 端末が充電中である。
- アップデートするアプリが画面上で起動していない。


● 90 日間延期


Google Play ストアで新しいバージョンのアプリが公開されても、90 日間はアップデートされません。90 日を過ぎると、[デフォルト] と同じ条件で自動アップデートされます。


● 即時


Google Play ストアで新しいバージョンのアプリが公開されると、すぐにアプリが自動的にアップデートされます。[デフォルト] の条件を満たしている必要はありません。

 自動アップデートの設定手順は、以下を参照してください。

 「アプリを強制インストールする」 - 「アプリケーション配信設定を作成する」 19 ページ

 「オリジナルアプリをインストールする」 - 「アプリケーション配信設定を作成する」 37 ページ

 「ウェブアプリ（ショートカット）をインストールする」 - 「アプリケーション配信設定を作成する」 54 ページ

 「アプリ構成を利用してアプリをインストールする」 - 「アプリケーション配信設定を作成する」 71 ページ

4 その他

4.1 注意事項

- 組織（ユーザー）に割り当てた「Android Enterprise アプリ配信設定」を以下のとおり変更すると、「アプリケーション配信」を利用してインストールしていたアプリは、同期したときにアンインストールされます。
 - ・ 「(設定なし)」または「(所属組織に従う：設定なし)」に変更した場合
 - ・ 該当アプリが含まれていないアプリケーション配信設定に変更した場合
- 「個別アプリケーション」のアプリ個別設定を削除すると、「アプリケーション配信」でその設定を指定してインストールしていたアプリは、同期したときにアンインストールされます。
- 端末にユーザーを割り当てて同期させたあと、端末にアプリがインストールされるまでに多少時間がかかることがあります。
- アプリケーション配信設定に多くのアプリが含まれている場合は、端末にすべてのアプリがインストールされるまでに時間がかかります。

4.2 インストール／アップデートできないときは

以下のとおり設定されているか、確認してください。

◆管理サイト

- 組織（ユーザー）にアプリケーション配信設定が正しく割り当てられている。
 - 🔗 「組織（ユーザー）にアプリケーション配信設定を割り当てる」
- アプリを配信する端末に、ユーザーが正しく割り当てられている。
 - 🔗 「端末にユーザーを割り当てる」
- 強制インストール（サイレントインストール）する場合は、アプリケーション配信設定で強制インストールしたい各アプリの「強制インストール」にチェックが入っている。
 - 🔗 「アプリケーション配信設定を作成する」手順【7】
- 企業許可アプリで、自動アップデート設定の条件を満たしている。
 - 🔗 「企業許可アプリを自動アップデートする」104 ページ

◆端末

- 「Play ストア」を「アプリを自動更新する」または「Wi-Fi 経由のみ」に設定している。
- Wi-Fi ネットワークに接続してる。
- 端末を充電中に行っている。
- 端末を操作していない。
- 更新対象のアプリがフォアグラウンドで実行していない。

参考

- 上記を確認してもインストールができないときは、アプリケーション配信設定が割り当てられているユーザーの端末に、アプリを一括で配信します。(A) [配信] をクリックします。詳細については、以下を参照してください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定—Android」—「アプリケーション」—「Android Enterprise／アプリケーション配信」—「画面（一括配信）」



- Android Enterprise で配信したアプリが、Google Play ストア上で「保留中」の状態からインストールされないときは、Google Play ストアのキャッシュ削除を行います。詳細については、以下を参照してください。

🔍 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「(操作—Android) Google Play ストアのキャッシュ削除」